

CONTENTS

- P1 2008年ゴールデンウィーク 全国各地で機動隊出動!
- P2 特集 ゆるぎない機動隊の強さを! 新入隊員訓練スタート
- P4 Member's Lounge 「紛争死史観と自然災害死史観」大石 久和 氏

発行所 社団法人 機動隊員等を励ます会
〒144-0065 東京都大田区仲六郎4-32-5
発行人 小山 繁
TEL 03(3739)0590
購読料 年間1,200円
(但し会費の中には購読料を含む)

はげまし

May.2008 No.401

For the Riot Policemen & Members

2008年 ゴールデンウィーク 全国各地で機動隊出動!



市民からの感謝の言葉や笑顔を思い出す (広島県警察/ひろしまフラワーフェスティバル)

各種警備の完遂で 大きな自信

ゴールデンウィーク期間中、今年も全国各地で機動隊員等が警備にあたった。4月26日から5月6日の間、全国の主な行楽地やイベント会場への入出は約650万人で、昨年より約112万人少なかったことが警察庁のまとめで判った。今年の大規模連休は、曜日配列や天候に恵まれなかったことが要因だと思われる。行楽地で最も入出が多かったのは、博多どんたく港まつり(福岡)の約220万人、弘前さくらまつり(青森)の約167万人、ひろしまフラワーフェスティバル(広島)の約166万人と続いた。

またこうした雑踏警備に加え、4月26日には長野県下で東京五輪聖火リレーが行われ、長野県警察を中心に機動隊員等警察官約3000名による厳戒態勢の下での警備実施が行われた。

今年7月の北海道洞爺湖サミット警備をはじめ、各地でのサミット関連関係会議の警備や、外国要人来日警備等も控える中、ゴールデンウィーク期間中、各地の行楽地やイベントでの警備が無事完遂できたことは、サミット警備に向けた全国機動隊の大きな自信となると同時に士気も高まっている。

全国各地の行楽地で我々が何事もなく、平穩無事に大型連休を満喫できるのも、機動隊員をはじめとした全国の警察官の皆さまの尽力によるものだ、影の大きな力を当たり前のごとく思わず、感謝したい。



沿道には、子供からお年寄りまで多くの人が集まる (広島県警察/ひろしまフラワーフェスティバル)

5月3日、今年の「よこはまパレード」は、あいにくの雨の中での開催となりました。毎年この時期に開催されるこの祭典は、昭和28年から開催され、今回で56回目を迎える横浜の大イベントの一つと言える知名度の高い祭典になります。

私は、まだ雑踏警備の経験はほとんどありませんでしたので、このような大きな祭典の警備に従事することを、光栄に思うとともに、「私にこの警備が務まるのか」という期待と不安の中で警備に当たることとなりました。

私の任務は、この祭典のメイン会場である赤レンガパークで、沿道にいる見学者の安全を確保するとともに、パレードが円滑に進行できるように、見学者を的確に整理誘導することでした。

私が配置に付いたところには、降っていた雨も止み始めてきましたが、雨の中でパレードを待っていた見学者も多く、びしょ濡れで寒さに震えている人も見受けられました。

中には子供もいて、私は「みんなこのパレードを毎年楽しみにしているんだ。絶対成功させなければ」と不安だった気持ちと忘れ、トラメガを片手に声を張り上げ雑踏警備に従事しました。

大人たちはパレードの方ばかりに目が行き、足元にいる子供たちを気にしていない様子で、私は子供たちが押されて転ぶようなことが無いように、「一生懸命広報しました。気がつく」と私は、トラメガを使わずに自らの声と身振り手振りで広報していました。

夢中で雑踏警備をしている中、パレードは無事終了し、私の任務も終了しました。今回の警備で感じたことですが、祭典の楽しい雰囲気の中で、観客の理解を得ることは容易ではないということです。

実際のところ、何人の見学者が広報に耳を傾けてくれたのか、疑問に思うところもありました。

しかし、無事任務を終了することができた今、広報は、雑踏警備で事故を未然に防ぐ最大の武器であることを実感しています。今年は何年よりも少ない観客数ではあったものの雨の中での雑踏警備ということで、私にとって大変貴重な経験となりました。

これから夏を迎え、花火大会などの警備に従事する機会が多くなりますが、今回の経験を活かして無事故で任務を完遂していきたいと思えます。



神奈川県警察 第機動隊 相馬 千絵美

ゴールデンウィークの5月3日から5日までの間「ひろしまフラワーフェスティバル」が開催され、私の所属する部隊は雑踏警備等に従事しました。

祭りは、3日間で延べ約166万人の入出で、広島市中心部の平和記念公園と平和大通りを主会場としてパレードやステージが開催され、目見ようとして集まった多数の観光客でごった返し、身動きを取るのも困難な状態でした。

開催地の広島市は、平和都市として有名で、多数の外国人観光客も来場しており、日本語の通じない外国人に対して片言の英語やジェスチャーで地理指示し、対応に苦慮することもありました。

任務を無事完遂すると、それまで張り詰めていた緊張が解け、疲れが一気に出ました。市民から掛けられた感謝の言葉や笑顔を思い出すと充実感から心は満たされました。

中国管区機動隊(広島県警察)上岡 雄一



中国管区機動隊(広島県警察)上岡 雄一

よこはまパレードを終えて

神奈川県警察 第機動隊 相馬 千絵美

ゆるぎない機動隊の強さを! 新入隊員訓練スタート

特集



己の内の恐怖を克服する(滋賀県警察機動隊)



仲間同士、競いあい励ましあう(徳島県警察機動隊)

春は新たな生命を育む季節。各都道府県警察機動隊にも理想と希望を胸に新入隊員が入隊しました。治安の最後の砦として任務を全うするため、自らに試練を課す新入隊員訓練。今年は7月に洞爺湖サミットを控え、より厳しさを増しているようです。訓練の様子とともに、新隊員の決意をご紹介します。



声の限りに叫び楯を飛ばす(長崎県警察機動隊)



指導を受け、懸命に恐怖と闘う(神奈川県警察機動隊)

滋賀県警察

これからは、この訓練の経験を活かして機動隊員として日々の訓練に全力で励み、自己研鑽し、「警察最後の砦」としての自覚と使命感を持って厳しい現場で強い執行力を発揮できるように努力し、国民の期待に応えることができるような隊員になりたいと思います。

この訓練を終え私は、機動隊は個人の能力はもちろんのこと、部隊活動をすることで信頼関係とチームワークが必要であるということに改めて実感しました。

その時、「あいつも一生懸命頑張っている。辛いのは自分一人だけではない」という思いが沸きだち、訓練を乗り越えられたのです。訓練も終盤を向かえてきた頃には、同期隊員が一致団結し、誰一人の脱落者も出さず訓練を終えることが出来ました。

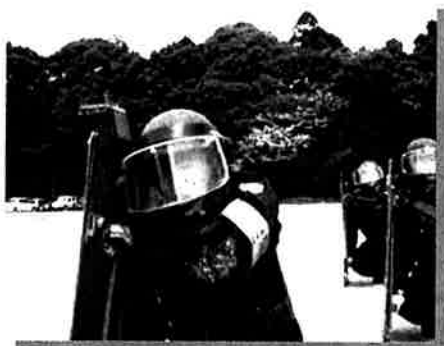
しかし、この厳しい新隊員訓練を最後まで乗り越えることが出来たのは、同期隊員との「強い絆」があったからだと思います。

ある日、警備実施訓練中に自分自身が「体力的、肉体的にもうだめだ」と諦めそうになったとき、同期隊員の声をからしながらの必死のかけ声を聞いたのです。

私は、幼少の頃から剣道を続けており、体力には自信がありました。3月の人事異動で機動隊勤務を命ぜられ、今までと環境が大きく変わり経験したことのないことばかりで、不安と希望が入り交じっていました。

1カ月間の新隊員訓練は、私にとって非常に中身の濃い充実した、厳しい訓練の日々でした。

1 新隊員訓練を終えて



仲間の声と信頼を背に部隊活動にのぞむ



滋賀県警察機動隊
中野 純司

2

女性レンジャー隊員となつて

神奈川県警察

学生時代から柔道に勤しんできた私にとって、第二機動隊の新入隊員訓練は、男性隊員に負けないう覚悟で臨みました。しかし、その思いも無残に打ち消される厳しい訓練でしたが、仲間の温かい支えにより、何とか気持ちを維持して乗り越えることができました。

一息つく間もなく、ヘリコプターからの救出作業をめざして、レンジャー隊員を希望し、訓練に挑みました。

レンジャー訓練は、男性隊員でも過酷な訓練であると何度も話を聞いていましたが、正に私の想像を遙かに越えるものでした。

訓練は、今まで私が柔道の稽古でも経験したことのない精神的、肉体的に厳しいものであり、生まれて初めて腕立て伏せをやりながら涙を流してしまいました。特に駆け足訓練では、隊列から離れてしまい、先輩方からは「それでもレンジャーか」と気合を入れられながらも、無我夢中で隊列についていきました。そのような体力増強訓練で、レンジャー隊員としての基礎体力の物足りなさを痛感しました。

訓練を終え、レンジャー隊員の徽章を受けた時は、大きな感動とその誇りと使命感を肌で感じることができました。



神奈川県警察第二機動隊
神谷 暁子



男性隊員にも負けない覚悟で

徳島県警察

最後に、目標とする先輩方に、二日も早く一人前の機動隊員であると認めてもらえるよう、初志貫徹の精神で努力し、いついかなる場所でも出勤し、守るもの、助けを待つ人々が存在する限り、臆することなく自信と誇りを持って活動できる機動隊員を目指して頑張っていきたい。

新隊員訓練では、警察学校で学んだ基礎的警備実施訓練は活かされているものの、機動隊の訓練は、節度を重視した機敏な部隊活動であり、私は、幼少時代から始めた柔道を通じて養った心・技・体のすべてを活かし、厳しい部隊活動の習得に努めた。

先般も、本年初夏に北海道にて開催される洞爺湖サミットに向け、県機動隊及び第二機動隊との合同治安警備訓練を実施した。訓練してみると、第二機動隊員と県機動隊新隊員の私との訓練度はほとんど変わらず、更なる努力が必要と痛感した。



徳島県警察機動隊
生原 正憲



先輩を目標に、自信と誇りにあふれる機動隊員を目指す

長崎県警察

私が機動隊に入隊して早一カ月。機動隊生活にも徐々に慣れてきたが、連日の厳しい訓練には未だに身体がついていけず、悔しい日々を送っている。

そんな私であるが以前から機動隊入隊を強く希望していた。

それは私が警察学校に入隊して間もない頃、授業で成田闘争のビデオを見た際、衝撃的なその映像が頭の中に強く焼き付き、私も機動隊の一員として、治安を守りたいと強い使命感に駆られたからである。

また、学校時代の教官や配属先の先輩方からも「機動隊には度は行った方がよい。」という話を聞き、私の中で「次に行くところは機動隊だ。」と自然と思うようになったのである。

しかし、入隊前の予想を超えた過酷な訓練に心が折れそうになることも度々あるが、訓練に当たり心掛けていることがある。

それは機動隊の三大徳目である「根性・闘魂・忍耐」という言葉である。

訓練で心が折れそうなきは三大徳目を何度も頭の中で反復し、自分に負けないよう心掛けていっている。

私は機動隊で体力・知力・精神力の向上を図り、力強く心優しい警察官になることを目標としている。

これからも厳しい訓練に全力で取り組む、サミットへの特別派遣等を通じて人間としての自分を成長させ、また、自分を支え、くれる同期や先輩方、影ながら応援してくれている家族に大きな感謝の気持ちを持つて頑張っていこうと思う。



長崎県警察機動隊
末弘 祐



「根性・闘魂・忍耐」の三大徳目を胸に過酷な訓練に取り組む

3

私の目指す機動隊員

私は、桜が咲き誇る本年4月1日、警察官を拝命する以前からの夢であった機動隊員となった。機動隊員になることにより、自己の身体的・精神的向上を図ることができると考えていたが、機動隊業務には警備訓練はもちろん、術科訓練、潜水活動等さまざまな業務があり、全く未経験の私はその厳しい業務二つひとつを覚えることで毎日が一杯の状況である。

4

機動隊員としての決意

訓練で心が折れそうなきは三大徳目を何度も頭の中で反復し、自分に負けないよう心掛けていっている。

私は機動隊で体力・知力・精神力の向上を図り、力強く心優しい警察官になることを目標としている。

これからも厳しい訓練に全力で取り組む、サミットへの特別派遣等を通じて人間としての自分を成長させ、また、自分を支え、くれる同期や先輩方、影ながら応援してくれている家族に大きな感謝の気持ちを持つて頑張っていこうと思う。

頼もしい機動隊のニューフェイスたち。入隊訓練を通じ、それぞれに機動隊員としての自覚が芽生えているようです。厳しい訓練に耐え抜いた力と自信を糧に、機動隊の新たな歴史を作っていくてくれることでしょう。

Member's Lounge

講演会録

過去の世代が「国土」に働きかけてより良い「国土」をつくったと語る大石氏。今回は、民族の経験と国土の形成の関係性について、ヨーロッパと日本の歴史上の大震災に対する歴史観を比較しつつ、プロの視点から語って頂きました。

「紛争死史観」と自然災害死史観

<5月のゲスト>

おおいし ひさかず
大石 久和氏

財団法人
国土技術研究センター
理事長



プロフィール

昭和20年生まれ

学歴

昭和45年 3月 京都大学大学院工学研究科修士課程 修了

職歴

昭和45年	4月	建設省入省
平成5年	4月	国土庁計画・調整局総合交通課長
平成7年	6月	建設省道路局道路環境課長
平成8年	7月	建設省大臣官房技術審議官
平成11年	7月	建設省道路局長
平成14年	7月	国土交通省技監
平成16年	7月	財団法人国土技術研究センター理事長

現在に至る

主な著書名

「国土学事始め」2006年3月毎日新聞社出版
週刊「サンデー毎日」 「国土のかたち」連載中

1 次世代に残すものとは何か

「国土に働きかける」ということを、国の力で大規模に行ったのは、日本で一番古くは、大和朝廷の時代から造られた官道で、五畿七道と言われる国土形成の基になりました。同時に奈良制という区画整理が全国的になされました。これらの遺構は各地に残っています。東京の地下鉄は昭和2年が最初の供用で、この都市よりも早く地下鉄に着手してきていたからと、私たちは160円初乗りで世界のどこよりもネットワーク豊かな地下鉄を安く使うことができます。戦後、全国的に農業基盤整備も行っており、その成果の上で私たちは暮らしています。過去の世代が「国土」に働きかけてより良い「国土」をつくったのです。このことを考えると、例えば道路特定財源を一般化して福祉に充てればいいという方は、国土学の観点からみると、現代の人間が稼いだお金は現代の人間が使い切ったという主張をしているのに等しいと思えて仕方ありません。

私たちは「私環境」が良くなるためには最善の努力を重ねます。この「私環境」を支えるためには「公環境」が絶対必要なのです。しっかりと交通環境、情報通信、電気・ガスなどの装置がある上に法律などの制度がある。それが「公環境」です。道路装置について言うと、もう十分できたという声もあります。しかし中国では、日本が何十年もかかって作ってきたストック総量並みのものを毎年追加しています。今後、私たちの子供や孫たちだけが日本国に残ったとき、中国の子供や孫たちと競争できるだけのものを本当に残して置けるでしょうか。公共事業、科学技術教育は、次の世代に対する働きかけで、次の世代に対して私たちが何を残しているかということが重要なことです。

2 ヨーロッパと日本の自然条件の違い

経済財政諮問会議は2010年の骨太方針のときから公共事業費がGDP比で先進諸国より高いと主張して

その結果、現在もマイナス3%を続けています。

日本は、全土で地震力を考慮しない構造物設計は必要ない地域になっています。ドイツは、全土で地震力0でいいのです。これだけ外力が異なるのに日本は同じ金額で同じ構造物ができるでしょうか。日本で、新幹線や高速道路を築いたため高く、当然橋梁とトンネルだらけになります。構造物比率は、フランスは約4%で、日本の高速道路の構造物比率は約30%です。その違いを二重考慮しないで先進国並みに下げたいことをするのは嫌だと言っている。要は財政支出で公共事業をするのは嫌だということはその国の競争力を規定する話で、その観点からの議論が必要なのです。

3 都市形成の違い

シテ(都市)はラテン語の「キウイタス」から派生しており、「壁の内側の人が密集している場所」という意味です。つまり、シテイという言葉には、城壁が概念の中に入っているということです。

ヨーロッパ文明になる最初の文明シテ(都市)は、紀元前3000年に最初に都市全体を城壁で囲むという、都市国家としてスタートしました。シテ(都市)から一番最近でいうと1919年のパリに至るまで、城壁がなければ暮らせませんでした。城壁というインフラです。つまり、ヨーロッパの民族性を規定していた時代に、都市の人間は城壁の中に暮らしてきて、城壁の中に暮らす人、城壁というインフラに対する感謝や整備を繰り返して経験し、刷り込まれてきたのです。それが彼らのインフラ観を形成したのではないかと、う仮説ができます。

古い都市の代表例であるバビロンやトロイでも、何度も城壁を造り、城壁を拡大してきました。アテナ

やミケネ、中国では長安ソウルの南の方にあるスウォンという町も同様です。つまり、2000年以上の歴史を持つ国で、日本以外の国は城壁の中に都市を形成して暮らすという歴史を持っており、日本人だけがその経験をしていないのです。インフラ観というものに、私たちは欠けて暮らしてきたのではないかと、う仮説ができます。

朝鮮半島からイギリスに至るまで、日本以外の国々では、都市とは異邦人の攻撃によって全員が皆殺しにならないための装置です。長い兵糧攻めに遭い、兵士だけでは中、それを処理する仕組みを、不安や不満があり、それがきたから長年の籠城に耐えられたのです。城壁の中に大勢の人間が共同生活をするからには、常にいざという時を考えて、全体の利益を優先させるという考え方が彼らの中にあります。それと同時に、都市の構成員である市民はいざという時に共同体を構成する任務を負っているということです。そういう意味で言うと、日本の都市住民は都市で共同体を形成したことは、度々ありません。これが彼らと私たちの間に遺伝子(レール)の差になっています。

そして、その城壁を取り除いたところが環状道路になるので、ヨーロッパの都市は環状道路の整備率が非常に高い。東京の環状道路がまだ出来上がっていないという現状を見ると、こういう歴史的な背景が関係していると言えてしまう。

4 紛争死史観と自然災害死史観

日本人は大量死を伴う紛争を経験していません。彼らの紛争は、関ヶ原の戦いなどはスケールが全く違い、往々にして何百万人、何千万人も皆殺しを伴っています。そういう経験を繰り返したからこそ、城壁を造り、城壁に閉じこもるという大変不便な生活を受け入れてきたのです。

例えば、今、ヨーロッパのある企業や国との交渉をするに、彼らはそうして培った文化・文明の上で私たちが対峙しているのです。私たちは「紛争」において大量殺戮の経験がないが、彼らは「紛争」で多くの人が亡くなっているという違いが非常に大きく、それが大きな文化の差になっています。

しかし、私たちは「自然災害」では非常に多くの人が亡くなっており、1847年の善光寺地震では1万人、関東大震災では14万人、これは自然災害において最大の死者数です。彼らは紛争死によって「うらみ」を残して死んでいく人々であつたのに対し、われわれは自然災害による死です。つまり「あきらめて死んでいく人々」なのです。

信仰も違っています。彼らの神様というのは命令する神様です。やはりそれほど強力な神が必要だったのだと思います。自然災害で大変な目に遭った私たちが神を必要としたのは、これに対する救済だと思います。人間が死ぬ時、人が死んでいく姿を見るということが最も人生観や世界観に影響するため、この違いが様々なことに影響していると思います。

5 ヨーロッパ諸国と日本の相違点

私たちが彼らの間にこういう違いがある中で、国際社会において彼らからどう見られており、どう見ているのか、という点が非常に重要になってくると思います。

例えば、代位制については、日本の総理大臣の代位制は、小淵元首相が病気になるに決まると、初めて決められました。ところが、アメリカの大統領の代位制は、13位まで決まっているそうです。

私たちは、セキュリティ・安全保障の考え方が甘い。アメリカは安全保障が第1位の国です。アメリカや中国は一番肝心なドアは内開きです。内開きのドアはセキュリティには強いのですが、生活上不便利です。しかし、日本のように外開きのドアはセキュリティには弱いですが、便利です。セキュリティよりも日常生活の利便性を優先するという考え方が、私たちの生活において根付いているのです。

道路ネットワークにおいては、ドイツではアウトバーンは網の目になっています。つまり1カ所打ち破られたときに、バックアップができる、爆撃されるということも常に前提に考えているというネットワーク配置になっており、需要追従だけでなく、先回りして準備しています。国は骨の髄まで需要追従です。今回の国会で言われたのは、交通量が減る時代に、繁華な計画になっているのはいかにもというところ、われわれには、理念的に東京と周辺の県庁所在地というのは、という規格の道路で結ぶのかという考え方がありません。

6 EUにおける「気候変動問題と国際安全保障」

最近EUが「気候変動と国際安全保障」という考え方を理事会に提出しました。EUは気候変動問題、地球環境問題は、国際安全保障の問題になると思っています。海面上昇することによって、暖味になる国境、北極海の資源の争奪戦、あるいは海岸近くで掘り出される鉱物資源の枯渇、そしてそれらの奪い合いになる可能性などです。それに対してEUがどう備えるか、どうい紛争解決に寄与するかという議論が始まろうとしています。

私たちの国で起きている地球環境問題に対するアプローチの仕方は、このような議論ではなく、もっと情緒的です。90年次を基準値にして、カナダやアメリカも離脱していますから、実質の意味では先進国で下げなければならぬのは日本だけになっています。CO2のことについての議論は起きます、とにかくみんなでCO2を下げようというムードにはなっていない。環境が引き起こす移民問題やあるいは国境紛争というものが、東アジアで起こりやすい可能性が、東アジアに対して、私たちがどうい貢献をするのかというアプローチがないというのが、これは民族の経験の違いに根ざしている部分が大半を占めているのではないかと、う仮説ができます。

私たちはその経験から合理的、合理的というよりは、情緒主義に陥りがちです。従ってメディアは情緒をおおってならぬ、国民がますます情緒化するというのを避けなければなりません。だからこそ冷静に、理性的に、合理的に考えようということはいかなければなりません。今、起こっていることはどうも逆のことばかり起こっているようで、残念で仕方がありません。しかし、これを乗り切らないと私たちは国際化時代を本当の意味で生き延びることはできないのではないかと、う仮説ができます。

若さと伝統 頑張れ機動隊

- 新日本製鐵(株)
- 日鐵住金建材(株)
- 日鐵商事(株)
- 五十鈴(株)
- 岡田運輸(株)
- 青山特殊鋼(株)
- (株)エース電研
- (株)三榮商會
- スカイコート(株)
- 日鐵住金鋼板(株)
- 橋山和生(株)
- 国見山(株)
- 光洋商事(株)
- 明鋼材(株)
- 日鉄東海鋼線(株)
- 日鐵物流(株)
- 山陽鋼業(株)
- 北越メタル(株)
- 自見産業(株)
- 豊鋼材工業(株)
- 佐藤製線販売(株)
- (株)機動隊員等を励ます会
- 東北支部

CONTENTS

- P1 本番目前 北海道洞爺湖サミット開催に向けて!!
第31回東北支部総会開催
- P2 特集 「国賓」中華人民共和国胡錦濤国家主席夫妻一行
来日に伴う警衛警護警備完遂!!
- P4 Member's Lounge
「新エネルギー技術開発の現状と今後について」吉田 裕氏

発行所
社団法人 機動隊員等を励ます会
〒144-0056 東京都大田区仲六郎4-32-5
発行人 小山 巖
TEL 03(3739)0590
購読料 年間1,200円
(但し会費の中には購読料を含む)

Jan.2008
No.402

はげまし

For the Riot Policemen
& Members

組織の総力を挙げ、サミットを成功へ

本番目前 北海道洞爺湖サミット開催に向けて!!



サミットへ向け一段と力の入った表情へ



緊張感の漂う合同訓練



要人警護実践的な訓練で備える

いよいよ北海道洞爺湖サミット(7月7日、9日)が目前である。既に他県からの応援部隊も北海道入りしており、緊張も高まっている。今回のサミット等の特徴としては、次の点がある。

- 平成13年の米国における同時多発テロ事件以降、我が国で初めて開催されるサミットであること。
- 反グローバルイズムを掲げる団体による暴動が大きな脅威となっていること。
- G8各国以外にも、中国を始めとする様々な国の要人の参加が見込まれること。

また、テロや過激な反グローバルイズム運動は、北海道だけでなく全国あらゆるところで起こりえることが懸念され、それぞれの都府県に残った機動隊員も自県での厳しい警戒を実施している。まさに全国警察が総力を挙げて、サミットの成功に向け警備に取り組んでいるのである。

我々の会としても警備に励む機動隊・全国の警察官の皆様を少しでも支援することを考えている。

第31回 東北支部総会開催



恒例の「この世を花にするために」で締めくくられた

5月12日、ホテル仙台プラザにて第31回東北支部総会が開催された。

来賓の笠原東北管区局長、大山宮城県警本部長以下警察幹部、約150名の機動隊員に加え、励ます会の評議員、一般会員が多数集まり、総勢約350名の大盛況の会となった。

国歌斉唱の後、佐藤東北支部長(佐藤製線販売株式会社代表取締役社長)が挨拶に立ち、機動隊員の国家威信と国民の安全を守るための日頃の献身的な努力に敬意を表するとともに、我々会員も機動隊の存在意義を世の中に広く知らしめ、啓蒙して、いこうと呼びかけた。

続いて小山理事長が、来たるサミットでは、日本の警察機動隊の真価が問われる、日頃の厳しい訓練の成果を如何なく発揮し、任務を完遂して欲しいと機動隊員を激励し、国民生活の安全のためには、我々一人一人の自覚と社会の連帯感が大切であると強調した。

来賓の笠原局長は、日頃、隊員の高い士気を実感している、サミットでは健康に留意して任務にあたって欲しいと、大山本部長はラグビーの「one for all, all for one」の精神で誇りを持って頑張ることをそれぞれ訓示した。

その後、山崎新日本製鐵株式会社東北支店長による乾杯の音頭で懇親会に移り、各テーブル周辺で次々と談笑の輪ができ、歓待の時間を過ごした。

更に会の余興として、北上の郷土芸能「鬼剣舞」が披露され約20分間にわたる勇敢な舞い、技に感嘆の声があがっていた。続いて、会場全員で肩を組み「この世を花にするために」を大合唱した後、柳橋秋田県警察機動隊長が謝辞とともに「今後も機動隊を継承し発展させていく」決意を高らかに宣言し、下池東北支部副支部長(株式会社 青工代表取締役社長)の万歳三唱でお開きとなった。

特集

「国賓」中華人民共和国 胡錦濤国家主席夫妻一行 来日に伴う警衛警護警備完遂!!



張り詰めた空気の中警備は続く(警視庁)

去る5月6日、胡錦濤国家主席夫妻が来日されました。各地での警備の様子をお届けします。国内外で重要な問題が起こるなか、各地で警備に当たった機動隊員等の皆さんは、一体どの様な思いで臨まれたのでしょうか?



降りしきる雨さえ気にならない様子(奈良県警察)

街の中でも厳しい目を光らせる(奈良県警察)



一瞬たりとも緊張が解けることはない(警視庁)

約6,600名の
特別態勢での警備実施!!

「国賓」中華人民共和国胡錦濤国家主席夫妻一行は、5月6日来日し、天皇皇后両陛下との御会見、首脳会談及び早稲田大学における講演など日中学生等との交流のほか、神奈川、大阪、奈良日程を終了し、5月9日離日した。

中国国家主席の来日は、平成10年11月の「江沢民国家主席」以来9年6ヶ月ぶりであり、また、中国チベット自治区での暴動鎮圧事件や日本国内における中国製冷凍食品農薬混入事件の発生など、国内外で重要な問題が山積する中での来日となった。

今回の来日をめぐっては、右翼民族派団体や在日中国反体制団体など多岐にわたる団体による活発な来日反対行動が予想され、不法事案の発生も懸念されたことから、警視庁では4月1日、警衛警護警備の万全を期すべく警備部内に警備準備室を設置、その後警備部長を長とする警備対策室を設置して、警備諸対策の推進に当たった。

来日中は、北海道洞爺湖サミット警備のため基幹隊の一部が特別派遣となる中、特別機動隊を招集し、最大時6,600名態勢で各種の警備措置を実施し、右翼民族派団体や在日中国反体制団体による行き先地等における執拗な抗議行動等に的確に対処した結果、全日程を通じて不法事案を防圧し本警備を完遂した。

1 胡錦濤国家主席 来日警備を終えて

普段であれば勤め帰りのサラリーマンが多い日比谷通り。日比谷門前交差点は騒然としていた。「フリーチベット。フリーチベット」。「餃子はどくなつた」「尖閣諸島は日本の領土だ」「ガス田開発反対」「台湾独立」警察は「帰れ」などと、普段は主義主張も異なるであろう人々が、呉越同舟とばかりに叫び、そして公園内に入ろうと機動隊に突き当たる。周囲は野次、怒声、抗議の情宣、警備広報の応酬で緊迫していた。

去る5月6日、中国の胡錦濤国家主席が来日した際、部隊は羽田空港直近の道路において検問を行った後、日比谷公園に転進して、デモの解散地対策に従事していた。デモ参加者を規制区域外に誘導し終え、やれやれ、と思っていた矢先、他の抗議集団が日比谷公園に接近した旨の連絡があり、直ちに先述の現場へ転進を下命された。

「我々は公園に入る権利がある」と言いながら、目の前の男が私を押ししてきた。負けてたまるかと押し戻す。少し力は抑えめに。ところが、男は執拗に私に絡んできたことから、初めこそ手加減していた腕にも力が入り、「いい加減にしなさいか」と言いかけるも、「抗議の矛先を警察に向けられては、元も子もない」と上司に指導されたことを思い出し、落ち着こうと必死になった。

結局、部隊と抗議集団との睨み合いは、胡錦濤国家主席が日比谷公園を出るまでの約2時間ほど続くこととなった。荒れた現場では、不断の訓練と即応の態勢はもろろんのこと、相手の挑発に乘らない、若しくは感情に流されない強い「心」もまた大事なのではないだろうか。余計なトラブルを防ぐためにも必要であろう。

警視庁

余談であるがこの翌日「お前がテレビに映ってる」と言われ、その映像を眺めていたところ、前述の交差点の手前で、抗議集団を阻止する部隊の中に、確かに私の背中が映っていた。背負っていたものは、機動隊員としての責任と意地以外の何物でもない。



警視庁第一機動隊 中川 央

2

厳しい情勢下でのデモ規制

本年5月上旬、当隊の小隊長から「胡錦濤中国国...」

この時期、中国については、北京オリンピック...

同主席来県の数日前には、各行先地において...

当日、雨の降る中、我々は、デモ隊が行進してい...

新隊員であったことから、デモ警備の最中は緊...

奈良県警察



奈良県警機動隊 宮脇 寛典

山口県警察



中国管区機動隊(山口県警察) 山口 雅史

高知県警察



西国管区機動隊(高知県警察) 二階堂 真仁

3

隊員の成長を実感して

今回、奈良県における「国賓胡錦濤中華人民...」

本警備における我々の任務は、中国を取り巻く...

私自身、中隊長伝令として日々その重責を感じ...

警備勤務中、地べたに這いつくばって検索を行う...

愚直に勤務に取組み、任務完遂に向けて徹底し...

こうした隊員一人一人の綿密かつ徹底した警備に...

4

任務完遂

胡錦濤国家主席の訪日に伴う奈良県...

機動隊は、同主席の訪問先である唐招...

同主席の到着時刻が迫る中、それまで...

それが気づいたチベットグループは「何...

これは、隊員一人一人が「不法行為は起...

本年7月には洞爺湖サミットが控えて...

な対応を心...

初めての特別派遣となった機動隊員の方も...

治安の砦 若さの機動隊

- 新日本製鐵(株) 日鐵住金建材(株) 日鐵商事(株) 五、十、鈴(株) 岡田運輸(株) (株)エース電研 (株)エヌテック 草野産業(株) 山陽特殊製鋼(株) 芝本産業(株) (株)スチールセンター 東京製綱(株) (株)メタルワン 平和農産工業(株) 共永興業(株) 浅田隆司(株) 谷本鉄鋼(株) 新関西製鐵(株) 岡谷鋼機(株) 新日本製鐵(株)名古屋支店 堀口海運(株) (株)辻さく ナイルレストラン G・M・ナイル

TEL 03-3541-1824

Member's Lounge

講演会録

「新エネルギー技術開発の現状と今後について」

CO₂排出などの環境問題や近年の原油高に象徴されるエネルギー枯渇問題は、サミット等の議題にも挙げられる地球規模の問題となっています。これら問題の打開に向け、新エネルギー技術の開発に尽力されている、独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) 理事の吉田氏にお越しいただき、開発の現状と今後についてお話いただきました。



<6月のゲスト>

よしだ ひろし
吉田 裕氏

独立行政法人 新エネルギー・
産業技術総合開発機構 理事

プロフィール

昭和23年8月生まれ

学 歴

昭和46年 3月 九州大学工学部探鉱学科卒業

職 歴

昭和46年	4月	通商産業省入省
平成 2年	6月	立地公害局石炭課長
平成 4年	7月	資源エネルギー庁石油部精製課長
平成 6年	7月	工業技術院総務部研究業務課長
平成 8年	6月	大臣官房参事官(環境立地局担当)
平成 9年	6月	工業技術院総務部技術審議官(研究業務担当)
平成10年	6月	環境庁長官官房審議官(官房担当)
平成12年	6月	退官
平成12年	7月	新エネルギー・産業技術総合開発機構理事(現職)

1. NEDOの概要

本日は、まず本題に入る前に私が勤務する独立行政法人NEDOについて紹介させていただきます。1980年「新エネルギー総合開発機構」として設立。当時の通商産業省の「サンシャイン計画」を推進する実施機関としてスタートしました。その後、産業技術全般も行うようになり「新エネルギー・産業技術総合開発機構」に改称、2003年に独立行政法人に組織変更し、現在に至っております。約1000名のスタッフがナノテクからバイオ、ロボット、電子情報等の産業技術とエネルギーの技術開発、エネルギー関係の導入支援を行っています。事業規模としては20年度の弊社全体予算額が約2300億円、そのうち半分強にあたる1300億円が本日のテーマであるエネルギー関係事業にあてられています。

また、この定義は最近改訂され、廃棄物関連のものや電気自動車や天然ガス自動車、コジメシション、燃料電池は新エネルギーより削除されました。新エネルギーの2005年の日本の実績としては、石油換算で約1000万kWhです。世界の現状を各国の1次エネルギー供給に占める再生可能エネルギーの割合で見ると、木材資源によるバイオマスや水力発電のエネルギー供給が多いフィンランドスウェーデン等の20~30%をのぞき、概ね欧米諸国で5~6%という現状です。

これに対し政府が定めた「新エネルギーの導入目標」は、2020年には現状の2倍、2030年で3倍という極めて大きな数値を定めています。再生可能エネルギーの2030年度の最大導入量は国内の1次エネルギー供給の1割にあたります。昨年、政府は再生可能エネルギーおよび省エネルギーを推進する「Cool Earth」というエネルギー革新計画を打ち出し、「世界全体の温室効果ガス排出量を2050年までに半減」という目標を掲げました。目標達成には従来の延長線上にない革新的なエネルギー技術開発が不可欠であり、今後重点的に取り組むべき21の技術計画をたて、NEDOは原子力をのぞく19技術の研究推進を担当しています。

以下、主な新エネルギーの現状と課題についてお話をいたします。

2. 太陽光発電について
太陽光発電システムは、オイルショックの翌年1974年にサンシャイン計画として研究開発が

スタートしてから30年近くの長期を経て、ようやく色々な電池が市場に出るようになりました。このシステムは当初は1000万円/kWhで、最近では43万円/kWhと1/30までコストダウンできています。累計導入量は、政府の導入支援策もあり2004年まで日本が世界トップでしたが、支援予算の縮小に伴い現在の導入量はやや頭打ち状態で、2005年にドイツに追い越されています。これはドイツ政府が、フィードインタリフという固定価格買取制度を導入したことによります。

太陽光発電の更なる普及にはコスト削減が不可欠です。今後の技術開発目標としては、2010年には家庭の電力料金に匹敵する23円/kWh、2020年には産業用の電力料金並みの14円/kWh、2030年には火力発電並みの7円/kWhを目指しています。資料が3年前と少し古く、2007年は30円/kWhと表記されていますが、実際は30円/台後半が現状です。これは太陽電池の世界的マーケットの拡大で原料のシリコンが不足し、価格が下がらないこともあり、目標価格に未達となっています。そこで我々はシリコン量を大幅削減した薄膜シリコン太陽電池、銅インジウムセレンという非シリコン系CIS系薄膜太陽電池の研究に取り組んでいます。さらに化学系材料による色素増感有機薄膜太陽電池の研究を行い、完成すると曲げて使用可能など、従来にならぬ形態に対応できるようにあります。太陽電池は半導体産業や液晶産業の活用など、裾野の広い技術ゆえ、我々も非常に注力している次第です。

4. 風力発電について
日本における風力発電はここ5~6年で急速に導入拡大、1年前で風車が1300基、発電量は1500万kWhとなっています。とはいっても世界の一位のドイツ、次いでスペイン、アメリカと比べても日本は相当遅れています。その理由は風況、風の量や質があまりよくないこと、季節変動が大きく、風の吹く地域が限定されるほか、台風や冬の落雷による風車への破壊被害も大きな壁です。現在日本メーカーの生産能力の限界もあり日本の風車マーケットの8割以上がヨーロッパ製です。NEDOでは日本の風況に合った内外のメーカーに対する風車の仕様などのガイドラインの作成や独自の風車開発に取り組んでいます。また合わせて山間地域への設置に比べコスト安の洋上風力発電に注目、日本特有の気象、海上条件を考慮した洋上風力発電システムの開発、設計を今年度から取り組むべく検討を開始しています。

3. バイオマスについて
日本のバイオマスエネルギー賦存量は、石油換算にして4500万kWh、うち実際に利用可能なのは最大3500万kWh、これは日本の1次エネルギー5億9000万kWhの6%に相当します。バイオマスの原料は、木質系、農業残渣系、畜産糞尿、下水汚泥、食品廃棄物などで燃料を発生、ガス化などの技術で液体燃料、気体燃料へ転換するものです。最近ガソリン代替として期待されているエタノールの原料はサトウキビやとうもろこし、小麦などの作物系が中心です。日本でも沖縄の伊江島で農水省、経済省、環境省の関係機関が協同し、サトウキビからのエタノール製造、燃料供給の実験を行っています。また最近ではサトウキビ以外に廃棄物系や間伐材や稲藁などのセルロース系の材料も注目されています。その背景にはアメリカの農家が飼料用小麦からマーケットのリターンが大きいエネルギー用とうもろこしの生産シフト、その結果、小麦不足、小麦価格高騰問題も顕在化しており、セルロース系材料は今後バイオマスの技術開発の中心のテーマになると考えられます。NEDOではセルロース系のコスト高を解決

5. 水素エネルギーについて
水素エネルギーはカーブの的には、1次エネルギーとして新エネルギーとは異なるものの、燃料電池としての利用に注目が集まっています。燃料電池はいくつかの方式があり、従来、比較的高温で反応するタイプのものが実用化段階になっていますが、大規模発電等、利用が限定されていました。しかし最近100℃前後の低い作動温度の固体高分子型の技術開発も進み、コンパクトにできるため自動車や

6. 連系技術及びその他の事業について
先述の太陽や風車は環境にやさしい反面、自然依存度が高く、出力が短期間に大幅に変動し、電力会社の系統線に結ぶと周波数や電圧に問題が発生します。そこでNEDOで系統連系関連の技術開発を行っています。2005年の愛知万博ではNEDOパビリオンと政府館で使用する電力を、太陽電池、会場で収集できる太陽電池のプラスタックを原料とした発電、会場のレストラン等の食品廃棄物による発電、燃料電池により供給する実験を行い問題のないことを確認しました。現在、群馬県太田市で53軒の住宅団地にて太陽パネル実験を実施しています。また大型の蓄電池およびSMEという超伝導を利用した電力の貯蔵システム開発や、ワケル水素リチウムイオン、キャパシタなど、新電池技術を用い、一度蓄電し、必要ときに出す技術開発も行っています。

また、導入、普及事業として自治体やNPOへの支援、設備導入補助による導入促進に加え、各種シンポジウムやコンクール、成果発表会などの普及啓蒙も積極的に実施しています。加えて、国際事業として、省エネ事業を含め、アジアの発展途上国における新エネルギーの導入を図るため、中国敦煌市で太陽電池と風力発電を組み合わせたもの、ラオスで水力と太陽電池を合わせたものなど、様々なモデル事業を実施しています。短い時間でしたが、我々の活動をご理解いただけたら幸いです。

励ます会からのお知らせ

●第35回 通常総会及び懇親会開催の件

7月22日(火) 都内明治記念館に於いて開催致します。

1. 通常総会 午後5時45分~6時15分まで

2. 懇親会 午後6時30分~8時まで

●北海道洞爺湖サミット開催の為、今年7月7日を休刊とし8月号を発行させていただきます。

CONTENTS

- P1 第35回通常総会並びに懇親会開催!
三村新日鐵会長 懇親会で祝辞
- P2 特集 我が国で最大規模の体制で
北海道洞爺湖サミット警備無事完遂!
- P4 Member's Lounge
「反社会派勢力による企業被害を防止する為に」 賀志浩平氏

発行所
社団法人 機動隊員等を励ます会
〒144-0055 東京都大田区仲六郎4-32-5
発行人 小山 巖
TEL 03(3739)0590
購読料 年間1,200円
(但し会費の中には購読料を含む)

はげまし

Aug.2008
No.403

For the Riot Policemen
& Members

第35回 通常総会並びに懇親会開催!!

社団法人 機動隊員等を励ます会
第35回(平成20年度)通常総会懇親会



会場全体の賑やかで楽しい声で包まれる

「この世を花にするために」の大合唱

サミット警備元遂!

機動隊員のご活躍に感謝を込めて

去る7月22日、明治記念館において「第35回機動隊員等を励ます会通常総会並びに懇親会」が開催された。

通常総会には、会員約150名が出席し、小山理事長の議事進行の元、齋藤事務局長より「平成19年度事業及び決算」「平成20年度事業計画案及び予算案」について報告、満場一致で承認された。今年度は北海道洞爺湖サミット警備をはじめとし、激励支援活動の展開とともに機関誌やホームページの内容充実を図っていくことなどを計画している。

次いで新任理事が選出された。新日鐵副社長の今久保智大氏が副理事長として就任、齋藤事務局長が常任理事に就任し、役員新体制がスタートした。

総会終了後、会場を移し警察庁・警視庁・関東管区警察局長の幹部及び機動隊員の皆さまと当会会員による懇親会が総勢約300名で盛大に行われた。冒頭、小山理事長から「今回のサミットは、9.11米同時多発テロ以降日本において初めての開催である。肉体的にも精神的にも過酷な状況のもと、機動隊員をはじめとする警察官の皆さまは、警備を完璧に成し遂げられ、日本警察の実力を世界に知らしめることができたと思う。また、岩手・宮城地震では広域緊急援助隊として派遣され、二次災害の危険のある中、懸命な救助活動には国民一人ひとりが感銘を受けた。心から感謝申し上げる。」と挨拶をされた。

また、吉村警察庁長官からは「今年度は日本全国でサミット関連の各国の開催会議が何箇所も開催されたため多方面・長期間に及ぶ警備を余儀なくされたが、見事にサミット警備を完遂することが出来た。今回は、3年前イギリスでサミットが行われた際、会場とは遠く離れたロンドンで地下鉄爆破テロが発生したという状況や、昨年のドイツにおける反グローバリズム活動家による過激デモ行動があり、その為、北海道と東京の両方を同時に目配せしなければならなかった。警備実施の面では渋谷、札幌で起こった「デモ」に対し、全国から集まった機動隊員が中心となってしっかりと押さえ込んでくれたことで雌雄を決した。これから日本の警察は解決すべき課題を数多く抱えているが、慢心することなく日本の治安の砦として頑張っていきたい。」と述べられた。

次いで、警視庁矢代警視総監は「今年度は、サミット警備にあたり励ます会から手厚い支援を賜り御礼申し上げます。我々は昨年来準備を重ね、手厚い部隊展開をして警備にあたり、多くの方々のご支援ご協力により無事完遂することができた。近年「荒れた現場」の経験は無かったが、経験あるベテラン職員が中心となって訓練を重ね、機動隊を中心とする集団警備力の効果と練度の高さを改めて認識することができた。様々な破壊勢力に対し私共の鍛錬をいざという時に発揮できるよう日々から備をいきたいと思います。」と当会への感謝の言葉と共に述べられた。

その後、全国優秀機動隊員受賞者を代表して伊香賀光隊長による海外研修・招待に対する謝辞・今久保副理事長の乾杯の音頭で賑やかな歓談へと移った。

隊員と会員の交流は短い時間ではあったが、お互いの絆を再確認し、明日への活力を強めることができたと思われ。最後に出席者全員で大きな輪となり肩を組み「この世を花にするために」を大合唱し、宮本副理事長による万歳三唱で第35回通常総会並びに懇親会は大盛況のうちに幕を閉じた。



吉村警察庁長官によるご挨拶



矢代警視総監によるご挨拶

三村新日本製鐵会長 懇親会で祝辞



新日本製鐵 三村会長

懇親会に来賓として、新日本製鐵の会長として初めて三村明夫会長が出席し祝辞を述べられた。三村会長は世界中が注目する中で今回サミットの警備が完璧に実行され無事終了したことに感謝の意を表し、サミット会議自体も各国の利害が錯綜し難問山積の中では考えうる最高の成果を得たと高く評価した。

また、「世界の様々な問題の中で、日本の先行きを考えると我々はややもすると自虐的になりがちであるが、他国と比べて我が国の素晴らしさを再認識すべきである。再認識すべき点は3点あり、一「目は、新しい文化を取り入れ、我々のものにする柔軟な国民性。二「目は、「青空」の存在。東京オリンピックの頃は東京の空が非常に汚れていたが、自然の恵みと我々自身の環境を改善する努力を積み重ねて青空を取り戻したのだ。そして三「目は安全・安心な国家であること。これは、機動隊員等の警察官の皆さまの献身的な努力の賜物である。しかし世の中には潜在的な危険があらゆるところにあり、どのように対処すべきか。警察の皆さまのお力のみならず、国民一人ひとりが何ができるのか、もう一度考え実行していくことが安全安心の国を続けるために最も大切であると感じる。しかし、一人ひとりにできることは限られており、故にこの「機動隊員等を励ます会」に参加し、継続していく事が我々ができる数少ない活動の一つである。従ってこれからもこの会を是非とも盛り立てていくことをお約束する。」と力強く述べられた。

我が国最大規模の警備体制で 北海道洞爺湖サミット警備無事完遂!

特集

9.11米国同時多発テロから我が国で初めての開催となった北海道洞爺湖サミット。私たち国民の安全を第一に、サミット開催地の北海道では、最大時約21,000名もの警察官が出動するという厳重な警備体制で行われました。また、首都東京をはじめとし、日本全国で万全な警備体制がひかれ、全国警察の連携で見事サミット警備を成し遂げられました。一体感を持って活躍された全国の警察の皆さまの思いや各隊の警備の特徴をお届けします。

「北海道洞爺湖サミット警備」を終えて 北海道警察

平成20年7月7日から9日までの3日間、北海道虻田郡洞爺湖町のザ・ウィンザーホテル洞爺において「北海道洞爺湖サミット」が開催され、期間中、G8ワーキングセッション、アフリカ開発会議、主要経済国会議等に、史上最多の22か国の首脳が参加した。

今回のサミットは、これまでとは異なり、国際テロや反グローバリズムを掲げる過激な団体による暴動等の発生が懸念されたため、全国から警察部隊の特別派遣を受け、最大時、2万1,000人の警備体制を確立して、警備の万全を図った。

主会場や各国首脳が来・離道する新千歳空港、またアウトリーチ国首脳が宿泊する札幌市内のホテルは、数日前から厳戒体制となり、不眠不休の警備が続く一方、洞爺湖町周辺や札幌市内では、連日、反G8を訴えるデモ行進が取り組まれ、一部で逮捕者が出るなど騒然とする場面も見られた。

今回の警備は、過去最大規模であった平成14年ワールドカップサッカー大会警備の三倍の警備体制で、北海道警察にとっては未曾有の大規模警備実施となった。

厳しい情勢の中、「主要国首脳等の身の安全確保」と「首脳会議及び関連行事の円滑な進行の確保」という所期の目的を達成し、任務を完遂することができたのも、全国各都府県警察から機動隊を主力とする警察部隊の特別派遣を頂けたからこそであり、まさに「全国警察一体、全国機動隊一体」を体感した警備実施であった。

最後に、「機動隊員等を励ます会」から、本警備に従事した全警察職員に過分なる激励の品を頂戴したことに対し、衷心より厚く御礼申し上げます。



最前線での警備に臨む



緊張感漂う現場



厳戒な警備体制で侵入を防ぐ

「道民から見た 洞爺湖サミット警備」

北海道洞爺湖サミットは、7月7日から3日間、環境や食料・燃料高騰などの重要問題をテーマに開催されたが、成功裡に終了したといえよう。

しかし、我々道民にとってサミット開催前には会議の重要性やイベント効果への期待の方で、サミットに反対する各種団体・勢力やテロ組織の標的となる危惧や不安の方があつたというのが本音である。

その意味で、多くの道民が普通の日常生活を営みながら淡々とサミット期間を過ごせたのは大変な難いことである。そしてその平穏が全国から集結した2万1,000人の警察官各位の職務に対する並々ならぬ責任感と迅速かつ的確な警備によるものであつたことは論を待たない。広大な北海道は警備面積も広く、洞爺湖会場及びその周辺、各国首脳が滞在する札幌や首都東京等、重要ポイントが分散した今回の警備には大変な苦勞があつたことと想像する。またかなり早い時期から本番に向けて、様々な準備や厳しい訓練を積み重ねられたことと思う。それらの成果のつが、7月5日札幌で行われたデモ行進における反グローバリズム活動家等4名の迅速逮捕とそれに続くデモ活動の徹底的な制御の実現と言えよう。

洞爺湖会場警備では、山中の敷敷との開いやヒグマ遭遇など北海道ならではのハプニングもあつたとのことだが、それら乗り越えて鉄壁の警備を完遂されたことは、日頃の厳しい鍛錬の賜物と敬服した次第である。

サミット警備を通じて、日頃我々が平穏に過ごせるのも警察官の方々の目に見えない、昼夜厭わぬご努力があつてこそと再認識した。

全警察官の皆様深く感謝申し上げますと共に、「機動隊を励ます会」に携わる一人として、更なる啓蒙活動に励みたいと考える。

北海道支部事務局 山田 力也

全国各地の派遣部隊が活躍！ 各部隊の警備の特徴は？

今回の警備では北海道警察はもちろんのこと、全国各地から北海道へ応援に駆けつけました。日本警察全体で関わったこのサミット警備・・・一体感の裏にはどのような警備の特徴や思いがあったのでしょうか？

東北管区

岩手・宮城内陸地震災害警備を乗り越えて

<派遣部隊>

- 青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島の各県機動隊
- 東北管区機動隊

東北管区内では、6月に青森県でエネルギー大臣会議が開催され、またサミット開催直前には、秋田県での植樹祭警備や岩手・宮城内陸地震での災害警備もあり、非常に厳しい状況下での北海道派遣でした。道内では、デモ対策をはじめ、会場周辺や千歳周辺の警戒に当たり、それぞれの部隊が任務を完遂し、会議の成功に貢献できたものと確信しています。

警視庁

「東京が主戦場」 北海道・東京で総力を挙げて

<派遣部隊>

- 警視庁機動隊

警視庁では都内で開催された開発大臣会議及び司法・内務大臣会議に伴う警備に従事したほか、北海道へ機動隊を特別派遣し、主に洞爺湖のサミット会場周辺での警戒に当たりました。また「東京が主戦場」との認識の下、6年ぶりに方面機動隊を編成して都内の警備に万全を期すなど、正に北海道と東京の両面において警視庁の総力を挙げて、各種警備諸対策に取り組んだ結果、不法事案を完全に封じ込め、所期の目的を達成しました。

関東管区

北京五輪聖火リレー警備の経験が生きる

<派遣部隊>

- 茨城、栃木、群馬、埼玉、神奈川、新潟、長野、山梨、静岡の各県機動隊
- 関東管区機動隊

関東管区内では、5月に新潟県で労働大臣会議が開催されたほか、管区機動隊は秋田植樹祭警備に従事してからの入道でした。また、4月の長野での北京五輪聖火リレー警備の経験から、「サミット警備は非常に厳しい」との認識で各部隊は警備に望み、主に洞爺湖周辺や千歳などの主要場所での警備に従事した結果、各隊が無事任務を完遂しました。

中部管区

長期派遣も旺盛な士気を保持

<派遣部隊>

- 富山、石川、福井、岐阜、愛知、三重の各県機動隊
- 中部管区機動隊

中部管区の各部隊は、主に千歳や会場周辺の警戒が任務でした。他の特別派遣部隊の中でも、比較的早い時期に道内入りし、移動日も含めると、相当の長期派遣となりました。その為、部隊の士気の低下が懸念されましたが、各隊は最後まで旺盛な士気を保持し、不法事案の完全防圧に努めました。今回の警備の完遂は、各隊の大きな自信となっています。

近畿管区

管区内長期警備もかわらず 休む間もなく入道

<派遣部隊>

- 滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山の各府県機動隊
- 近畿管区機動隊

各隊の北海道特別派遣自体は比較的短いものでしたが、近畿管区内では兵庫県、大阪府、京都府の3箇所で大規模な大臣会議が開催された為、非常に長い期間の警備を行いました。特に京都の外務大臣会議警備終了後、各部隊は休む間もなく入道し、主に札幌市内の警戒やデモ対策等に従事しました。この過酷な警備に耐えられたのも、日頃の厳しい訓練の成果であると自信を深めたところです。

中国管区

数々の経験が自信を生む

<派遣部隊>

- 鳥取、島根、岡山、広島、山口の各県機動隊
- 中国管区機動隊

管区内各部隊は、サミットに向けた厳しい訓練や5月の胡錦濤国家主席来日警備、6月の京都外相会議警備の特別派遣に従事した経験を活かし、自信を持って札幌市内や千歳、会場周辺の警戒に当たりました。過酷な警備ではありましたが、旺盛な士気を保ち、また道民との心温まる触れ合いもあり、無事任務を完遂し、サミットの成功に大いに貢献しました。

四国管区

小さな管区 大きな結束力

<派遣部隊>

- 徳島、香川、愛媛、高知の各県機動隊
- 四国管区機動隊

四国管区の部隊は、デモ対策及び道内主要施設の警備活動に従事し、管区機動隊は、他の主要会議警備実施後に北海道入りしました。四国管区は、規模的には小さな管区ではありますが、部隊の結束力の強さは全国一であると自負しており、それ故に、管区機動隊が連日のデモ対策に抜擢されたのだと思っています。また、県機動隊も担当任務を完遂し、四国部隊の存在を全国に示した警備となりました。

九州管区

九州～京都～北海道 全国一の移動距離

<派遣部隊>

- 福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄の各県機動隊
- 九州管区機動隊

九州管区内では、6月に科学技術大臣会議が沖縄県で開催されました。今回のサミット警備で苦労したのは、移動距離の長さです。特に管区機動隊は、京都での外相会議警備に従事した為、九州～京都～北海道と移動しました。前回の九州・沖縄サミット警備では、全国から応援を頂き、警備を完遂したことから、今回は「返返し」の気持ちで警備に望み、主に会場周辺警戒等の重要任務に従事し、会議の成功に貢献しました。



励ます会から機動隊員へ500万円相当の物資支援がありました

遠く離れた北海道で開催されているサミットの成功という共通目標に向け、機動隊員をはじめとした全国各地の警察官の皆さまが北海道、そして各地域において一致団結し、全力で警備を実施してきました。この大きな成果から私たちの警察の皆さまに対する信頼感はますます高まっています。今後、この経験を糧に、治安の最後の砦として、更なる活躍を期待してまいります。

Member's Lounge

講演会録

暴力団による抗争事件に一般人が巻き込まれる等、数多くの脅威が私たちの近くに潜んでいる。暴力団という強力な組織を相手に、一体どのような対策がとられているのだろうか。最近ではメディアでも活躍されている貴志氏に、私達の日常さえも脅かす暴力団の巧妙なテクニックと、組織同士との因果関係や企業における悪質な実態等を語って頂いた。

<8月のゲスト>

ま 貴志 浩平氏
 警察庁刑事局組織犯罪対策部
 暴力団排除対策官 警視長



プロフィール

昭和36年6月生

学歴 昭和60年 東京大学法学部卒業

職歴 昭和60年 警視庁入庁
昭和63年 長崎県警察本部刑事部捜査第二課長
昭和66年 警視庁刑事部捜査第四課
平成2年 警視庁刑事部捜査第四課
平成3年 京都府警察本部川端警察署長
平成4年 警視庁刑事部捜査第二課長
平成5年 警視庁刑事部捜査第二課長
平成6年 神奈川県警察本部刑事部捜査第二課長
平成7年 大阪府警察本部刑事部捜査第二課長
平成8年 警視庁刑事部捜査第二課長
平成9年 警視庁刑事部捜査第二課長
平成10年 警視庁刑事部捜査第二課長
平成11年 警視庁刑事部捜査第二課長
平成12年 警視庁刑事部捜査第二課長
平成13年 警視庁刑事部捜査第二課長
平成14年 警視庁刑事部捜査第二課長
平成15年 警視庁刑事部捜査第二課長
平成16年 警視庁刑事部捜査第二課長
平成17年 警視庁刑事部捜査第二課長
平成18年 警視庁刑事部捜査第二課長
平成19年 警視庁刑事部捜査第二課長

他方、山口組の中核組織は依然として極めて豊富な資金力を持っています。企業活動、証券市場、不動産取引などの経済活動への介入で相当の資金を得ており、ある意味「勝ち組負け組」が暴力団組織の中にも現れていると伺います。

1 反社会的勢力

暴力、威嚇、詐欺的手法を駆使して経済的利益を追求する反社会的勢力の中でも、警察は暴力団を一番重要を取り締まる対象と見ています。まさに暴力団だけが恒常的な暴力行使能力を有するからです。総会屋や社会連動標榜「日交」も、究極的には暴力団の暴力行使能力に依存して資金を獲得しており、当然その見返りにして資金の一部は暴力団へ流れていきます。反社会的勢力の中心に暴力団が現在存在している部分は変わりません。

2 最近の暴力団による銃器発砲事件、資金獲得活動の状況

最近の対立抗争事件や銃器発砲事件数は、昭和63年以降買収した右肩下りになつており、理由は不明ですが、暴力団対策法の施行あるいは改正、銃刀法の罰則強化の改正、取り締まりの強化などが、このところの彼らへの打撃は暴力団組織に対する船價請求訴訟です。平成16年の藤武訴訟最高裁判決は、未端の組織の行為について、その責任を認めた画期的な判決です。暴力団の表面上の動きは抑制されつつあるように見えますが、構成員と準構成員の合計は、なんと8万人前後と推定されています。巨大な組織と資金力を彼らは依然として有しています。

3 暴力団員による銃器使用凶悪事件

暴力団活動を抑制されては必要ならば暴力の行使に切替はされませんが、それが彼らの力の源泉です。昨年は統計を取り始めて以来対立抗争事件が初のゼロという記録でしたが、昨年は3件発生しており、凶暴性は全く変わっていません。先頭第一番で死刑判決が出た昨年4月の長崎市長射殺事件の暴力団は山口組です。山口組傘下に入つて資金獲得に有利な団体は結構あります。山口組の看板は資金獲得に有利ですが、他団体より遥かに高い上納金負担のため資金獲得に奔走しなければなりません。事件自体は組織的なものではないですが、彼らは事件のたすき恐怖感を脅しに使い、資金獲得に最大限利用するのです。

4 暴力団関係者による企業の悪行

暴力団の手先のような関係者が活動する「暴力団と共生する者」が、企業関係の事件で出てきます。昨年の警察発表で彼らの活動を紹介していますが、暴力団の動きが今まで以上に透明化し、活動が広がっています。昨年11月のNHKスペシャル「ヤクザサマー」では、証券市場への多額の暴力団の資金流入を紹介した部分がありましたが、元証券業者が出てきて、相手が暴力団だと知りつつその資金を運用して利益を得ている実態が明らかになっています。

5 反社会的勢力からの被害防止指針

昨年、企業が反社会的勢力による被害を防止するための指針を政府の犯罪対策閣僚会議の幹事会申し合わせとして策定しています。昨年実施した全国3千社対象の企業と反社会的勢力の関係を調査したアンケートでは、回答企業のすべてが反社会的勢力との関係遮断は必要との回答でしたが、実際に企業行動指針等に明記しているのは約6割で、4割は明記していません。脅しのアロの反社会的勢力には組織として対応する必要があります。この指針策定に至ったのです。

6 証券取引からの排除対策

最後に証券業界における取引から反社会的勢力排除の取組について紹介いたします。具体的には証券保安連絡会を作り、証券取引所、日証協、警察、金融庁からつくり組みを検討しています。今後対策として、二目的の「顧客からの排除」は反社会的勢力については証券会社の口座を作させないということです。次に二目的の「上場からの排除」は反社会的勢力との関係が疑われる企業は上場させない、既上場企業でも反社会的勢力と関係がある所には上場廃止も含めた厳しい措置を取ることが進められています。大阪証券取引所では、警告によって改善されない場合は上場廃止という手続きが改正で盛り込まれたところがあります。証券業者も反社会的勢力と関係を有する企業の上場廃止規定を既に持っています。東京証券取引所も今、検討をしていると伺っています。

5 反社会的勢力からの被害防止指針

この中で一番大変で一番効果的なものは「顧客からの排除」です。来年1月の株取引が中心で、証券会社から口座を持たない限り一切の株取引ができません。証券口座から反社会的勢力を排除できれば、彼らが証券市場に金を流すことが極めて困難になるわけです。来年9月を目途に不当要求情報管理機関の立ち上げと本格的な運用に向け、今年取り組んでいきます。

6 証券取引からの排除対策

具体的な企業の中で対応としては、従業員就業規則等に反社会的勢力への対応の在り方を規定することは非常に重要で、倫理の問題、常識判断の問題ではなく法的義務としてとらえ直していくことが必要です。

5 反社会的勢力からの被害防止指針

具体的には、二目的の「顧客からの排除」は反社会的勢力については証券会社の口座を作させないということです。次に二目的の「上場からの排除」は反社会的勢力との関係が疑われる企業は上場させない、既上場企業でも反社会的勢力と関係がある所には上場廃止も含めた厳しい措置を取ることが進められています。大阪証券取引所では、警告によって改善されない場合は上場廃止という手続きが改正で盛り込まれたところがあります。証券業者も反社会的勢力と関係を有する企業の上場廃止規定を既に持っています。東京証券取引所も今、検討をしていると伺っています。

5 反社会的勢力からの被害防止指針

具体的には、二目的の「顧客からの排除」は反社会的勢力については証券会社の口座を作させないということです。次に二目的の「上場からの排除」は反社会的勢力との関係が疑われる企業は上場させない、既上場企業でも反社会的勢力と関係がある所には上場廃止も含めた厳しい措置を取ることが進められています。大阪証券取引所では、警告によって改善されない場合は上場廃止という手続きが改正で盛り込まれたところがあります。証券業者も反社会的勢力と関係を有する企業の上場廃止規定を既に持っています。東京証券取引所も今、検討をしていると伺っています。

5 反社会的勢力からの被害防止指針

具体的には、二目的の「顧客からの排除」は反社会的勢力については証券会社の口座を作させないということです。次に二目的の「上場からの排除」は反社会的勢力との関係が疑われる企業は上場させない、既上場企業でも反社会的勢力と関係がある所には上場廃止も含めた厳しい措置を取ることが進められています。大阪証券取引所では、警告によって改善されない場合は上場廃止という手続きが改正で盛り込まれたところがあります。証券業者も反社会的勢力と関係を有する企業の上場廃止規定を既に持っています。東京証券取引所も今、検討をしていると伺っています。

5 反社会的勢力からの被害防止指針

具体的には、二目的の「顧客からの排除」は反社会的勢力については証券会社の口座を作させないということです。次に二目的の「上場からの排除」は反社会的勢力との関係が疑われる企業は上場させない、既上場企業でも反社会的勢力と関係がある所には上場廃止も含めた厳しい措置を取ることが進められています。大阪証券取引所では、警告によって改善されない場合は上場廃止という手続きが改正で盛り込まれたところがあります。証券業者も反社会的勢力と関係を有する企業の上場廃止規定を既に持っています。東京証券取引所も今、検討をしていると伺っています。

5 反社会的勢力からの被害防止指針

具体的には、二目的の「顧客からの排除」は反社会的勢力については証券会社の口座を作させないということです。次に二目的の「上場からの排除」は反社会的勢力との関係が疑われる企業は上場させない、既上場企業でも反社会的勢力と関係がある所には上場廃止も含めた厳しい措置を取ることが進められています。大阪証券取引所では、警告によって改善されない場合は上場廃止という手続きが改正で盛り込まれたところがあります。証券業者も反社会的勢力と関係を有する企業の上場廃止規定を既に持っています。東京証券取引所も今、検討をしていると伺っています。

5 反社会的勢力からの被害防止指針

具体的には、二目的の「顧客からの排除」は反社会的勢力については証券会社の口座を作させないということです。次に二目的の「上場からの排除」は反社会的勢力との関係が疑われる企業は上場させない、既上場企業でも反社会的勢力と関係がある所には上場廃止も含めた厳しい措置を取ることが進められています。大阪証券取引所では、警告によって改善されない場合は上場廃止という手続きが改正で盛り込まれたところがあります。証券業者も反社会的勢力と関係を有する企業の上場廃止規定を既に持っています。東京証券取引所も今、検討をしていると伺っています。

「反社会的勢力による企業被害を防止する為に」

くつたります。

の連携、取引を含めた一切の関係遮断、有事（不当要求発生時）における民事と刑事の法的対応、裏取引や資金提供の禁止（この五つの基本原則に基づく対応をぜひ取っていただくこと）。

鍛錬耐え抜く
精強機動隊

- 新日本製鐵(株)
- 日鐵住金建材(株)
- 日鐵商事(株)
- 五十鈴(株)
- 岡田運輸(株)
- 東鋼業(株)
- 岡部(株)
- 山陽特殊製鋼(株)
- 日鉄住金鋼板(株)
- (株)メタルワン
- 平和農産工業(株)
- 高島秀一郎(株)
- 富士興業(株)
- 橋本尚吾(株)
- 東海鋼材工業(株)
- 豊田通商(株)
- 丸定産業(株)
- 宮崎精鋼(株)
- 太陽シャーリング(株)
- (株)シーゲートコーポレーション
- 藤田金屬(株)
- 新潟ステイール(株)
- 自見産業(株)

CONTENTS

- P1 警視總監、北海道警察から感謝状授与!
警視總監交代 千葉県ふれあいフェスタ開催!
- P2 特集 成田国際空港警備隊 創設30周年を迎え記念式典開催
迫り来る災害の恐怖! 我々に出来る備えとは?
- P4 Member's Lounge
「ことばと人間関係」 生方 恵一氏

発行所 機動隊員等を励ます会
社団法人 東京都大田区庄六軒4-32-5
〒144-0066
発行人 小山 巖
TEL 03(3739)0590
TEL 年間1,200円
購読料 (但し会費の中には購読料を含む)

はげまし

Sep.2008 No.404

For the Riot Policemen
& Members

励ます会へ

警視總監、北海道警察から 感謝状授与!



警視庁 奥野警備第一機動隊員を励ます会を代表して賞状を受け取る小山理事長



感謝状とメダル

当会のサミット警備支援に 対して感謝状

当会は、7月7日から開催された北海道洞爺湖サミット首脳会議の警備にあたる21,000名の警察官に対して、激励と感謝の気持ちを込めて500万円相当の支援物資(ゼリータイプの補助食品)を贈呈した。これに対して先日矢代警視總監殿および高橋北海道警察本部長殿より写真のとおり感謝状を頂戴した。

今回のサミット警備は、世界が注視する中でテロや反グローバルリズム等に対する多方面かつ長期にわたる難しい警備であったが、見事にその使命を果たし我が国警察の真価を示した。我々国民も大いに誇りに思うものであり、当会としても支援を通じて微力ながらそのお役にたてたことはまことに喜ばしい限りである。

この支援は会として当然のことであるが、このような感謝状まで頂戴し恐縮している。この紙面を借りて全国の会員の皆様にご報告するとともに、警視總監と北海道本部長をはじめ警察関係の方々に深くお礼申し上げる次第である。

警視總監交代

8月7日付けで矢代警視總監の勇退に伴う人事異動が発令され、第87代警視總監には、警察庁官房長を勤められていた米村敏明(よねむらとしろう)氏が就任した。

米村氏は74年に警察庁入庁、警視庁副総監、警察庁警備局長等を歴任し、拉致問題の捜査指揮官等を担当された。

また、勇退した矢代前警視總監は、73年に警察庁入庁、07年に警視總監に就任され、在任中は、本年6月に発生した秋葉原殺傷事件の捜査指揮にあたることも7月に開催された北海道洞爺湖サミットでは、首都東京の治安維持のため、国際テロ対策を含む各種の警備を推進された。

千葉県 ふれあいフェスタ開催!

千葉県警では「警察ふれあいフェスタ2008」を去る8月16日、17日の2日間、千葉駅前さこう千葉店で開催した。このフェスタは、県民などの安全を守るために活躍している機動隊員を含む警察官の方々とのおふれあい、体験を楽しみながら学んで行く催しであり、今年も当会の活動を紹介するコーナーも設けられた。

会場では、人気のパトカー、白バイなどにカメラを持った親子の長蛇の列、指紋採取鑑識体験、警察犬訓練などのコーナーでは、子供たちの驚きの声も上がっていた。

子供たちは「大きくなったら警察官になりたい」と目を輝かせるなどフェスタは大盛況で、2日間で4万人近い親子が、私たちの生活の安全を守るために大事な仕事をしている警察官や機動隊員への信頼と理解を深め、また当会の活動等を紹介するパンフレットがすぐに品切れになるなど当会の活動も多くの方々を知っていただいた意義深い2日間となった。



夏休みということもあり、非常に多くの方が入場された



当会の活動を展示紹介

成田国際空港
開港
30周年!!

完璧な警備でわが国の社会の安全、発展に絶大な貢献 成田国際空港警備隊 創設30周年を迎え記念式典開催

特集



30周年を迎えより一層凛々しさを増した

崇高な任務完遂への国民からの信頼に応え、更に輝かしい歴史を築く決意漲る

昭和53年成田空港開港直後に創設された成田国際空港警備隊は、当初の過激な反対闘争から現在の国際テロの脅威まで、歴代隊員のまさに血の滲む献身的な活躍により我が国社会の安全、発展の要を守り続け今日を迎えることができました。また世界が目撃する中で開催されたささの洞爺湖サミット空港警備を見事に完遂し、世界に真価を示しましたが更に厳しくなる警備情勢の中で、国民の信頼と期待に応え、先輩の残した栄光と歴史に、さらに輝かしい歴史を積み重ねるべく、隊長以下決意をあらたに崇高な重責完遂のため、今日も懸命の警備が続けられています。

30周年を迎えて今、 新たに隊員への期待

去る7月29日、千葉県成田市三里塚の成田国際空港警備隊隊庭において、千葉県警察成田国際空港警備隊の創設30周年記念式典が挙行され、千葉県警察東川本部長による查問が行われた。当会からは、小山理事長、菅千葉支部長が参加された。

夏の日差しが降り注ぐ酷暑の中、千葉県警察音楽隊の演奏にあわせ湯浅副長を先頭に、暑さをもとせず、歴代隊員が築いてきた栄光の歴史、世界が目撃した洞爺湖サミットにかかわる空港警備の完遂などの誇りを胸に、第一空港機動隊から第六空港機動隊そして特殊部隊の隊員約600名に警備犬も加わり威風堂々の行進が行われた。

まず、東川本部長から「空港警備隊の歴史と伝統を築き上げてこられた全国警友の方々に感謝と敬意を表する。空港警備隊は、全国警察からの精鋭を得て、異例の空港警備専門部隊として編成され、今日に至るまでの歩みは決して平坦ではなかったが、空港機能に影響を及ぼすような事象を見ずに今日を迎えることができたことに改めて感謝を申し上げる。また、全国警察をあげて取り組んだ北海道洞爺湖サミットも無事に終了したが、我が国、とりわけ成田国際空港が国際テロの脅威や危険に晒され続けていることに何ら変わりはない。空港警備専門部隊であることの重要性を深く認識して、いかなる事態にも迅速的確に対処できる精強無比な部隊であり続けるための努力を惜しまずに精進して欲しい。」と述べられた。

続いて来賓として安藤警察庁次長からは、「成田国際空港は、名実ともに我が国の玄関であり、空港の重要性はますます高まり、他方で空港を取り巻く警備情勢は、依然として厳しい状況である。今後とも、誇りと使命感を持って職務に邁進し、国民の期待に応えていただきたい。」と警察庁長官の激励の祝辞が披露された。成田国際空港警備隊創設30周年記念式典は、先輩の残した栄光と伝統の歴史に、後に続く隊長以下隊員が更に輝かしい歴史を築くという強い思いを漲らせる中で、意義深い式典は終了した。

空港警備隊と成田国際闘争の変遷 30周年を迎えた今だからこそ、改めて今一度空港警備隊と成田闘争の変遷を振り返ってみましょう。

昭和41年7月	成田空港建設閣議決定	昭和42年8月	三里塚・芝山連合空港反対同盟結成	昭和46年9月	第一次代執行	昭和47年10月	空港境界杭基準抗打ち	昭和53年3月	東峰十字路事件(警察官3名殉職)	昭和55年2月	1500名体制となる	昭和57年3月	卒配者全員配置制度開始	昭和60年7月	北原グループ(検挙29人)	昭和62年10月	発足10周年記念式典	平成元年4月	戦旗派現地拠点(東峰団結会館)	平成2年8月	中核派現地拠点(三里塚闘争会館)	平成3年11月	戦旗派現地拠点(横堀団結会館)	平成5年5月	第一回成田空港問題シンポジウム開催	平成7年1月	「成田空港問題シンポジウム」終結	平成10年7月	「第一回成田空港地域共生委員会」開催	平成14年4月	暫定平行滑走路供用開始	平成15年7月	空港警備隊創設二五周年記念式典	平成16年4月	新東京国際空港(公)が民営化	平成18年2月	成田国際空港株式会社(NIA)へ	平成20年5月	成田国際空港開港三十周年	平成20年7月	空港警備隊創設三十周年
---------	------------	---------	------------------	---------	--------	----------	------------	---------	------------------	---------	------------	---------	-------------	---------	---------------	----------	------------	--------	-----------------	--------	------------------	---------	-----------------	--------	-------------------	--------	------------------	---------	--------------------	---------	-------------	---------	-----------------	---------	----------------	---------	------------------	---------	--------------	---------	-------------

空の玄関を守り続ける六つの部隊

昭和53年3月の開港間近に発生した管制塔乱入事件を契機に、空港内外の空港警備の万全を期するため、空港警備の専門部隊として、同年7月18日「新東京国際空港警備隊」の名称で587名体制で発足しました。

平成16年4月1日「成田国際空港」と空港が名称変更したことに伴い、「成田国際空港警備隊」と名称を変更し、現在は千葉県警察と全国46都道府県警察及び皇宮警察の全国警察からの精鋭を得て、1500名体制となっています。

部隊編成は人事、装備、会計等を担当する「総務室」、部隊運用、作戦指揮、各種対策を担当する「警備室」及び第一空港機動隊から第六空港機動隊までの部隊があり、「不屈の一空機」「団結の二空機」「常勝三空機」「疾風の四空機」「精鋭の五空機」「情熱の六空機」のニックネームを持ち、それぞれの部隊が切磋琢磨して任務の完遂に万全を期しています。

隊員は成田国際空港を守るため、日々厳しい警備訓練を行っており、その訓練内容は全国機動隊の警備実施の礎となっています。

発足当初は「成田国際空港及びその機能に関連する諸施設を防護し、極左暴力集団等により行われる空港等の安全と秩序を阻害する行為の防止、制圧及び検挙に当たる。」ことを任務とし、警戒にあたっていましたが、平成13年9月11日の米国同時多発テロ事件発生以降我が国においても国際テロの脅威が高まって来たことや、サミット等国際会議開催時においては、各国閣僚等が利用する日本の空の玄関を守る同隊の国際テロ対策に対する役割も大きくなってきています。

本年は北海道洞爺湖サミット警備を完遂し、空港警備隊発足30周年という節目の年を迎えましたが、現在も暫定平行滑走路の北延伸工事に伴う警戒警備に従事するなど、平成22年の供用開始に向け、予断の許されない厳しい警備を続けています。



投石する過激派



成田用水着工阻止闘争

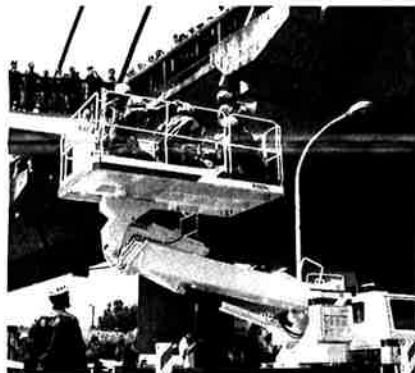
30周年を迎え、改めて振り返ることで成田国際空港の歴史と共に機動隊員の皆様が歩んできたということがよく分かります。歴代の先輩から受け継がれている思いこそ、機動隊員の皆さまの頑張りの支えになっているようです。

迫り来る災害の恐怖! 我々出来る備えとは?

9月1日防災の日 東京都合同総合防災訓練実施



警察犬も大活躍



どんな状況にも対応した救助



空からの負傷者収容



広域緊急援助隊による救出救助

忘れてはならない 災害への 恐怖と備え

「防災の日」の9月1日に伴い、全国各地で防災訓練が行なわれた。

東京都では、8月31日中央区・江東区における合同総合防災訓練が晴海ふ頭・木場公園・銀座駅周辺等5つの会場を中心として実施された。当日は連日の大雨も上がり、強い日差しの中にも関わらず住民合わせて1万5千人が参加した。

今年のテーマは「即応力と連携」。訓練は震度6強の首都直下型地震を想定して行なわれた。

訓練会場の一つ、木場公園での訓練は、倒壊家屋からの救出救助、ヘリコプターによる負傷者の収容が本番さながらの大迫力で行なわれた。

銀座会場では警視庁の騎馬隊と自衛隊の装甲車が登場した。次々と訓練が行なわれる中、警視庁・東京消防庁・自衛隊の息の合った素早い連携はまさしく「即応」そのものであり、参加していた都民からも拍手が沸きあがった。

今年の5月には中国四川省において地震が発生し、また6月には岩手・宮城内陸地震が発生した。集中豪雨による被害も多く今年は何年になく災害に対する意識が高まってきている。

我々一人ひとりがいつのような時でも災害に対する意識を高め日頃から備えておく必要がある。

四川大地震 現場の声

様々な災害現場における救助活動に立ち向かって行く機動隊員の皆さまはどの様な思いで臨んでいるのでしょうか!



警視庁
特科車両隊
奥西 俊郎

今年の5月に中国四川省においてマグニチュード8といった大地震が、6月にはマグニチュード7.2の岩手・宮城内陸地震が、国内・国外を立て続けに襲い掛かりました。

今回は、国際緊急援助隊のメンバーとして中国四川省で救助活動を行い、そして広域緊急援助隊特別救助班として岩手・宮城内陸地震の現場でも救助活動を行なった警視庁特科車両隊奥西俊郎さんに被災地の凄まじい被害の様子と救助活動についてインタビューしました。

今回、中国四川大地震が発生し、救助活動へ行かれたわけですが、苦勞したことは?

まず生活環境が全く違うことですね。トイレについても日本とは全く違うし、まともに食事を取ることもできなく、お菓子をよく食べています。

最初は、その環境に慣れるのか心配でしたが、いざ現場に入るとスイッチが入り、眠れない日々が二週間ほど続いても「やるぞー」という意識に不思議と変わっていくのが自分でも分かりました。

環境面で辛かったこともありましたが、それ以上に精神的に辛いことが多かったですね。救助現場の中学校では多くの子供たちの遺体で見ると堪えない凄まじい状況でした。私も子供がいるので、非常に痛ましかったです。

常に危険と隣合わせである機動隊の任務ですが、辛いことがあってもこの仕事を続けていくのは何故?



救助活動の様子(宮城県)

中国においても岩手・宮城内陸地震の被災地においても生存者を助けることができなかつたことは非常に悔しい。ただ、親元や家族の元へ送り届けられたことに関しては誇りを持ちたいです。

既に亡くなってしまいましたが、母子を救出した際、その旦那さんがカゴで「ありがとう」と言ってくれました。これには、同じ子を持つ親として何とも言えない気持ちになりました。

そうですね。国際緊急援助隊は、警察庁のほか消防庁、海上保安庁、JICA(国際協力機構)の要員で構成され、派遣されました。最初は初めて会った者同士、ぎこちなくなつたものの、何となくでも救助するという同じ目標、同じ思いに向けて活動することによって、良いチームワークが発揮されたと思います。

今回の救助では、国際緊急援助隊としてのチームワークを存分に発揮され、中国政府からも感謝の意を表されましたが:

警察官としての誇りと使命を持っているからです。救助現場を自分たちの手で何とかしたい、家族に生きた状態で送り届けたいという思いも思っているからです。現場の中に入ってしまうと恐怖感はなくなくありますが、「救助する」という目標に向けて無我夢中になっているので。

しかし、現実:救助現場の中学校で瓦礫の下に光のないところをライトで照らしてみると、手足だけが見えていた。もう既に亡くなつてしまつてはいるけれど、何とか救出してあげたいと心からそう思いました。

災害に対して自分達は何が出来るのか?何時、迫り来るか分からない脅威に対し日頃からの備えが重要となるでしょう。警察官の誇りと自信のもと、強い使命感を持って活動している隊員の皆さまに感謝し、我々の出来ることから取り組んでいきたいです。また、今回災害に遭われた皆さまには、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

CONTENTS

- P1 第28回 新潟全国豊かな海づくり大会 警衛警備完遂!
- P2 特集 命と治安を守るため 水中の脅威に立ち向かう 潜水訓練実施!
- P4 Member's Lounge 「地震時の地盤災害」安田 進氏

発行所 社団法人 機動隊員等を励ます会
 〒144-0055 東京都大田区仲六郎4-32-5
 発行人 小山 徹
 TEL 03(3739)0590
 購読料 年間1,200円
 (但し会員の中には購読料を含む)

Oct.2008 No.405
はげまし

For the Riot Policemen & Members

第28回 新潟全国豊かな海づくり大会 警衛警備完遂!



実践的訓練の繰り返したことで
 成し遂げられた警衛警備

新潟県警察

新潟県警察

天皇皇后両陛下は、平成20年9月6日から9日までの4日間、第28回全国豊かな海づくり大会御臨席並びに平成16年新潟県中越地震災害復興状況及び地方事情御視察のため、新潟県へ行幸啓になりました。

新潟県への行幸啓は、平成16年の新潟県中越地震及び平成19年の新潟県中越沖地震に伴う被災地お見舞いに続くものでしたが、公式行事への御臨席は、昭和47年の第23回全国植樹祭以来36年振りでありました。

新潟県警察では、御身辺の絶対安全の確保、歓迎送迎者の雑踏等による事故防止、適切な交通対策と自動車お列の安全走行及び皇室と県民との親和を妨げないことを基本方針に、警察本部長以下組織の総力を挙げて警備諸対策に取り組みました。

特に3日目の9月8日には、新潟県中越地震復興状況御視察のため新潟市から長岡市山古志地区までの長距離を御移動されるなど、多くの御視察先、長い御順路での歓迎者との触れ合い、交通量の多い中での警衛警備となり、これまで経験した警衛警備とは注目を始め規模、実施方法等が全く違い、格段に難しく緻密な警衛警備を求められました。

警備諸対策の実施に当たっては、綿密な実地踏査、実践的訓練を繰り返して実施することにより、全ての警備員が自信を持って警備に臨めるよう取り組んだ結果、自然で合理的な警衛警備を実施することが出来ました。

今回の警衛警備においては、本県の機動隊、管区機動隊のほか、警視庁機動隊をはじめ関東管区機動隊、中部管区機動隊から特別派遣を受け、沿道等の任務を完遂しました。新潟県では、平成21年9月に第64回国民

体育大会が開催されることから、今回の警衛警備で培った経験を生かし、次の警衛警備においても万全を尽くすべく決意を新たにしました。



当時の救助活動の様子

新潟県中越地震から4年...

平成16年に発生した新潟県中越地震から4年が経過しました。機動隊員の皆さまは度重なる災害に見舞われながらも見事に大警備であるサミット警備や今回の警衛警備を実施、完遂されました。そこには地震によって受けた影響により他県とは異なった任務や思いがあったのではないのでしょうか。

それら乗り越えてきた機動隊員の皆さまのご活躍があったことに4年経過した今、改めて敬意を表し、当会としても、二層支援を行なっていきたいと思えます。

任務の完遂

光れ機動隊

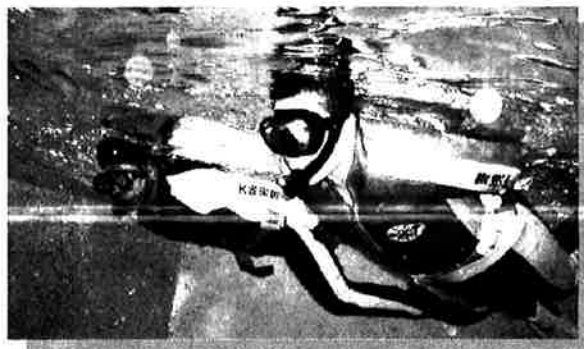
- 新日本製鐵(株)
- 日鐵住金建材(株)
- 日鐵商事(株)
- 五十鈴(株)
- 岡田運輸(株)
- (株)エース電研
- 草野産業(株)
- (株)三榮商會
- スカイコート(株)
- 日鐵住金鋼板(株)
- (株)エイヴイ
- 平和農産工業(株)
- 浅田隆司(株)
- 谷本鉄鋼(株)
- 新関西製鐵(株)
- 富士興業(株)
- 明鋼材(株)
- 日鐵物流(株)
- 丸定産業(株)
- 太陽シャーリング(株)
- 藤田金屬(株)
- 三星金屬工業(株)
- 自見産業(株)
- 豊鋼材工業(株)
- (株)機動隊員等を励ます会
- 北海道支部

命と治安を守るため水中の脅威に立ち向かう 潜水訓練実施!

特集

温暖化による影響で今年の夏場はゲリラ豪雨が目立ち、雨による被害や水害が多発しました。川の増水や下水の増水等といった被害を受け、我々は水害に対する意識をより強く持ち備えていく必要があります。そのような水害が起こる中、機動隊員による潜水訓練が実施されました。命の現場に関わっている隊員の皆さまは、本番さながらの訓練を行っています。

機動隊員の皆さまは一体どのような思いを持ち、訓練に臨まれたのでしょうか?



水中に潜む脅威に対し、訓練とはいえ常に危険と隣合わせ



一瞬でも、気を抜くことは許されない



自らの危険も伴う中、いざ水中へ!



水中でのチームワークが求められる



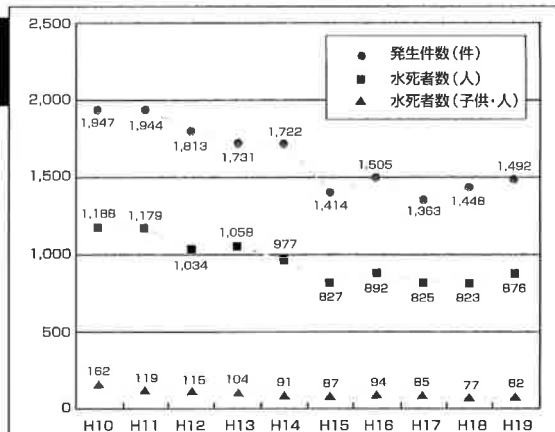
実際の状況を想定した訓練に緊張が漂う

水難事故の現状を知る

平成10年度から比べてみると、10年近くで水難事故件数は、減少の傾向にあるものの毎年多くの方が命を落とされています。

自分たちで事故を未然に防いでいくには以下の点に留意すること、そして日頃からの危険に対する心掛けが何よりも重要です。

- 危険箇所の把握
- ライフジャケット等の着用
- 状況の的確な判断
- 保護者等監護者の付き添い
- 子供に対する水難事故防止のための指導



(出所:警察庁HP)

1

研修の学びを今後の任務に

私は現在、愛知県機動隊の潜水部隊に所属しており、この度神奈川県にある海洋研究開発機構へ入校しました。ここでは潜水活動に関する安全性、特殊技術等の知識を学ぶと共に、様々な設備が整ったプールでの潜水技術訓練及び捜索現場を想定した海での実践的応用訓練を行いました。この二週間の研修では普段体験できない数多くの事を習得することができましたが、その中でも特に私が改めて潜水活動を行う上で重要だと思ったことがあります。

それは、潜水活動では十分な知識に裏付けられた安全性を確保しなければならぬということ。水難救助や証拠品捜索等の潜水活動は、呼吸が出来ない水中で限られたタンクの空気を吸い、潜れば潜るほど高くなる水圧を受けながら行う特殊な活動であり、当然専門的知識が必要です。

また実際に私たちが出勤する現場は、前記の特殊条件に加え、極めて劣悪な環境条件を伴っており、そのような環境下で目的を達成するためには、高い安全知識が要求され中途半端な知識では事故に繋がってしまいます。

今回の研修では、各種潜水活動時における具体的な事故の事例を題材にした安全管理の講義を受けて、自分自身のこれまでの知識の未熟さに気づかされ、潜水技術だけでなく高度な知識に基づいた安全を確保することが第一であるということを確認しました。

過去には全国における機動隊潜水部隊の活動の中で、残念ながら潜水死亡事故が発生していますが、平成12年以降はこの種事故は起きていないとのこと。今後は、自分達がこのまま無事故を継続していき、絶対に同僚を亡くすような事案を出さないために、この研修で学んだ知識、技術等を我が潜水部隊に生かしていきたいと思えます。

愛知県警察



愛知県警察機動隊 竹林 風人

2

潜水士を目指して

私は、平成20年8月11日から22日までの間、神奈川県横須賀市の海洋研究開発機構で行われた潜水技術訓練に参加しました。

本訓練の目的は、水難事故等における人命救助をはじめ、証拠品等の捜索、回収に必要な知識と技術を習得することであり、入隊2年目で潜水歴も浅く、ましてや現場で潜水活動をしたことのない私にとっては、とても有意義な訓練となりました。

訓練期間の一週目は、座学教養とプールにおける基礎訓練が半日ずつ行われました。基礎訓練ではスノーケリング、スクーバ潜水など様々な訓練を行いました。この中で重点的に行われたのが潜水技術の基本であるフィンキックを習得するための訓練でした。潜水業務中の事故を未然に防止するためには、ダイバーとしての泳力を養うことが重要なことだと感じてはいましたが、重りを持ったまま長時間立ち泳ぎを行う訓練などは、未熟な私にとって苦しいものとなりました。

二週目は施設に面した東京湾で応用訓練が実施され、各種捜索法を中心に行い、証拠品回収訓練では初めて目にする器材を使用するなどして、潜水業務を安全かつ効率よく行うことの大切さを学ぶことができました。

しかし、潜水業務がもつ危険性に併せて、私たち機動隊が出勤する現場では、視界の悪さや潮流などにより常に安全な状況で活動ができるとは限りません。今回の訓練中においても、10センチ先も見えない状況で活動しなければならぬときがあり、間違えば遭難する可能性があることを実感しました。

訓練終了後、水難現場でダイバーとして潜る機会がありました。訓練とは異なり現場で活動することの難しさを改めて感じました。

今後は、横須賀で学んだことをもとに様々な現場に対応できる潜水士を目指してより一層努力する覚悟です。

愛媛県警察



愛媛県警察機動隊 光田 琢郎

3

潜水技術訓練に指導員として参加して

本年8月11日から22日までの約2週間、神奈川県横須賀市にある海洋研究開発機構において実施された、平成20年度潜水技術訓練に指導員として参加しました。

全国各地から集結した機動隊若手潜水士らと寝食をともにし、彼らの潜水技術の指導を行うとともに、潜水訓練・潜水現場における安全管理のノウハウを学ぶことが当研修の目的でした。

隊員の指導をするには、まず、自分の潜水技術の限界を知らなければならぬということ。今までに経験したことのない負荷をかけての訓練を行いました。具体的には、16キログラムのおもりを持って泳いだりしたので、私が府警で行われる訓練の約2倍の負荷をかけての訓練です。他にも厳しいメニューが続く、溺れかけながらの訓練に改めて痛感したことは、潜水は陸上と異なり、トラブル発生、即、死につながる厳しい作業である、ということでした。

実際に機動隊での事故の多くは潜水訓練中、または、潜水現場での事故であり、幸いにして京都府警察ではまだありませんが、過去には他府県警察で殉職事故も発生しています。

今回の研修を通じて、潜水技術向上の必要性と、潜水の危険性を改めて勉強しました。

我々の現場は、水の透明度が悪く、流れもあるところで、また、マスコミや衆人環視の中で行われる作業もあり、大変ストレスを感じます。そういった環境でいかにして事故なく任務を完遂するか、自分の部隊から殉職者を出さないために妥協を許さない厳しい訓練がいかに大切かを考え、京都府警察潜水部隊を指導する者として、今回の研修で学んだことを訓練を通して

確実に後輩に引継ぎ、京都府警察潜水部隊全体の能力向上のため、日々研鑽を重ねる所存であります。

京都府警察



京都府警察機動隊 山本 隆之

機動隊員の皆さまがこのように潜水訓練を行い、現場でご活躍されることで被害を食い止めること・事故を未然に防ぐことができているのではないのでしょうか。この水害等の脅威から我々の治安を守るための訓練や任務に対する思いを知り、我々自身も日常の中や、会として活動していくことによって、より一層機動隊・日本の治安に対する貢献に繋がっていくのではないのでしょうか。

Member's Lounge

講演会録

地震災害と言えば火災や倒壊ばかりを連想しがちですが、地震時には普段私たちの生活を支えている地盤による被害はいつ襲いかかってくるかわかりません。

今回は東京電機大学で教授を勤められている安田氏に、脅威となる地盤災害の实情から様々な災害の現場についてお話をしました。

<9月のゲスト>

安田 すすむ 氏

東京電機大学 理工学部
建設環境工学科教授



「地震時の地盤災害」

プロフィール

昭和23年生

学歴

昭和41年 3月 広島大学教育学部附属高等学校卒業
昭和45年 3月 九州工業大学開発土木工学科卒業
昭和50年 3月 東京大学大学院工学系研究科博士課程
土木工学専攻修了

職歴

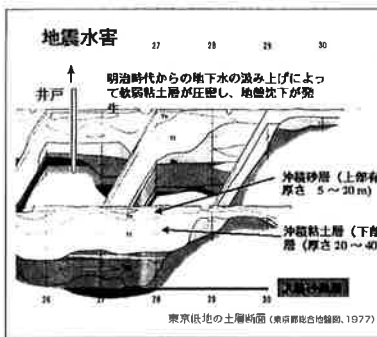
昭和50年 4月 基礎地盤コンサルタント(株)
昭和61年 10月 九州工業大学工学部助教授
平成 6年 4月 東京電機大学理工学部教授

学会活動

平成17年度～18年度 日本地盤工学会副会長
平成18年度～19年度 地盤工学会副会長

1 地盤災害とは

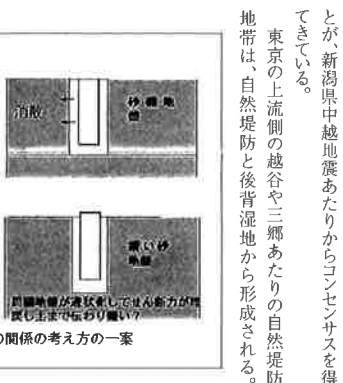
今、首都圏での地震による被害想定がいろいろとされているが、その中に地盤災害があまり含まれていない。地盤災害にはどのようなものがあるのか。まず地震によって起きる地盤災害には液状化、自然斜面の崩壊、造成盛土斜面の崩壊、海岸流出、海岸沈降、断層などがある。また雨による被害では斜面崩壊や土石流の被害、火山活動に伴うものでは泥流や火砕流がある。そして建設等に伴う被害としては、地盤の沈下、陥没、隆起や構造物の沈下というものがある。昭和30年代からは造成宅地盛土地が全国に作られ始め、埋立地もあちこちでできるなど人工地盤がたくさん作られてきたが、そのまま土を盛っただけの地盤は弱い。建物のほうは耐震設計は進み、強くなってきたので、相対的に地盤の耐力は上ってきたので、相対的に地盤の被害が目立つようになってきたのである。ほかにも地盤災害にはまだ原因が明らかでないものがあり、地震の際に新しい災害が起きている。



2 地盤水害

東京の低地の地層は、地表から10メートルぐらいたまの砂層があり、その下に軟らかい粘土層、さらにその下に砂礫層がある。明治時代からの地下水の汲み上げによって軟弱粘土層が圧密し、地盤沈下が発生している。この地帯では川が氾濫した際に近い所の自然堤防には砂が堆積するが、遠い所の後背湿地には粘土が流れていくので軟弱な粘土地盤になっている。そこに宅地化が進み、下水道も多くできていくので、地帯の想定図には自然堤防のほうは示されていないが、

下には砂礫層がある。明治時代から地下水を汲み上げて工業用水に使っていた東京や大阪、濃尾平野では、軟弱粘土層が圧密で圧縮され地盤沈下を起こしてきた。東京における観測データでは、大正の初め頃から最大で4.5メートル地盤が沈下している。1964年に地下水の汲み上げを規制してからは沈下は止まり、水圧が戻ってきたので、今は逆に東京駅や野暮田の地下ホームが沈下している。1964年に地下水の汲み上げを規制してからは沈下は止まり、水圧が戻ってきたので、今は逆に東京駅や野暮田の地下ホームが沈下している。1964年に地下水の汲み上げを規制してからは沈下は止まり、水圧が戻ってきたので、今は逆に東京駅や野暮田の地下ホームが沈下している。

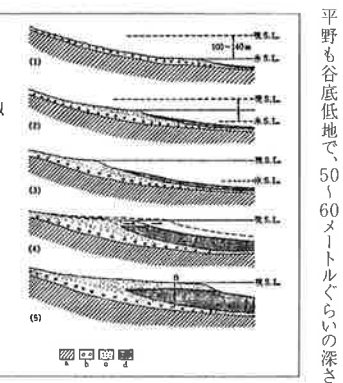


3 軟弱粘土地盤での埋戻し土の液状化による被害

1993年の釧路沖地震以降、地震のたびにマンホールが浮き上がる被害が最近起きており、1メートル以上もマンホールや下水道管が浮き上がったりしている。管やマンホールの周りを砂で埋め戻すと、地下水が浅い所だと埋戻した砂が液状化して浮き上がる。しかしこれでも地震の度に必ず浮き上がりが起きるわけでもない。その周りが砂地盤よりは軟らかい粘土地盤の所で浮き上がりが目立っている。その原因はまだはっきりしないが、①砂が液状化するときに周りの粘土地盤が非排水状態のため発生した過剰間隙水圧が逃げられず、②軟弱地盤だと掘れが大きいので埋戻した砂が液状化しやすい、③粘土地盤だと施工しにくいのでうまく締め固められないのではないか、というところを考えると、いずれにしても掘りかき、砂地盤よりも粘土地盤で、この被害が起これば、新潟県中越地震あたりからコンセンサスを得てきている。

中川沿いの液状化が多かった。この自然堤防では砂がたまっているので液状化しやすく、堤防はかなり変形すると予測される。このようにゼロメートル地帯に川の水が流れ込み、津波がなくても町に水が押し寄せると地盤水害が発生する危険性がある。現在でも中川や後瀬川沿いなどに未対策の地区があり、そこから水が入ってくるのが心配される。

この地帯では川が氾濫した際に近い所の自然堤防には砂が堆積するが、遠い所の後背湿地には粘土が流れていくので軟弱な粘土地盤になっている。そこに宅地化が進み、下水道も多くできていくので、地帯の想定図には自然堤防のほうは示されていないが、



4 谷底低地における局所的に大きな揺れによる被害

首都圏の台地には谷底低地と呼ばれる樹枝状の小さな谷が入り込んでいます。関東大震災のときに水道管の被害を受けた箇所、家屋の被害を受けた箇所をプロットしてみると、こういう谷底低地の所に多く分布していることがわかります。また、新潟県中越地震で被害が多く発生した柏崎平野も谷底低地で、50～60メートルぐらいたまの深さ

後背湿地は液状化しないということになっているところが、そういう場所でも埋戻し土が液状化し、マンホールや下水道管の浮き上がりの被害が起きやすい。首都圏では既設のマンホールや下水道管への対策は容易ではなく早く対策工法の開発を進めることが望まれる。

東京では約2年前の冬期に海面が1.40メートル程下がったときに、台地を削って谷が形成された。その後海面が上がってきた。その過程で台地を削った谷の所に粘土や腐植土が堆積したため、谷底低地には軟らかい泥炭や腐植土が堆積している。例えば赤坂や溜池あたりは軟らかい粘土が堆積

したがって1962年より以前に造成された宅地というのは、地震時の安定性に関してはほとんど考慮されていない。これ以降でも古いものほど地震時の安定性に関して考慮は少なく、規模が小さい宅地も耐震性ではさらに考慮されていない。2006年に宅造法の改正が行われ、都道府県知事は災害危険が及ぶ所に対して、造成宅地防災区域として指定しそれに必要な措置を講ずることを勧告できることになった。対策費用も住民と自治体で負担することになった。

したがって1962年より以前に造成された宅地というのは、地震時の安定性に関してはほとんど考慮されていない。これ以降でも古いものほど地震時の安定性に関して考慮は少なく、規模が小さい宅地も耐震性ではさらに考慮されていない。2006年に宅造法の改正が行われ、都道府県知事は災害危険が及ぶ所に対して、造成宅地防災区域として指定しそれに必要な措置を講ずることを勧告できることになった。対策費用も住民と自治体で負担することになった。

6 既設造成盛土宅地の被害

1968年の十勝沖地震で札幌の造成地が液状化して被害を受けた。1978年の宮城沖地震や1993年釧路沖地震でも造成地が崩れて大きな被害を起こした。関東でも1987年の千葉県東方沖地震で造成地が被害を受けた。最近の例では阪神淡路大震災、新潟県中越地震、新潟県中越沖地震で被害が突出している。

CONTENTS

- P1 大分国民体育大会 全国障害者スポーツ大会警衛警備完遂!
- P2 Member's Lounge
「現下の鉄鋼情勢」今久保 哲大氏
- P4 成田国際空港開港から30年経ち…
～完全空港化に向けた更なる安全の確保～
全国殉職警察職員警察協力殉難者慰霊祭挙行

発行所 社団法人 機動隊員等を励ます会
〒144-0055 東京都大田区仲六郎4-32-5
発行人 小山 肇
TEL 03(3739)0590
購読料 年間1,200円
(但し会員の中には購読料を含む)

Nov.2008 No.406

はげまし

For the Riot Policemen & Members

大分国民体育大会 全国障害者スポーツ大会 警衛警備完遂!



沿道に集まった多くの観衆



開会式会場を警戒中の会場警備隊



会場入場口で警戒する会場警備隊

繰り返した訓練は「自信」に

大分県警察

天皇皇后両陛下には、平成20年9月26日から28日までの間、「チャレンジ!おおいだ国体」開会式御臨場等のため大分県大分市、別府市、国東市、日出町及び玖珠町を行幸啓されました。また、10月10日から12日までの間、皇太子殿下の臨席を賜り第8回全国障害者スポーツ大会が開催されました。

大分県警察では、国体等警備実施を本年の最重要課題と位置づけ、「御対象の御身辺の絶対安全確保」、「歓送迎者による雑踏事故等の未然防止」及び「適切な交通対策」を基本方針に定め、警察本部長以下、組織の総力を結集して警備諸対策に取り組みました。今回の警備では、国体開会式に約4万人を超える参加者が集まるほか、国体開催に反対する団体等からの妨害行動も予想されたことから、行事の安全かつ円滑な進行を図りつつ、不法事案を未然に防止するという極めて困難な諸対策が要求されました。

こうした厳しい警備環境下での警備諸対策に当たっては、主催者である大分県及び日本体育協会等の理解と協力を得ながら、実地踏査、事前検討会及び現場での合同訓練を繰り返し繰り返し実施し、相互の連携と役割分担を確認するとともに、全ての警備員が自信を持って警備本番に臨めるように取り組みました。

その結果、開会式会場はもちろんのこと、御視察先や競技御覧会場においても、何等不法行為やトラブル等の発生もなく、県民からの暖かい歓送迎の中、内面周到外面スマートな警備警備により本警備を完遂することができました。

なお、本警備警備においては、警視庁をはじめ多くの都県警察機動隊からの特別派遣を受けたほか、本県警察機動隊及び管区機動隊は、警備実施隊の中心として活動し、無事その任務を完遂しました。

今後の警備警備では、今回の「チャレンジ!おおいだ国体」で培った経験と自信を活かして、警備警備に当たる決意であります。

誇りと使命感 充実の機動隊

- 新日本製鐵(株)
- 日鐵住金建材(株)
- 日鐵商事(株)
- 五十鈴(株)
- 岡田運輸(株)
- 東鋼業(株)
- (株)エース電研
- (株)エヌテック
- 山陽特殊製鋼(株)
- 日鉄住金鋼板(株)
- 大東港運(株)
- 平和農産工業(株)
- 富士興業(株)
- 橋本尚吾(株)
- 岡谷鋼機(株)
- 豊田通商(株)
- 宮崎精鋼(株)
- 堀口海運(株)
- (株)シーゲートコーポレーション
- 藤田金屬(株)
- (株)辻さく
- 東北支部

Member's Lounge

講演会録

昨年来の世界経済の激動は、今年後半に至って金融破綻から100年に一度の大波乱といわれるほどの様相を呈して来ており、我が国をはじめ世界各国が協力して危機の克服に躍起となっております。このような状況の中で日本製造業の中核を担う鉄鋼業界として今回の危機をどう捉えどのように対処すべきかについて、去る10月9日の当会の朝食会で新日本製鐵(株)代表取締役副社長の今久保哲大氏にご講演いただきました。

「現下の鉄鋼情勢」

<10月9日のゲスト>

いまくほ てるお
今久保 哲大 氏
 新日本製鐵(株)
 代表取締役副社長



プロフィール

昭和21年12月4日 生
 高知県出身

学 歴
 昭和45年 3月 一橋大学商学部商学科 卒業

職 歴
 昭和45年 4月 新日本製鐵(株)入社
 平成13年 6月 取締役(海外営業部長委嘱)
 平成15年 4月 取締役(鋼管事業部長委嘱)
 平成17年 4月 常務取締役(薄板事業部長委嘱)
 平成20年 4月 代表取締役副社長

はげまし... 最近の金融危機について

1 金融危機と鉄鋼情勢について

現在の世界経済は、リーマン・ブラザーズの倒産をきっかけとして露呈した金融危機が壊滅的に波及しないよう世界各国の政府が躍起となつてあらゆる対策を打ち出しているが、全く予断を許さない状況がこしばらくは続くであろう。

当然のことながら鉄鋼情勢も夏までと比べて180度雲開きが変わった。

2002年頃から世界の経済成長に伴い、鉄鋼も5、6年と比較的長きにわたって非常な好調を維持してきた。日本では建築関係などの内需は既に昨年から相当低下していたものの世界的には好調を維持していたが今年になって6月を境に大きく変わってきた。実はその兆候は去年の暮れぐらいから出てきたと私は思っている。

思い出してみると去年の夏ぐらいから経済誌などに突然「サブプライム」という言葉が登場し、次第にその頻度が増えてきた。これはいざいざ行

詰るのではないだろうかという感じがあり、特にレバレッジ(梃子)で、1円のものも40円、50円で売り払うということはあり立つはずがないだろうという危惧があった。

われわれは実体経済そのものの中で生きていくなかなか理解が難しいが、要するに80年代後半の日本の金融バブルと全く同じ方法で、日本の場合は土地、アメリカの場合は住宅に変わっただけであり、今回のアメリカの場合は、米国内だけではなくヨーロッパまで大規模に巻き込んでいるので、破綻した場合の影響は大規模広範囲に相当に激しいことになっている。

2 デカップリング論について

また同時に、去年の秋ぐらいに流行ったデカップリング論を、年が明けたら誰も言わなくなりました。デカップリング論とは、世界経済の7割を占める米国等の先進国経済が落ち込んで残り3割の新興国経済が大きく成長している、世界的には景気はなかなか落ち込まないはずだという考えだが、新興国経済は先進国、特に米国に相当依存している、私はそ

う楽観的なことは言えないだろうと感じていた。

鉄では需要の7割が新興国であるが、経済の7割を占める先進国経済が失速した場合、まだまだ新興国だけで鉄需要を支えることはできない。

そういう視線で注意して見ていると、去年の暮れあたりからアメリカの自動車の販売に少し陰りが見え、住宅の在庫も10カ月を超えているという現象が出始めたころから、誰一人デカップリング論を言わなくなりました。

3 世界の金融資産の規模

2006年の統計で、世界の金融資産は168兆ドルつまり1京7000兆円ぐらゐになった。一方で実体経済は48兆ドルだから、すなわち世界の金融資産は世界のGDPのなんと3.5倍になっている。(図表1)

また、原油先物市場の規模はたかだか20兆円なので全くケタが違っている。原油でもこの程度でしかないため、儲かりそうだとしようとしてこ

集中して資金が行く。商品市場は、株式・債券・為替などの市場から見るとあまりにも規模が小さくて、こういうところに大量の資金が入っていくとあつという間に値段が上がると、また売りにいったら値段が下がるということで、それにわれわれ製造業は冷や汗をかいたり、喜んだりしているというのが実態となっている。(図表2)

このようなことはやはり異常であり、いずれ破綻せざるをえないと感じていたが、今回のリーマンの破綻は、まさにそれではなからうかと思つている。私は今回の危機は相当規模が大きいので、長くなるのではなからうかと危惧している。

また、米国経済の今後についての見方(一)を紹介すると、2006年の住宅抵当借入の過剰が4兆ドルで、アメリカGDP13兆ドルの3割に相当する。この4兆ドルの解消を国と個人が負担していかななくては行かないわけだが、解消には5年位はかかるというシミュレーション結果がある。さらに政府が公共投資をどんどんやつて需要を増やしていき、経済を活性化させる政策が功を奏すれば、その5年が短縮になるという構図であろう。

いずれにしても、これからはさらに悪化は避けられないということである。

4 世界的なドル不足

リーマン・ブラザーズが倒産した後金融業界の混乱は、金融だけにどどまらず当然のことながら産業の血液なので実体経済にもすぐに影響してくる。

今一番端的に表れているのは、やはり世界的にドル不足になっていることだ。ドル不足の要因は銀行間の信用収縮のためである。こうなるとドルを企業が借りようと思っても大変で、中小の企業が本当に借りられない状態に陥つていようだ。

従つて海外の多くのユーザーのL/Cが開けない。国内の信用問題も怖いが、海外は為替がからんでくるだけにこれからリスクが高くなると思つている。

中国経済と中国鉄鋼業

現実には各商社の海外事務所では、ユーザンスをもっと伸ばしてくれというような条件交渉が山のように起つていっているのであると思つている。

の構成比は固定資産投資が全体の約4割で一番大きく、次いで個人消費が35%ぐらゐであり、この4割の固定資産投資が20~30%の伸びで中国経済を引っ張ってきた。これは名目成長率なので、最近10%を超えている卸売物価を引いた実質成長率では足元2割を切つているのであると思つている。

1 中国経済の減速

中国が7月に政策金利を0.27%下げて7.2%とした。これは実は2002年以来で、あのころは経済を勃興させるために下げたが、今度は経済の調子が悪いので7.2%を6.9%まで下げて景気刺激策を取り始めた。中国は外需依存型だったわけだから、相手国の調子が相当悪くなつてくれば当然中国の経済にも出てくるというところで、そのため中国の内需も相当落ちてきている。宝山製鉄所の徐樂江董事長が「今中国のミルは作れば売れるという時代は終わった。今までより再編統合、生産性向上などに大きくシフトしていかないと、これからの鉄鋼業は生き残れない」と突然言い出した。

現実には中国は今ほとんど鋼材の値段を下げ、今までの収益から見ても大半のミルがコスト割れに近いような状態になっている。値段を下げて、中国の内需が相当冷えていっているので売れるわけはなく、数多いミルの生き残り競争になるだろうと思われる。

ただ、ずっとそのような内需の落ち込みが続くかというところではない。中国では毎年人口が1000万人ぐらゐ増えているので、そのためには大体8~9%の経済成長を絶対に続けていかなければならない。幸いに中国政府はお金を相当持つているので大型のプロジェクトに着手して内需を喚起し、9%弱ぐらゐを維持していくことにするのではないかと思っている。

中国のGDP成長率はずっと10%後半~11%だったが、去年ぐらゐから少しづつ落ち始めている。多分これはもつと下がつていき、8~9%ぐらゐになるであろう。それから中国のGDP

の構成比は固定資産投資が全体の約4割で一番大きく、次いで個人消費が35%ぐらゐであり、この4割の固定資産投資が20~30%の伸びで中国経済を引っ張ってきた。これは名目成長率なので、最近10%を超えている卸売物価を引いた実質成長率では足元2割を切つているのであると思つている。

また中国の個人消費であるが、インフレ率が4.9%ぐらゐになっているのに対して、金利は引き下げて6.9%にしたところである。この辺のバランスがどうなるかというところがあるが、いずれにしても、上海の株価も暴落し、GDPの1/3を占める個人消費が今急速に冷えていっているといえそうだ。

例えば自動車の生産販売は3ヶ月前までは誰もが1000万台を超えると聞いていたが、わずかな間に今では930万台ぐらゐではないかと言われている。

周知のように自動車はアメリカが大幅に落ち込み、日本のメーカー各社は3割~2割の下方修正だが、ビッグ3の業績は惨憺たる状態に陥っている。しかしアメリカも毎年1%ぐらゐ人口が増えているので、それなりの経済成長が必ずあるはずで、今の落ち込みの復活は時間の問題であり、再生まで何年かかるのかというのが課題であると思う。

2 中国の鉄鋼業

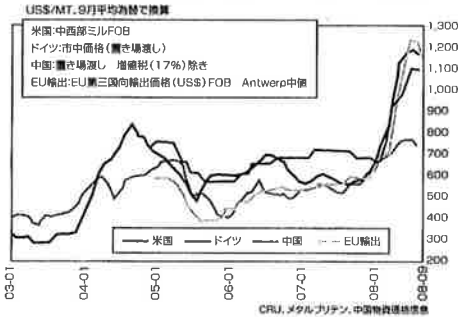
粗鋼生産量は、今年は最終的にはどうなるか分らないが、中国は5億トンギリギリぐらゐで、世界合計では12~13億トンぐらゐになると思われる。

(図表3)

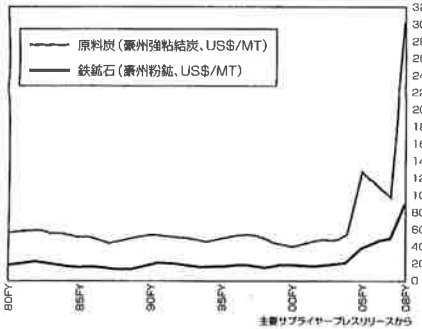
一方中国の供給サイドだが、実は粗鋼をつくらしている会社が今現在で487社もある。その他の鉄鋼メーカーを全部入れると、2400~2500社ぐらゐといわれる。(図表4)

しかし、これでも3年ぐらゐ前は4500社ぐらゐあったので、わずか2~3年の間にほぼ半減している。この背景には中国政府が進めている鉄鋼業の淘汰、再編統合が結構進ん

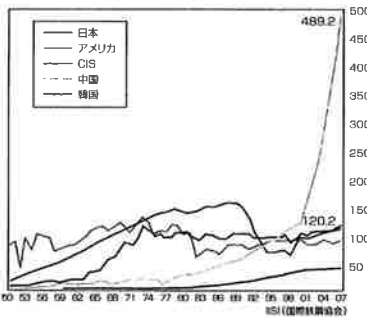
国際鋼材市況推移(熱延コイル) (図表5)



鉄鋼原料価格推移 (図表6)



粗鋼生産量推移 (図表3)

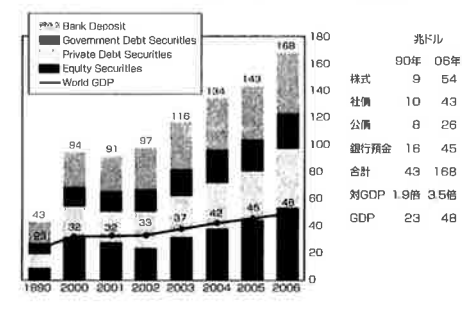


中国の鉄鋼業 (図表4)

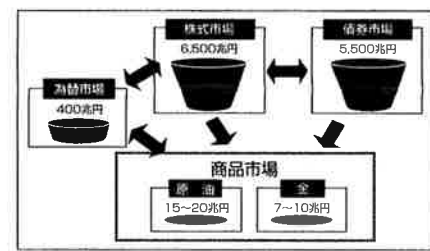
粗鋼生産規模	2006年*			2007年		
	社数	生産量(万トン)	シェア(%)	社数	生産量(万トン)	シェア(%)
1千万トン以上	9	13,603	32.2	10	17,997	36.8
500~999万トン	12	7,891	18.7	13	9,229	18.9
300~499万トン	14	5,262	12.4	14	5,230	10.7
200~299万トン	18	4,378	10.4	20	4,854	9.9
200万トン以上(A)	53	31,134	73.6	57	37,310	76.3
200万トン以下(B)	n.a.	11,151	26.4	430	11,614	23.7
全国計(A+B)		42,285	100.0	487	48,924	100.0
		(41,915)				

出所)中国鋼材統計(産経)
 注1:2006年の各規模別生産量は、当時の状況を反映させるため発表当初のデータを掲載した。
 注2:06年3月末現在、2007年の粗鋼生産量は4億9,966万トンに修正されている(規模別の内訳は不明)

金融資産の肥大化 (図表1)



各市場と資金流入 (図表2)



[市場規模の定評]
 株式市場:クローバル株式市場時価総額 債券市場:クローバル債券市場発行高(国内+社債)
 為替市場:一日あたり取引額 原油:NYMEX先物相場 金:COMEX先物相場等

3 中国の鋼材輸出
 それから中国鋼材の輸出については、中国政府は世界中で生じていた貿易摩擦の解消のため輸出抑制策を行い、確かに増値税17%や今度輸出するものにも15%、25%と付けているが、国内市況が冷え込んできたのでまた輸出は増えてきている。政府はいずれ削減するとは言っているが、国内がこういう状況では、輸出規制も緩やかにせざるを得ないので、そうなる中国を中心として世界中で通商摩擦が起こる恐れがあると心配している。

その結果、われわれの鋼材価格になると、韓国鋼材は超価価格になっており、今POSCOの国内価格がホットコイルでトン650~670ドルくらいである。一方で韓国は、6,000万円以上の製鉄能力をもうすぐ持つとうとして、現代製鉄も700万トンの能力増強投資を決めたようなので、中国ばかりではなく韓国も生産能力の余剰構造に相当に注意しないといけないことになってきた。

2 韓国の鉄鋼業
 韓国については、このところ経済指標はずっと下がってきて、為替は大幅なウォン安の状況である。韓国は外貨準備を2,400億~2,500億ドル持っているが、実質的に使用可能な外貨が少ないようで、それでドル不足、L/Cも開けないというところにつながっている。

鋼材市況の下落
 そのような流れで最近鋼材価格はほとんど悪化し、そして悪化のスピードが非常に速くなっている。6月くらいにはホットコイルは1,000~1,100ドルだったが、今は800ドルくらいまで下がっており、これからもっと下がっていくだろうと思っ

高値の原料価格
 一方、原料、特にオーストラリアの2社とブラジルの1社との交渉では、鉄鉱石を65%上げた後、80%、90%上げ、石炭に至っては何倍に上げることが起こっている。おそらく来月くらいから双方の前哨戦が始まることになる。

新日本製鐵の考え
 一つ目は、世界の鉄鋼市場が12~13億トンというのはかつての6億トン、7億トンから見ると舞台は倍に広がっている。新日鉄もグローバルプレーヤーを標榜しており、J-V、アライアンスを通じて拡大し、グローバル的にやらないと成長もないということで、新しい市場にだけ力を入れていくということを大きな命題にしている。

1 韓国経済の悪化とウォン安
 また韓国については、昨年12月くらいから毎月の経常収支が突然赤字になってきており、貿易収支の赤字の2~3倍くらいになっている。ウォンは昨年の暮れと比べて5割近く下がり、今1ドル当たり1,380~1,390ウォンでほとんどウォン安になっている。

アメリカの鋼材市況と半製品輸入の減速
 アメリカの鋼材市況は、アメリカも随分再編統合が進み、結局ミットラル、USX、ニーコアがメジャープレーヤーとして市況を形成し、その効果が出て

それからマージンの確保である。私どもではコストの60%くらいは原材料にのって、原材料の動きが全体収益にもっと影響してくるのだから、市況の動きをよく見てすばやく行動しなければいけない。例えばスクラップの買い方、タイミング、あるいはどういう生産形態を取るのかについてもスピードをより重視した形で、この下期からは社内でもどんどんやっていくと考えている。

また韓国については、昨年12月くらいから毎月の経常収支が突然赤字になってきており、貿易収支の赤字の2~3倍くらいになっている。ウォンは昨年の暮れと比べて5割近く下がり、今1ドル当たり1,380~1,390ウォンでほとんどウォン安になっている。

それ以外でも、新日鉄も6月頃に鉄源不足等のため型鉄を買おうと思つたら価格はトン900ドルつまり9万数千円の型鉄だった。またスクラップも7万数千円だった。しかし、今型鉄はほとんど下がり600ドルを割り、スクラップも3万円台と下げ足のスピードが大変に早い。

ただ、原料炭、鉄鉱石だけは年間契約なので、ここだけは契約の仕組みからいってほかの鉱物資源と少し違う動向にならないと見ていい。(図表6) このようなことが、今後どう落ちていくのか予断を許さないが、私の感じでは、今はちょっと動揺が先走ってしまいがちで悪化したところをさらに加速させていることが相当にあると思っ

は600万トンで、世界の半製品の物流の10%くらいを占めているがアメリカの製鋼操業率がこれから急激に下がっていくと、真つ先にこの半製品からカットしていく。そうなるとその供給元のウクライナ、ブラジル、メキシコの半製品が緩んでくるというものが起こってくる。スラブが去年1,400ドルだったものが、今600~650ドルくらいに落ちてきているが、その要因はアメリカの動きであると思う。

成田国際空港開港から 30年経ち…



緊張状態の中、行進するデモ隊

成田国際空港開港から30年が経過致しました。今も尚、空港反対闘争は続いています。今後、空港反対同盟と互いに理解し合える日がくるのでしょうか…?この闘争によって命が消えたということを決して忘れてはなりません。



市民の治安を守るため警備する隊員



まさに一触即発の両者

現在の反対闘争は、第二次、第二次の代執行警備、或いは成田用水阻止闘争警備当時の、「集団武装闘争」といった形態のものは見られなくなっていますが、本年3月には空港本体に向けた飛翔弾発射事件が発生するなど、依然として予断を許さない状況にあります。

千葉県警察では、今後も空港の安全と円滑な運行を確保するため、空港警備隊をはじめ各機動隊が一丸となつて、警戒警備の万全を期して参ります。

完全空港化に向けた更なる安全の確保

千葉県警察

成田国際空港は、開港30周年という節目の年を迎えましたが、現在も暫定平行滑走路(2,180m)を本来計画の2,500mにするため、北側への延伸工事やその関連工事など完全空港化に向けた工事が行われています。

一方、空港反対同盟とこれを支援する極左暴力集団は、全国総決起集会(毎年3月、10月)を行つているほか、その時々々の情勢に応じて緊急集会を行うなど空港反対闘争の盛り上げを図つております。

去る10月5日にも、空港建設予定地内にある反対同盟員所有の畑において「全国総決起集会」が開催され、12時からおおよそ3時間にわたる集会で「空港絶対反対」「農地死守」などが宣言された後、約2キロメートルにわたりデモ行進が行われました。

この集会警備に際し千葉県警察では、前段から重要防護対象施設等に対する警戒を強化するとともに、集会当日は、警察本部長を長とする警備本部を設置して、総数3,700人の体制で警備に臨み、不法事案等の発生を防ぎ、無事警備を終えることができました。

集会への参加者は、910人(主催者発表1,420人)で、昨年の集会に比べ330人増加しました。なお、参加者が900人を越えたのは、平成11年秋の全国集会以来ですが、この増加は平行滑走路の完成に対する反対派の危機感の表れとも考えられます。

全国殉職警察職員 警察協力殉難者慰霊祭 挙行



去る10月30日、本年度の「全国殉職警察職員警察協力殉難者慰霊祭」がグランドアーク半蔵門において挙行され、殉職者・殉難者ご遺族、麻生内閣総理大臣他政府関係者、警察関係者多数および当会から小山理事長、齋藤常任理事が出席した。

式は警視庁音楽隊の荘重な奏楽の下、警視庁儀仗隊員により今年度の殉職者・殉難者計14名の名簿が祭壇に厳かに奉納された。

参列者全員で黙祷を捧げた後、麻生総理大臣より「新たに祀られた御霊は、自らの危難をも顧みず、治安維持のため、職務に殉じた警察職員や他人の命を救おうとして、殉難された方々であり、こうした方々を失ったことは、ご家族はもちろんのこと、社会全体にとって大きな痛手である。今、6084柱の御霊を前にして、職務に対する強い使命感、あるいは深い人間愛に衷心より敬意を表するとともに、私たちは、ご意思を受け継ぎ、国民の暮らしから、不安を取り除き、再び「強く、明るい日本」にするために取り組んでまいります。」との追悼の辞が述べられた。次いで佐藤国家公安委員長、吉村警察庁長官より追悼の辞を述べられたあと、ご遺族代表が追悼の辞を述べられた。

また今年には殉難者の一人に、海で溺れた中学生を自らの危難を顧みず救助にあたり殉難されたインドネシア共和国からの留学生が含まれており、遠くインドネシア共和国から、「両親・ご親族が参列され、在日インドネシア共和国大使も列席した。

なお今年度の新合祀者は殉職者7柱、殉難者7柱の計14柱であり、明治7年警察制度創設以来殉職者5492柱、殉難者592柱の計6084柱にのぼる。

CONTENTS

- P1 警察庁長官・警視総監 年頭ご挨拶
- P2 励ます会幹部 年頭ご挨拶
- P3 第29回北陸支部総会開催
新潟県警察機動隊長 特別講演「北海道サミット警備を終えて」
- P4 Member's Lounge「新しい日伯関係への提言
日本人のブラジル移民100周年を機に」 中川 博之氏

発行所
社団法人 機動隊員等を励ます会
〒144-0055 東京都大田区仲六郷4-32-5
発行人 小山 廉
TEL 03(3739)0590
購読料 年間1,200円
(但し会員の中には購読料を含む)

Jan.2009
No.407

はげまし

For the Riot Policemen & Members



岩手・宮城内陸地震被災地での救助活動



北海道洞爺湖サミット警備は見事に完遂

謹賀新年 新たに迎える一年に 平和への祈りを込めて...



第35回平成20年度 通常総会懇親会での一幕



年頭のご挨拶 警察庁長官

吉村 博人

謹んで新年のお慶びを申し上げます。平成21年の年頭に当たり、平素から機動隊員の深い御理解と温かい御支援を賜っております会員の皆様方に対し、心から御礼申し上げます。

さて、昨年7月に北海道洞爺湖サミットが開催されました。今回のサミットでは、国際テロ、反グローバルリズムを掲げる過激な団体による暴動、極左暴力集団や右翼団体による「テロ、ゲリラ」の脅威の中、サミット史上最多の22か国の首脳が参加し、G8首脳同士のホテルに宿泊するという、我が国にとって初めて経験する大規模警備でありました。こうした極めて厳しい情勢の下、サミット開催国として治安責任を全うすべく、全国警察では、組織の総力を挙げ、警備諸対策を推進した結果、国内外の要人の安全と行事の円滑な進行を確保し、日本警察の威信を国内外に示すことができました。このサミット警備に際して、励ます会から暖かい激励を頂戴しましたことに対して、御礼を申し上げます。

また、サミット警備以外にも、第59回全国植

樹祭、第28回国歌豊かな海づくり大会、第63回国民体育大会等の行事盛況に際し、皇室と国民との親和に配慮した警備警護を実施し、御身辺の安全確保と歓迎者の雑踏事故防止に努めたほか、胡锦涛中華人民共和国国家主席を始めとした来日外国要人に対しても安全確保や雑踏警備対策に万全を期すなど、警備警護の徹底を図ったところであります。

さらに、6月の岩手・宮城内陸地震等では、近隣各都府県の機動隊を中核とした広域緊急援助隊を現地に派遣し、被災者の救出救助活動に当たったほか、4月の長野県下における北京五輪聖火リレー警備の完遂等突発重大事案や大規模警備に対して的確な警備措置を講じて、警備の万全と国民の平穏な生活の確保に努めたところであります。

こうした各種警備に際して、全国機動隊は文字どおり警備部隊の中心となつて大いに活躍し、警察の危機管理の中核を担う集団警備力としての存在を示したのであります。

世界では、依然として、イスラム過激派を中心と

した国際テロ組織によるテロが発生し、我が国においても、国際テロの脅威に直面している現状や反グローバルリズム運動の高まりなど、治安情勢は非常に厳しいものがありますが、全国警察においては、引き続き、空港、原子力発電所等の重要施設に対し、機動隊等による警戒警備を実施するなど、情勢に応じた的確な警備活動を推進してまいります。

加えて、振り込め詐欺対策に伴う機動隊員によるATM警戒にみられるように、機動隊は、治安上の重要な警察事象に対して、その集団警備力を活かして活動し、国民の期待にこたえていく所存であります。皆様には、今後とも全国の機動隊員に対する変わらぬ御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに当たり、全国機動隊が、我が国の治安の砦として、いかなる時にも、あらゆる事案に対処しうる精強な部隊として、更に飛躍発展することをお誓い申し上げます。励ます会の会員及び御家族の皆様、御健勝と御多幸をお祈りしまして、年頭の御挨拶といたします。



新年に寄せて 警視総監

米村 敏朗

謹んで新年の御挨拶を申し上げます。会員の皆様には、ご家族ともども清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げますとともに、平素からの機動隊の諸活動に対する深い御理解と温かい御支援に心から感謝申し上げます。

昨年一年を振り返りますと、7月の北海道洞爺湖サミットでは、警視庁機動隊6個隊を北海道へ派遣したほか、都内における治安維持のため、機動隊に加え警察署で勤務している警察官を招集した方面機動隊を編成して警備に当たるなど、北海道と東京の両面において、まさに、警視庁の総力を挙げて取り組みましたところ、テロやゲリラなどの不法事案を完全に封じ込め、所期の目的を達成することが出来ました。

本警備に際し、機動隊員等を励ます会の皆様から賜りました激励、警備に従事した機動隊員にとって大きな励みとなりました。重ねて御礼申し上げます。

また、サミット警備のみならず、李明博韓國

大統領、胡錦濤中国国家主席等の外国要人来日に伴う警備警護警備、長野県での北京オリンピック聖火リレーに伴う警備、福井県の原子力関連施設に銃器対策部隊を恒常的に派遣しての警戒等、重要警備を完遂したほか、都内における各種重要施設への警戒警備に万全を期したところであります。

さらに、災害警備におきましても、昨年は都内における大規模な震災等はなかったものの、5月の中国四川大地震、6月の岩手・宮城内陸地震発生の際は、国際警察緊急援助隊、警視庁広域緊急援助隊として機動隊を派遣し、被災者の救助活動等に当たりました。

さて、本年の治安情勢を展望いたしますと、国際テロの脅威は依然として高く、流動的な政治情勢に加え、未曾有の金融危機により経済不安が高まることといった国内外の諸情勢を背景に、警備情勢は、更に厳しさを増していくと思われまします。

警備以外におきましても、社会問題になつております振り込め詐欺等の犯罪を撲滅することが急務でありますことから、引き続き機動隊を警戒に当たらせる等、警視庁の総力を挙

げて検挙予防の両面で取り組んでいくことと致します。

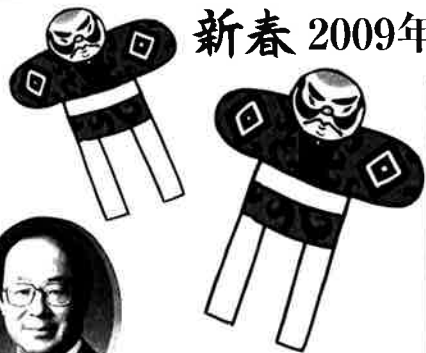
また、首都圏に甚大な被害をもたらすとされる首都直下型地震等の発生が予てから危惧されているところであり、震災の発生に備え、今後とも関係機関や地域住民の皆様と一体となった実践的訓練を反復継続していくことが極めて重要であると考えております。

本年も、このように厳しい情勢下にあります。警視庁機動隊は、「治安の最後の砦」としての誇りと使命感を持って、治安警備、災害警備、雑踏警備、各種の警備警護警備に万全を期すとともに、都民の身近な犯罪にも的確に対応する「頼もしい警視庁」を実践し、都民・国民の期待に応えていく所存であります。

結びに、機動隊員等を励ます会(会員の皆様には、今後とも機動隊に対する層の御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます)とともに、貴会の益々の御発展と会員皆様方の御健勝、御多幸をお祈りいたしまして新年の御挨拶といたします。

本年も宜しくお願い致します

新春 2009年



社団 機動隊員等を励ます会
理事長 小山 巖

励ます会より 年頭のご挨拶

謹んで新年のお慶びを申し上げます。
全国の機動隊員の皆様ならびに当会会員の皆様、ご家族ともども爽やかな新春をお迎えのことと思います。

昨年は7月に北海道洞爺湖サミットが開催され、国際テロや反グローバリズムの過激テモの活動等が懸念されましたが、機動隊を中心に警察の総力を挙げた完璧な警備の実施により、何の混乱もなく見事にサミットを成功させることができました。

今回は7月の首脳会議だけでなく各閣僚会議等が3月から9月まで全国各地で開催されたため警備が長期に及ぶこととなり、関係当局の皆様は警備計画・予配訓練など諸準備と実行に大変なご苦労・ご努力を重ねられました。

またこの間、北京五輪の聖火リレー警備や岩手・宮城・内陸地震・秋葉原の無差別殺傷事件などが発生し、全く休む間も無かつたと聞いております。

今回のサミットの警備の成功により全世界に我が国警察の真価を示すことができ、改めて深く敬意を表するとともに心から感謝申し上げたいと思っております。

なおお出会として警備にあたった機動隊員等の皆様にささやかな支援をさせていただきますところ、矢代警視總監殿、高橋北海道警察本部長殿より感謝状を頂戴いたしました。またここにありがとうございます。

しかし一方で、関係者の努力にも関わらず、幼い子供が犠牲となる事件、動機等不可解な殺人事件、振り込め詐欺事件の悪質化あるいは企業倫理に反する事件など、数多くの重大な事件が発生しております。

またこの間、北京五輪の聖火リレー警備や岩手・宮城・内陸地震・秋葉原の無差別殺傷事件などが発生し、全く休む間も無かつたと聞いております。今回のサミットの警備の成功により全世界に我が国警察の真価を示すことができ、改めて深く敬意を表するとともに心から感謝申し上げたいと思っております。なおお出会として警備にあたった機動隊員等の皆様にささやかな支援をさせていただきますところ、矢代警視總監殿、高橋北海道警察本部長殿より感謝状を頂戴いたしました。またここにありがとうございます。しかし一方で、関係者の努力にも関わらず、幼い子供が犠牲となる事件、動機等不可解な殺人事件、振り込め詐欺事件の悪質化あるいは企業倫理に反する事件など、数多くの重大な事件が発生しております。またこの間、北京五輪の聖火リレー警備や岩手・宮城・内陸地震・秋葉原の無差別殺傷事件などが発生し、全く休む間も無かつたと聞いております。今回のサミットの警備の成功により全世界に我が国警察の真価を示すことができ、改めて深く敬意を表するとともに心から感謝申し上げたいと思っております。なおお出会として警備にあたった機動隊員等の皆様にささやかな支援をさせていただきますところ、矢代警視總監殿、高橋北海道警察本部長殿より感謝状を頂戴いたしました。またここにありがとうございます。

資本主義のもたらした結果であるとも言えますが、昨年の後半にサミットと五輪が終了すると同時に、全世界を巻き込んだ米国発の金融危機が表面化し、この数年好況を続けてきた実体経済も一気に180度転換し、全く先が見通せない状況に至りました。今年も、新年のご挨拶には全くふさわしくありませんが、経済的あるいは社会的にこれから何が起きるのか誰も分らない、倒産や雇用不安が増大し、社会的活動も多発するかもしれないという実に不透明な新年を迎えております。会員各位、各企業ともこの大不況の不透明な時代をどう乗り切るか、頭を悩ませていることと思います。

このような時、目先の動きに惑わされ、不安から陛下を向いて嘆いているだけでは何も解決することはできません。逆にこのような時こそ体質強化のチャンスととらえ、落ち着いて基本に立ち返り、反省すべきところを素直に直し、当たり前の努力を地道に積み重ねることが何より大事であり、それ以外に大不況を乗り切ることはできないと思っております。当会の活動に関しましては、昨年同様にサミット警備支援の他、各支部総会や機動隊員の海外研修派遣等支援活動を活発に展開することができました。全国の会員の皆様のご理解とご協力に深く感謝申し上げます。今年も当会を取り巻く環境は前述の通りであり、昨年のような時こそ今まで以上に地道に活動の質と幅を上げ、当会に対する機動隊員や会員の皆様の信頼と期待に応えていかねばならないと思っております。厳し中でも少しでも明るさが見える年となることを祈り、また会員の皆様の層のご協力をお願い申し上げます。



社団 機動隊員等を励ます会
相談役 佐々木喜朗

「機動隊員等を励ます会」の皆様、そして機動隊員の皆様、明けましておめでとうございませす。清新一年の気をもつて新しい年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また昨年は7月には北海道洞爺湖サミットの開催という国際的な大規模な課題を克服し、完遂できましたこと、これも機動隊員の皆様の地道なご努力のたまものと深く感謝するものであります。各国の首脳も北海道の風光明媚な風景と完璧な安全確保に感銘を受けて帰国されたことと拝察しております。

さて昨今の情勢を展望いたしますと、世界的には長く続いている中東の紛争も他にはインドのムンバイでのテロ攻撃、タイの大規模なテモによる騒乱、メデアにあまり報じられなかった中国農村部における暴動の多発等々色々な社会的混乱が生じております。それによって多くの人命が失われ、財産が損なわれております。加えてアメリカ発の金融危機がグローバル化の波に乗って世界中に拡がっております。

「治安の最後の砦」といわれる機動隊員の皆様方の役割は重かつ大であります。一層のご奮闘を祈念してやみません。我々「励ます会」といたしましてもささやかではあります、引き続き機動隊員の方々のご努力に対する支援をお誓いするものであります。簡単ではございますが新年のご挨拶といたします。



社団 機動隊員等を励ます会
相談役 鈴木 實

会員の皆様、明けましておめでとう御座います。新しい年を迎えて張り切っておりますことと思っております。

昨年は7月にサミットが北海道で開催され、その会場となった洞爺湖周辺では2万人態勢という空前の警備態勢で全国から応援体制がとられ、駆けつけた隊員の方々は大変ご苦労があったとお察ししております。昨年の夏、テモテモ苦勞があつたお察しして、昨年の夏、テモテモ苦勞があつたお察しして、洞爺湖町を訪れたのですが、サミットの直後だったこともあって、ホテルや食事場所で開催期間に滞在していた機動隊員の話で盛り上がりました。私が接した地元の方々全員が警察官のファンになったと言っていました。

全国から集まった警察官の方々には皆さん不自由な生活を強いられ、食事、洗濯なども不便をしてい

ます。今年はその影響が深刻化していくといわれております。無論日本も例外ではありません。他方、国内に目を向けますと、秋葉原での無差別殺傷事件、高級官僚及び家族に対する殺傷事件など異常としかいいようのない事件が多発しております。

世界の中で、優れて自由であり、公平であると思われ、日本の社会においてなぜこのような異常な犯罪が発生するのか、しっかりと究明されなければならぬ問題であります。国として国民の安全を守るといふ基本的使命はますます強くなつてくると思われます。

「治安の最後の砦」といわれる機動隊員の皆様方の役割は重かつ大であります。一層のご奮闘を祈念してやみません。我々「励ます会」といたしましてもささやかではあります、引き続き機動隊員の方々のご努力に対する支援をお誓いするものであります。簡単ではございますが新年のご挨拶といたします。

結果、大きな問題や事故もなく、サミットは無事に閉会したのであります。私は国民のひとりとして日本の警察の力と品格に大きな誇りと安心感を持つた年でした。改めてご苦労をされた警察関係者に御礼を申し上げます。ご苦労さまでした。

不安定な世界の治安情勢の中、今年も何かあるか分かりませんが、災害もいつ来るか分かりません。私たち「機動隊員等を励ます会」として、今年も今まで通りできる限りの努力で機動隊員の皆様の励みになることを会員の皆様と一緒と考えていく所存です。どうか宜しく申し上げます。

励ます会 年間スケジュール

支部総会	通常総会	行事
平成21年 1月30日(金) 千葉支部総会【ヴェルシオーネ若潮】 2月24日(火) 名古屋支部総会 3月18日(水) 予定 大阪支部総会	平成21年 6月10日(水) 第36回(平成21年度)通常総会【明治記念館】	平成21年 1月 9日(金) 7:20~ 警視庁 年頭部隊出動訓練【神宮外苑 絵画館前】 1月16日(金) 優秀機動隊員表彰式【警察庁会議室】 2月 4日(水) 警視庁警備部武道始め【警視庁武道館 江東区新木場】

第29回 北陸支部総会開催!

「世界に我が国警察の真価を示した」と理事長ご挨拶 機動隊員等の皆さま150名がご出席

去る11月17日、第29回北陸支部総会が新潟グラントホテルにおいて開催された。総会には、来賓として小熊新潟県副知事、園田新潟県警察本部長以下幹部の方々、富山県警の幹部および機動隊員等150名の皆様にご出席いただき、当会からも小山理事長、今井北陸支部世話人代表等をはじめ約150名がご出席し総勢300名であった。総会は機動隊員の整列入場、国家斉唱の後、世話人代表と理事長、来賓の副知事と本部長が挨拶され、岩城新日鉄新潟支店長の乾杯で懇親に移った。懇親のあと山本機動隊長による謝辞、全員が輪になって「この世を花にするために」の合唱、三島世話人による万歳三唱で総会を締め括った。

小山理事長のご挨拶

今年はずいぶん警備を先達して我が国警察の底力を世界に示すことができ、私共国民もまことに誇らしくうれしく思っている。山本隊長のお話を聞くに想像以上に厳しい訓練、準備を行っている警備したとのこと本当に苦勞さまであった。しかしその一方で日本はかつて世界といわれた安全神話で崩れてきているのが残念でならない。丁度100年前にブラジルに移住した日本人は、勤勉さ、忍耐強さ、助け合い、教育熱心などでブラジル人から高い評価を得てきた。しかし、現在の日本では拜金主義、利己主義や無責任主義が蔓延して、そのような日本人の当会としても未長く応援していくべきである。

来賓・会員の皆様のご挨拶

今井世話人代表
北海道洞爺湖サミットでは新潟からも山本隊長以下大勢が1ヵ月半も出動し、先の2回の地震災害警備でも大変な活躍をされた。改めて深く感謝申し上げたい。
現在は非常に厳しい経済状況ではあるが、当会はこれからも機動隊等への激励の輪が大きく拡がるよう努力してまいりたい。

小原副知事(泉田知事挨拶代読)
励ます会の活動に敬意を表するとともに、機動隊の北海道洞爺湖サミットをはじめ数々の警備の最前線での活躍に対して、県民を代表して心から感謝申し上げる。
さらに街頭での凶悪犯罪防止や振り込め詐欺防止警戒などでも皆様にご尽力を頂いており、今後も県民生活の安心と安全を守る頼もしい存在であってほしい。

園田本部長

今年には北海道洞爺湖サミット警備のため全国の警察が訓練から本番にいたるまで苦勞した年であった。新潟は労相サミットと全国豊かな海づくり大会等もあり機動隊の諸君は大変であったと思うが、これも県民のご協力があったのでありお礼申し上げる。
今年を通じて、機動隊の真髓の集団警備力が改めて必要な時期になって来たと感じている。



毅然たる態度での入場

岩城顧問(新日鉄新潟支店長)
サミットに先立って新潟競馬場での演習を見学させてもらい、臨場感と緊張感のある演習を目の前にして、あれだけのことをきちんと成し遂げるための準備は大変なことであると痛感した。今後も一層の研鑽に励んでほしい。

今回サミットでは一部とはいえない反グローバリズム運動の高まりがあって集団での暴徒現象が見られたためである。インターネットで簡単に大勢の人が集まることがあり、これまでと違った対応が必要である。

新潟県警察機動隊長 特別講演 「北海道洞爺湖サミット警備を終えて」

昨年7月7日から3日間のサミットにおいては、地元北海道を含めて全国から2万人の警察官が動員され警備にあたった。今回も完璧な警備により我が国警察の真価を世界に示したが、その成功の陰には関係者の周到な準備と大変な努力があった。そこで総会第1部として、新潟県警の機動隊等を率いてサミット警備の翼を担った山本隊長から北陸支部総会へ講演をしていただいた。

講演では豊富な写真を駆使し興味が尽きないお話が多く、そのご苦勞がよく分かったが、ここでは紙面の都合上その内のほんの一部をご紹介します。支援の糧としたい。

山本隊長講演内容(抜粋)
首脳会議は3日間だけだが、新潟県部隊の警備は5月末から1ヵ月半にわたる長丁場であった。その間富山市の旅館に宿泊し、交代で担当の洞爺湖地域の警備にあたった。
北海道は初めての隊員も多く、その広さに驚いたりカニやホタテなどの食べ物に喜んだりしていたが、期間中は寒いことが多く夜間は10度を切る日もあったほどであった。
しかしそれと北海道警察の受援隊にお世話になったり、旅館をはじめ地元の方々から温かく声をかけていただいた大きな励みになった。中には特産のイチゴの差し入れを頂戴したこともあった。おかげさまで全員体調を大きく崩す者もなく無事任務を完了できた。やはり自分達の仕事は皆さんのご理解やご支援がなければ全うすることはできないと改めて感じた次第である。

写真1は道路の検問。幸い大きなトラブルはなかったが、ある日早朝に検問している方向とは逆の後方からトレーラーが突っ込んできて危うく大事故になるところであった。
写真2は会場に近い施設の立番である。夜間は周囲に明かりは無く、暗にうろたがり怖かったのは熊が出ることであった。朝になるとほっとした。
写真3は非番の日に宿舎近くで実施した部隊の警備訓練風景である。各中隊とも互いに気合が入ってレベルを相当上げることができ大いに自信を深めた。
写真4は重要施設の開催直

この日のために積み重ねてきた準備と成果をいま発揮しているという実感をしっかりと持てた。幸いに混乱もなく無事にサミットは大成のうちに終了した。やり遂げた満足感一杯である。
離道式のときに高橋北海道警察本部長より感謝状をいただき、心もったお言葉も頂戴した。感無量であった。私も新潟に帰着したとき挨拶したが「本当に、本当に、本当にご苦勞様でした」という言葉しか言えなかった。自分達はこの貴重な経験を活かして今後待ち構える幾多の困難を一丸となって乗り越えていきたい。

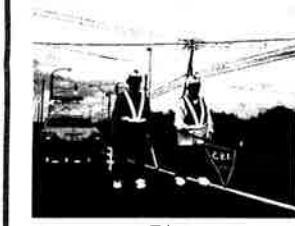


写真1



写真3



写真2



写真5



写真4

- 本年もよろしく
お願い申し上げます
- 新日本製鐵(株)
 - 日鐵住金建材(株)
 - 日鐵商事(株)
 - 五十鈴(株)
 - 岡田運輸(株)
 - 青山特殊鋼(株)
 - (株)エース電研
 - 岡部(株)
 - 東京製綱(株)
 - (株)メタルワン
 - 黒田(株)
 - 共永興業(株)
 - 高島秀一郎(株)
 - 富士興業(株)
 - (株)カノークス
 - 日鉄東海鋼線(株)
 - 丸定産業(株)
 - 太陽シャーリング(株)
 - 新潟スチール(株)
 - 不動鋼板工業(株)
 - 佐藤製線販売(株)
 - ナイルレストラン
 - G・M・ナイル
 - 03-3541-1824
 - (社)機動隊員等を励ます会
 - 北海道支部

「新しい日伯関係への提言 日本人のブラジル移民100周年を機に」

Member's Lounge

講演会録

中川氏とブラジルとの接点は、1972年の留学を含め4回にわたる通算13年間のブラジル駐在である。新日鉄時代の駐在経験を経て、今般新日鉄とも関係の深いブラジルの鉄鋼大手ブラジル・ウジミナスで活躍された。本年、日本人のブラジル移民100周年を迎えることを契機に、今後の新たな日本とブラジルの在るべき関係について実感的な体験を踏まえてご講演頂いた。



<11月のゲスト>

なかがわ ひろゆき
中川 博之氏

前ブラジル・ウジミナス製鉄(株) 取締役

プロフィール

1938年3月17日生 東京都出身

1962年 3月 東京外国語大学 ホルトガル・ブラジル科卒業

1962年 4月 新日本製鐵(八幡製鐵)入社

八幡製鐵所生産課配属

本社販売部販賣課配属

輸出部第二輸出課

1972年 12月 ブラジル留学(第一期)

1974年 5月 新日鉄南米事務所配属

本社技術協力事業部米州営業部

1979年 5月 南米新日鉄社長

ブラジル・ウジミナス(株)経営審議委員会

1988年 4月 リオデジャネイロ日本商工会議所専務理事

1989年 6月 日鐵商事(株)取締役

1993年 10月 通産大臣表彰(発展途上国経済発展貢献者)

1998年 11月 ブラジル・ウジミナス製鉄(株)東京事務所長

2006年 3月 日本ウジミナス(株)取締役

2006年 4月 ブラジル・ウジミナス製鉄(株)取締役

2008年 4月 同社退任現在に至る

1 はじめに

昨年リオデジャネイロの日本人学校を30年ぶりに訪れた際、大きなシヨックを受けた。かつて駐在していた当時、私の子どもたちも含めて400人ぐわりの日本人小中学生が在籍していたが、昨年は21人にまで減少、しかもそのうち教職員の子が半数で駐在員の子弟は10人ぐわい少なくなっていた。日本人学校の在校生の数は日本の進出企業のバロメーターでもあり、これまでの大幅な減員は予想を遥かに超えていたからである。なぜここまで落ち込んだのかこの30年間から日本企業のブラジル進出の経過をたどりながら、新たな日伯関係の在り方につき考えてみたい。

2 日伯関係とその推移

私が最初にブラジルに駐在した1970年代初期は軍事政権が大胆な改革を断行し、いわゆる「ブラジルの奇跡」といわれた時期であった。積極的な経済政策を追求し、年間のGDP成長率が実質10パーセントを超え、これに伴い日本企業が大量にブラジルに進出した。サンパウロの日本進出企業は79社から215社に増加、欧米の進出も同様に顕著であった。

1988年に駐在したときは、転じて、いわゆる「ブラジルの失われた10年」といわれる時期であった。対外債務は危機状況にあり、80年代10年間の実質GDP成長率はマイナス0.4パーセント、インフレは急騰し2000パーセントを超えた。高インフレ下の経営、資本の目減りによる増資、途上国特有の目下まわりの経済変化に翻弄されて、この頃から日本企業の撤退は加速し、日本からの民間企業の対伯投資は以来長期にわたって停滞して行くのである。

1990年代、ブラジルは転じてグローバル化と民主化の潮流のなか、経済政策は政府主導から市場メカニズム重視の開放政策へと劇的に転換された。貿易、

資本の自由化、民営化、規制緩和が急激に進展した。1997年、世銀がブラジルを「BRICS4カ国」の一員に挙げたこと、欧米企業へのブラジルへの進出はさらに加速した。しかし日本はバブル崩壊の後遺症もあり、80年代、90年代と20年間に渡りブラジルへの民間投資は停滞した。反面、欧米企業は90年代の開放経済下ブラジルの民間投資を加速、日本との格差はさらに拡大した。現在最大の商工業都市サンパウロにおける日本と欧米の商工業者会議会員数を見ると、米国2300社、ドイツが512社、これに比べ日本は98社だが、その内訳を見ると日本からの民間進出企業数は1970年代の215社から僅か149社にまで減少している。

3 対ブラジル民間投資における欧米企業と日本企業の相違

市場確保を狙って進められてきた日本の民間企業の直接投資が、欧米のそれと比べてここまで劣勢となったのは何故か。ブラジルのような発展途上国では先進国と異なり、いわゆる「ジョリコ」といわれる特殊要因が多岐にわたる。欧米企業と競合して行くためには、地についた戦略的発想が不可欠である。日本企業はこれらの特殊要因を踏まえた上で、明確な投資戦略がなかったといえるのではないだろうか。70年代大躍進した進出時も、目的、戦略が不明確で横並び的であったのではなかったか。また意思決定のスピードの遅さ、言葉の壁、習慣の相違からリーダーシップをとるが難しいこと、さらに情報網の未整備、政府との情報、イブが細いため、トップがブラジルの急激な状況変化に即応した経営戦略、決断がとれないなどといったことも原因の一つであろう。

企業ではブラジル人を含めて国籍を問わず、現地法人のトップに人材を起用してはいる。また駐在期間も10年以上は普通だが、本社もそれなりの保障を厚くしている。その間にポルトガル語を習得し、ブラジルのリスクやカルチャー、ノウハウを蓄積する。日本の場合、駐在は概ね4-5年であり、昇進、ポスト、給料が横並びで抜擢も殆どない。優秀な日系ブラジル人を雇っていたとしても、通訳でしか使っていない場合も多い。さらに欧米諸国の場合、本国が助成金を出し、ブラジルの国内に自分の国の言語文化や理念を教育する民族系の優秀な小中学校をいくつも開設し、ブラジル社会とそれを開放して、長期的な視点からみるとそれはブラジルにおける自国のビジネス後継者の裾野を広げる結果となっている点は留意すべきである。

4 日伯関係の継続、強化のために

それでは今後の日伯関係はどうかあるべきなのか。資源国として、今後の食糧供給基地として、さらには温暖化ガス排出権の有力な取引先になり得ること、世界第7位のF1大国であるといった側面を考えると、日本にとりブラジルの重要性は極めて高く、今後の多面的なアプローチは将来の日本経済の安全保障につながるものである。ならば、日伯関係は長期的な視点から継続強化されるべきは明らかである。そのためには、70年代、80年代の反省に立ち、前段で述べた日本企業に特有な失敗を繰り返すことの無いよう、確固たる経営戦略を立て、ブラジリストと呼ばれるリスクを軽減するための十分な事前準備が為されるべきこと、何にも優先する基本的前提である。

加えて、新たな日伯関係の構築のために強調したいことは、過去10年を通じてブラジルに定着した日系社会をもっと活用すべく、日系ブラジル人と日本の進出企業との融合を深める対策が必要だということである。そしてさらに二歩踏み込んで、ブラジルにおける日本の進出企業の投資活動をバックアップする後継者を育成するためにも、欧米諸国同様、日本の政府、

界外ブラジル日系社会がタイアップして、日本語を含む日本文化や日本人の勤勉性、忍耐、科学技術といった優秀な民族としての資質をブラジル社会に定着させるために、日本の民族系教育機関の設立が極めて重要だということである。

5 ブラジルに於ける日系社会と日系ブラジル人の現状および問題点

移民100周年を経た今、ブラジルにおける日系社会は急速に衰退の傾向にある。移民2世以降の世代に、これを積極的に維持、発展させようという気運が生まれなくなったためである。戦前の移民世代は日本の敗戦により、故国に錦を飾ることを諦め、やむを得ずブラジルに骨を埋める決心をした。2世世代に対する日本人としての教育を放棄し、ブラジルの高学歴を身につけさせることに注力したのである。この傾向は3世世代にも引き継がれ、今や日系人はブラジル社会の中で極めて高い学歴と高収入を得て、多分野に浸透している。日系人の人口は150万人とブラジル人口1億8千万人の1パーセント以下であるが、中南米有数の総合大学であるサンパウロ大学は学生数4万人、大学院生2万人計6万人の在校生の中にあって、その15パーセントが日系人であり、教員5000人の8パーセントが日系人である。その高学歴、優秀さが伺える。しかし反面、

彼らは1世の期待に反して日系社会から離脱し、日系社会に関心を示さなくなってきた。150万人といわれる日系人のうち、日系社会に帰属しているというアイデンティティを持つものは、7パーセント程度といわれる1世と、すでに高齢に属する約30パーセントを占める2世世代の部と思われ、残り63パーセントを占める3世、4世は50%以上が混血化しており、日系人としてのアイデンティティは極めて希薄である。それは移民1世が夢見ていた日本語のみならず日本民族、高い資質の継承、日本文化のブラジル定着が遠のき、やがて日系人という言葉さえも6世世代になれば死語となるであろうということだ。

世界大だといえども150万日系人を有する国はブラジルだけであり、日本から見た場合なんとしても残さねばならぬ貴重な資産は必ずある。近年BRICSの員としてその重要性が見直されているブラジルに於いて、日本語のみならず広い意味での日本文化に根ざした教養と資質をもち、しかもブラジリカルチャーも身につけた日系ブラジル人が日本人と共にブラジルに於ける日本の経済活動をサポートし、ブラジル社会に深く根付かせるための媒体となれば、こんな素晴らしいことはいないだろう。

一方、見方を変えれば、30万人といわれる日本に移民中の高学歴の3-4世日系人を、ブラジルに進出計画を持つ日本企業が、日本で直接雇用して教育、ブラジルへ回帰させ、自社のブラジルに於ける幹部社員候補生とする。これは衰退しつつあるブラジル日系社会維持のキャナル的作用として、日本語のみならず、日本民族の優れた資質の継承、文化の維持、同胞意識の向上、融け込む有用な作用するのではないかと考えられる。グローバルな日系ブラジル人の育成努力なくしては、早晩

6 日伯関係、資質、文化の継承の大切さ

これにたいし、欧米主要国はブラジルに移民社会があるわけではないし、言語を含めた民俗文化の普及は日本の数十倍も多額な資金を投下し、国民文化の優秀な小中学校を作り、各国がサンパウロ市だけでもそれぞれ十数校も設置し、ブラジル社会にも開放している。彼らばかりで植民地経験から、海外での自国民の普及が将来利益につながることを経験的に知っているのだから。日本人は他国文化を吸収する資質は高いが、自国の優れた資質や文化を他国に普及させることが不得手なので、歴史が証明するところではあるが、移民入植以来100年を経つのに、残念ながら日系の民族系小中学校は校も存在しないのである。

だとすれば、日本政府や財界も、日本語は勿論、日本人の優れた資質、文化の継承のために、具体的な資金援助を真剣に検討すべきである。そしてブラジル日系社会とタイアップし、欧米諸国並みの優れた民族系の教育機関としての日伯学園を開設し、同時に、教育者の育成についても早急に検討しなければならぬ。そして、本学園を広くブラジル社会に開放し、日本民族の優れた資質と文化、日本語に関心ある者を育成することを校風とし、開校の目的とし、学園にする必要があるのではないか。

かくして、ブラジル特有の多民族、多文化混合社会をよしとするブラジル社会にあつては、勤勉性、科学技術力等日本人の優れた資質は長く発展しつつ存続し続けることを得るのである。

7 終わりに

日本人移民がブラジルの農業改革に果たした功績は偉大であり、それがベースとなって、日本人の優秀性、勤勉性、信頼性、忍耐力に対するブラジルの潜在的評価は既に非常に高い。このような日本人特有な資質を子弟に学ばせたいといわれれば、日系人は多いのである。従い日伯学園が開校されれば、日系人のみならず入学希望者は多数に昇るであろう。かくして、日本移民1世が希求してやまなかった広い意味での日本文化は、未承くブラジル社会の中で継承、伝播されていくと確信するものである。そして日伯学園で学んだ者たちが日系社会のサポーターとなり新たな日伯関係の担い手として育つてくれることを望んでやまない。

編集後記

昨年から大きく姿を現した大激動の中、新しい年を迎えよう。今年ほど人々が不安と関心を抱いて1年間を行く末を考えた年も珍しいのではないだろうか。何がどうなるのか、どうなるのか、面白くない、いや、不謹慎ですが、この時代の交差点を感じます。当会も右往左往せずにとんとん構えでやるべきことを、つづきつづき積み重ねていくことが大事だと事務局

CONTENTS

- P1 2009年初詣雑踏警備 無事完遂
警視庁年頭部隊出動訓練 実施
- P2 全国支部長・代表世話人のご紹介
- P3 第32回中国支部総会 開催
- P4 Member's Lounge
「グローバル金融危機とマクロ経済」 杉崎 重光氏

発行所
 社団法人 機動隊員等を励ます会
 〒144-0055 東京都大田区仲六郎4-32-5
 発行人 小山 肇
 TEL 03(3739)0590
 購読料 年間1,200円
 (但し会費の中には購読料を含む)

Jan.2009
 No.408
はげまし

For the Riot Policemen
 & Members

厳しさが予想される一年に祈りをこめて
2009年「初詣雑踏警備」
無事完遂



冬晴れの清々しい天候が続いた今年の正月三日、全国各地の神社・仏閣・行楽地は多くの参拝客・行楽客で賑わいを見せた。不況の折の「神頼み」ということもあり、全国の神社・仏閣への入出は993.9万人と統計の残る74年以降最多を記録した。これにあたり、参拝者が約300万人に上る明治神宮の他、全国各地で各都道府県警察の警察官約3万6千人が出動し、大きな事故に繋がることなく警備を完遂した。例年のことながら年末年始昼夜問わず、一年中、国民の安全のために尽力する機動隊員の皆さまに感謝したい。

あわせて、厳しい経済環境は続くが、皆さまにとって良い年となるよう心から祈念したい。

それぞれの願いを胸に
 全国各地の神社・仏閣へ機動隊出動

平成21年初詣 全国の人出 (単位:万人)

1位 明治神宮(東京都)	319	6位 浅草寺(東京都)	239
2位 成田山新勝寺(千葉県)	298	7位 熱田神宮(愛知県)	235
3位 川崎大師(神奈川県)	296	7位 住吉大社(大阪府)	235
4位 伏見稻荷大社(京都府)	277	9位 大宮氷川神社(埼玉県)	205
5位 鶴岡八幡宮(神奈川県)	251	10位 太宰府天満宮(福岡県)	204



川崎大師(神奈川県)



伏見稻荷大社(京都府)



成田山新勝寺(千葉県)



盾を持ち、勇壮に行進する



自らは減少に見つれない騎馬隊も豆場

米村敏朗警視總監は、査察終了後「東京の刑法犯や交通事故数は減少しているものの、社会情勢は層不安定化しており社会全体に閉塞感がある。国民が抱く治安への不安を払拭し、社会における安心安全を確実なものとするために決意を新たにしたい」と訓示した。一般見学も可能であるため、会員の皆さまにも来年はぜひご参加いただきたい。

警視庁
年頭部隊出動訓練 実施

寒空のもと、首都の
治安維持の源を確認

警視庁年頭部隊出動訓練が1月9日、明治神宮外苑絵画館前(東京都新宿区)にて実施された。年初恒例の大規模訓練で、警視總監による査閲が行なわれ、機動隊を含む警察官2,700人が分列行進を行った。当日はあいにくの雨模様であったが、寒空のもと糸乱れず、気迫あふれる勇姿を見せた。行進には、パトカーや白バイ、NBC(核・生物・化学)テロ対策車など約140台の他、警察犬14頭、騎馬隊の乗る馬8頭も含まれ、首都の治安維持の源を改めて認識する機会となった。

全国の支部長・代表世話人の紹介

「経済・社会の激動の年ですが、頑張って乗り切りましょう。
今年もどうぞよろしくお願ひいたします」

2009年
年頭特集
パートII

北海道支部長



加藤 勝弘
北海道機(株) 社長

東北支部長



佐藤 修
(株)佐藤ホールディングス 社長

北陸支部代表世話人



今井 幹文
藤田金属(株) 社長

千葉支部長



菅 千太郎
平和農産工業(株) 社長

名古屋支部代表世話人



岡谷 篤一
岡谷鋼機(株) 社長

大阪支部長



木村 純
富士興業(株) 社長

中国支部長



堀口 勝哉
細口海運(株) 社長

九州支部長



自見 榮祐
自見産業(株) 会長

励ます会 年間スケジュール

支部総会

平成21年 1月30日(金) 千葉支部総会	東北支部総会	今春に開催
2月19日(木) 北海道支部総会	北陸支部総会	今秋に開催
2月24日(火) 名古屋支部総会	中国支部総会	今秋に開催
2月26日(木) 九州支部総会		
3月18日(水) 大阪支部総会		

通常総会

平成21年6月10日(水) 第36回(平成21年度)通常総会

理事会(朝食会兼講演会)

毎月1回開催 (8月を除く毎月中旬の木曜日)

警察行事

平成21年2月 4日(水) 警視庁警備部武道始め【警視庁武道館】

今年の年明けく様々な見方

今年は激動の年明けであったが、このようなときは、識者の意見を参考に落ち着いて世の中の動きを観察することが何より大事なのではないか。4ページに掲載した12月講演録に加え、ご参考までに私がこの年末年始に聞いた中で印象に残った言葉をメモしてみた。

皆さんに共通しているのは、未経験の急変に驚きながらも、落ち着いて将来に向けた布石を打つチャンスであると美に前向きに捉えていたことである。

A氏は、「今回の危機で我が国に有利になった点が3点ある」と指摘していた。

1点目は、原材料価格の極端な高騰と原料メジャーの資源囲い込みの動きがストップしたこと。

2点目は、新興国における猛烈な設備拡張(能力増強)投資がすべてストップしたこと。

3点目は、金融危機による信用収縮でM&Aがストップしたことと競争相手に対して日本勢は相対的に強くなった。

しばらくはこの大切な期間をじっくりと基礎実力(人材・技術・設備)の向上に努めるべきだ。苦しみながら楽しむくらいの気持ちでいるのが大事。

B氏は、「今回の需要減は实体经济の落ちに加えて、在庫削減、先安の思想が重なっているのでブレが大きくなっている。あわてずこの見極めをしっかりつけることが肝要だ。」

C氏は、「今回の減少は誰もが初めてのことでは驚いているが、谷深ければ山高しで、急回復はないものの意外と早く潮目の変化が来るのではないかと思う。こういう時は回復に3年や5年かかるという悲観的な見方が強くなるが、米国の新政権や中国の景気対策が打たれるので、早ければ春節明け(2月)に最初の兆しが現れると見ている。」

D氏は、「米国だけが世界経済をリードする時代は終わった。これから相対的に新興国のウエイトが高まるのは間違いない。」

これからのように推移していくのか、この機関誌がお手元に届くころにどれだけこれらの見方が変わっているのか予断は許さないが、一刻も早く明るい見通しがつき安心と安全の世の中が実現するよう祈っている。

(常任理事 齋藤斗紀雄)

努力と実績

信頼の機動隊

- 新日本製鐵(株)
- 日鐵住金建材(株)
- 日鐵商事(株)
- 五十鈴(株)
- 岡田運輸(株)
- 東鋼業(株)
- (株)エース電研
- (株)三榮商會
- 山陽特殊製鐵(株)
- 芝本産業(株)
- (株)広沢製作所
- 平和農産工業(株)
- 橋山和生(株)
- 国見山(株)
- 光洋商事(株)
- 新日本製鐵(株)名古屋支店
- 東海鋼材工業(株)
- 日鐵物流(株)
- 宮崎精鋼(株)
- 藤田金屬(株)
- 新潟鋼機(株)
- 三星金屬工業(株)
- 自見産業(株)
- ナイルレストラン
- G・M・ナイル
- 03-3541-1824
- (社)機動隊員等を励ます会
- 東北支部

第32回 中国支部総会開催!

管区の活動や機動隊の装備紹介も充実 精励の様子ありありと

去る11月27日広島市のANAクラウンプラザホテル広島において、第32回中国支部総会および懇親会が開催され、来賓として篠宮隆中国管区警察局長・岩崎和彦広島県警察本部長以下警察幹部、機動隊員合計120名にご出席いただき、機動隊員等を励ます会として堀口勝哉中国支部長および小山麗理事長他多数の会員が出席し総勢300名となりました。

会は、初めに堀口支部長および小山理事長が挨拶し、来賓として篠宮局長・岩崎本部長が祝辞を述べ、浅利重法理事の乾杯の音頭により懇親に移った。途中、中国管区主催の災害出動訓練の紹介ビデオが上映されたほか、機動隊の各種装備品も会場に展示され、会員にとっては普段あまり見ることのない装備品を手に取ったり機動隊員に質問するなど大いに関心を呼んでいた。

懇親会ではピンコ大会が催されるなど、若い機動隊員と会員が一体になって懇親と理解を深め、お互いに英気を養うことができた。

最後に恒例の「この世を花にするために」の全員合唱と武田治雄新日鐵中国支店長の音頭による万歳三唱により第32回中国支部総会を締め括った。

堀口中国支部長の挨拶

今年7月の北海道サミットや9月の広島で開催された議長サミットの警備、まことにくろうさまでした。また広島県の犯罪認知件数もピーク時の60%以下に減少するなど関係者の皆さま

小山理事長の挨拶

今年のサミット警備における完璧な成功は我が国警察の底力、真価を世界に示すことができ、国民として誇りに思い改めて深く敬意を表す。

一方で堀口支部長が述べたように治安面で不安を感じる事件は多々発生している。これは昔の日本人が持っていた勤勉、真面目、忍耐強い努力家、教育熱心などの良さが今では失われ、拝金主義・利己主義・無責任などの悪い風潮が社会に蔓延してきているためである。これを正すためには基本的には教育の立て直しが必要と考えているが、我々一人ひとりも青少年の健全育成活動な

来賓の皆様のご挨拶

篠宮中国管区警察局長
今年7月のサミットをはじめ多忙な1年であった。励ます会には深く感謝申し上げます。

我が国は現在色々と問題を抱えているものの、戦後ここまで発展してきたのは企業でも警察でも組織力が優れていたことが大きいと思う。機動隊は先般も関係機関と一緒に災害合同訓練を実施したところであるが、一人ひとりが相互に足りないところを補ってトータルとして大きな力を発揮できるようにこれからも鍛錬を重ね、国民の期待に応えていきたい。

岩崎広島県警察本部長
今年7月のサミット以外にも連続爆破等々の様々な事案に対し機動隊の集団警備力を活かし、無事任務を完遂し治安の維持に

の取り組みに感謝申し上げます。しかし凶悪事件は後を絶たず体感治安が良くなったとはいえない。年末年始の警備にあたりても機動隊の持つ集団警備力を如何なく発揮され治安の確保に努めていただきたい。

とできることから地道に取り組んでいかなければならない。企業人としても社会貢献は企業の重要な役割の一つでもあると認識し、どうしたら社会貢献できるのかを常に考えていかなければならないと思つている。

当会は昭和49年以来、身命を賭した機動隊員の皆さんの奮闘に対して国民として何とか支援し激励しようと活動してきました。これからも今ままで変わらず皆さんを支援し、よりよい安全安心な社会を実現させていきたいと願つている。皆さんは引き続き世のため人のために使命感と自信と誇りをもって任務に邁進していただきたい。



堀口中国管区警察局長



岩崎広島県警察本部長



「この世を花にするために」の大合唱

中国・四国管区合同広域緊急援助隊等災害警備訓練を中国支部長ら視察

去る平成20年11月12日、広島県安芸郡坂町の広島県警察機動隊のグラウンドにおいて、中国管区警察局、四国管区警察局及び広島県警察本部による「中国・四国管区合同広域緊急援助隊等災害警備訓練」が実施され、当会からは堀口中国支部長、武田理事が参加した。現地の様子をお伝えしたい。

広域緊急援助隊等、550名が参加 本番さながらの大規模訓練



見学に訪れた堀口中国支部長(右)と武田理事

この訓練は、災害発生時における人命救助のエキスパートである各県警察の機動隊員及び管区機動隊員で編成されている広域緊急援助隊警備部隊をはじめ、交通刑事の警察部隊に加え、陸上自衛隊第13旅団など12機関、団体の約550人が参加した。

訓練は、瀬戸内海の安芸灘を震源とするマグニチュード7.2の大規模地震を想定し、各機関等連携の下、倒壊家屋、多重交通事故、倒壊ビル、海上からの救出救助訓練など、本番さながらの訓練が繰り広げられた。訓練後、中国管区警察局長の篠宮隆局長から、「迅速、的確な災害警備活動が求められ、国民の期待は大きい。訓練で層の技能を培い、職務を完遂してもらいたい」旨の講評がなされた。

昨春は、岩手・宮城内陸地震や局地的集中豪雨により、大きな被害が発生し国民に大きな不安感を与えたところであり、いつ発生するか分からない災害の恐ろしさと同様、関係機関等が緊密に連携した訓練の大切さを再認識する良い機会であった。(中国支部)



崩れた土砂の中から乗用車を掘り起こす。連携が図られる瞬間



一分一秒も争う緊迫した雰囲気



ヘリコプターを使い、負傷者を運ぶ

広域緊急援助隊 災害警備訓練とは?

警察には、平成7年1月17日に発生した「阪神・淡路大震災」の教訓を生かし、大規模な災害に対応できる専門部隊「広域緊急援助隊(全国約4,700人)が全国の都道府県警察に設置されている。

「広域緊急援助隊」は、機動隊、管区機動隊、交通機動隊等から選抜された隊員により、先行情報班、救出救助班、交通対策班などを編成し、国内における大規模な災害に対し、都道府県の枠を超えて素早く被災地に赴き、災害情報や交通情報の収集、被災者の救出救助、緊急交通路の確保などに当たることを任務としている。

今回の訓練は、大規模災害に備え、平成20年11月11日(火)～12日(水)の2日間、広島県警察機動隊グラウンドにおいて、中国・四国管区内の広域緊急援助隊(約470人)が合同で総合的かつ実践的な訓練を実施し、各部隊相互の連携強化と災害救助能力の向上を図るとともに、関係機関との連携を確認したもので、原則、平成8年以降毎年実施している。

Member's Lounge

講演会録

昨夏米国のサブプライム問題を端を発した金融危機。日本を含めたグローバル経済は現在底の見えない未曾有の不況に見舞われています。欧州・日本・新興国を含めた世界同時不況のなかで経済・金融の今後の見通しはどうなっていくのでしょうか。ゴールドマン・サックス証券株式会社副会長の杉崎氏にお越し頂き、日本を取り巻く世界情勢と今後のあり方についてお話しいただきました。



<12月のゲスト>

すぎさき しげみつ
杉崎 重光氏

ゴールドマン・サックス証券株式会社
副会長

プロフィール

1941年2月7日生 東京都出身

学歴

1963年 東京大学教養学部卒
1967年 コロンビア大学国際関係論修士号取得

経歴

1964年 大蔵省入省
1976年 アジア開発銀行総裁補佐官
1979年 大蔵大臣秘書官
1989年 名古屋国税局長
1991年 国際金融局審議官
1992年 東京国税局長
1993年 証券取引等監視委員会事務局長
1994年 国際通貨基金特別顧問
カムドクシ専務理事を補佐

1997年 国際通貨基金副専務理事 (2004年1月まで)

2004年 損保ジャパン顧問兼損保ジャパン総合研究所理事長

2007年 1月 ゴールドマン・サックス証券株式会社・副会長
就任
現在に至る

「グローバル金融危機とマクロ経済」

いる。他方においては、新興国が外貨を稼いで経常収支の黒字が大きくなり過ぎ、結局、その資金が米国に戻り、米国の過剰流動性を招いたという議論もある。そして、象徴的に住宅・不動産価格の趨勢的な上昇があり、そのバブルが崩壊するというところである。その過程では、住宅融資が非常に甘く、初めの何年間は債務の返済は要らず、一定の金利部分だけを払えばいいというような条件のものが出回った。その住宅ローンは債権は証券化商品として売りに出され、流動化した。

当初は、債権が証券化されることによりリスクが分散されかえっていいことではないかとも言われていた。それは一面理だが、本当のリスクがどこにあるかがわからなくなり、さらには、証券の評價をする格付機関の機能も必ずしも十分働いていなかったため、取引者同士で相互不信が起った。金融機関同士の取引でも疑心暗鬼となり、貸し渋り現象も起きた。そのためヘッジファンドなどの投資行動も非常に弱まった。

1 米国完金不況の概要

2007年の夏、サブプライム問題が大きくクロウズアップされた。2007年8月、フランスの銀行傘下のフランドが資金繰りがうまくいかず凍結。2008年3月16日には、米国の大手投資銀行ベア・スターンズを米国のメガバンクJPモルガンが救済買取り、9月15日には、もう一つの大手投資銀行リーマンブラザーズが破産法の適用を申請した。このリーマンブラザーズの破産が市場に大きな影響を与え、それを踏まえた上で、米国会議では金融安定化法案を出し、10月13日に、メガバンクあるいは投資銀行に対し資本注入をした。特にここで議論になっているのは、なぜベア・スターンズは救済され、リーマンブラザーズは破産をさせられたのかというポイントである。

そこで考えられるのは、決済機能に關係のない証券会社であるリーマンブラザーズがつぶれても金融システムの問題は起らないとの議論があったということだ。もう一つは、何でも救ってしまえばいいというときは公的支援に頼れる」となってしまう。さらに「無謀な経営を誘引する、それを断ち切るため」という議論もある。政府当局のこの説明は、ベア・スターンズとリーマンブラザーズの場合、株主も次第に下がってきていて、リーマンへの投資家や取引相手はある程度準備できたはずじゃないか、だから公的支援をしなかったんだという説明もある。

2 サブプライムの本質

サブプライムの本質は、一番最初に過剰流動性があり、投資家がハイリスクであるにも関わらず、必ずしもハイリターンではないようなものにまで、手を出してしまい無謀な投資行動に走ったためと言われている。

1 流動性の供給である。民間の金融市場の流動性がなくなったため、世界的に中央銀行がお金を貸すという行動をとっている。二つ目は「公的資金の投入」である。税金を民間の金融機関に投入し、資本増強と不良債権の買い取りに充てる。三つ目は、「預金者借入者の保護と中小企業を

対象とした信用保証制度措置を講ずる」ということである。今、不良債権の処理は6合目ぐらいだろうか。不良債権の額と今まで資本増強で補った額とを比較すると、半分強手当てしたことになる。

90年代後半から日本で起きた金融危機は、銀行を通じて間接金融型システムのもとで起ったため、リスクが集中した銀行へ公的資金を投入した。米国では、直接金融型システムのもとで証券化を通じてリスクが分散した。それだけに、金融危機以外にも被害を及ぼし、AIGのような保険会社も支援の対象となっている。当時の日本では、薄利多売の考え方で資産評価が行われたため、長期間にわたって徐々に評価を計上していたが、米国の場合、時価主義に基づき資産評価し、短期間に大幅な評価損を計上した。

4 世界経済今後の見通し

世界経済の見通しとしては、先進国のGDP経済は引き続き2009年にかけて景気後退局面となる。また、銀行の貸し渋りが景気の足を引っ張ってしまい、世界経済の回復速度も鈍い。住宅価格調整の世界的な拡大もまたとまてはいない。実質金利は既にかなり低くなっており、政策的に金利を引き下げるとの余地が限られてきている。今の政策金利は、日本0.3%、米国1.0%、イギリス2.0%といった低い水準である。ただ、石油価格が150ドル近くまで上がった今夏はインフレが懸念されており、金融政策の余地は限られていたが、今はその懸念は大分後退してきている。財政政策面では、オバマ大統領が大がかりに景気浮揚策を出すと言われている。減税、インフラ投資の拡充など、早々に民主党支配下の議会を通過し、算盤措置を講ずるといって、今と今と、そうした財政拡大に対

3 金融危機に対する処方箋

こうした事態を踏まえ、2008年10月10日のG7では、システム上の重要性を有する金融機関を支援し、その破綻を避けるというメッセージを世界に伝えた。金融危機に対する処方箋は三つある。

一つは「流動性の供給」である。民間の金融市場の流動性がなくなったため、世界的に中央銀行がお金を貸すという行動をとっている。二つ目は「公的資金の投入」である。税金を民間の金融機関に投入し、資本増強と不良債権の買い取りに充てる。三つ目は、「預金者借入者の保護と中小企業を

する期待に米国の株価は支えられている。2009年の世界経済、弊社の予測では、成長率は、米国1.6%、欧州1.3%、日本1.3%、成長率は、2008年第4半期に約1.5%、来年の前半までは1.5%が続き、後半に少しプラスに転じるとのシナリオである。日本の成長率は、2008年第3四半期は1.8%、2期連続のマイナスとなった。結論的には、OECDの景気先行指数などを見ても、米国や欧州の下落がかなり目立ち、総体的に、世界経済を引っ張っていくのは新興国になりつつあるということである。2009年は日米欧がすべてマイナス成長であるから、世界成長のドライバーは新興国その他発展途上国ということになる。ケースシナリオ住宅価格指数は、2007年初めぐら前に対比、マイナスになり、それ以降ずっと落ち込み、今はマイナス20%くらいまで来ている。住宅価格が下がってきたため、住宅取得の能力指数はやや改善しつつある。ただ、米国の失業者数が非常にふえているため、買力力が向上していくと樂觀視できるかどうかは別である。

5 日本経済の見通し

日本経済は、2009年にかけても後退局面は続くであろう。今後6ヶ月先も依然として後退局面にあると思っている人たちの確率は80%であり、近々に出る日銀短観もかなり悪いであろう。その二つの要因として考えられることは、需要が落ち込み、設備投資の調整圧力が強いということである。また、信用収縮という問題がさらに拡大していくかどうかといった金融面の動きも注目されるであろう。現状として、日本の企業は輸出によって稼いでいるウエートは非常に高いということがある。仕向地別に輸出の3ヶ月移動平均では、まず米国が2007年からマイナスになり、そしてヨーロッパがマイナスになっていったにも関わらず、アジアはなおその後を上向いていた。このときに、米国経済と新興国あるいは日本経済との間の連動性が少し弱まっているのではないかと、アジア・太平洋論がよく言われた。過去に比べると、新興国あるいはアジア経済の対米依存度は減ってきている。ただ、もちろん、これだけグローバルな世界で相互連関がないわけはなく、ついにアジア向けの輸出もマイナスになった。

2 世界経済今後の見通し

世界経済の見通しとしては、先進国のGDP経済は引き続き2009年にかけて景気後退局面となる。また、銀行の貸し渋りが景気の足を引っ張ってしまい、世界経済の回復速度も鈍い。住宅価格調整の世界的な拡大もまたとまてはいない。実質金利は既にかなり低くなっており、政策的に金利を引き下げるとの余地が限られてきている。今の政策金利は、日本0.3%、米国1.0%、イギリス2.0%といった低い水準である。ただ、石油価格が150ドル近くまで上がった今夏はインフレが懸念されており、金融政策の余地は限られていたが、今はその懸念は大分後退してきている。財政政策面では、オバマ大統領が大がかりに景気浮揚策を出すと言われている。減税、インフラ投資の拡充など、早々に民主党支配下の議会を通過し、算盤措置を講ずるといって、今と今と、そうした財政拡大に対

6 金融市場における日銀・政府の介入ポイント

最後に、金融市場動向のキーポイントである。今、日本株は売上高トランザクションが一段と下がるリスクがある。特に、海外経済の減速と円高の加速がマイナス要因となっている。しかし、原油価格は下がってきており、交易条件はいく方向に向かっている。日本株の総体的な優位性は、バランスシート調整が約束するという意味で、日本株の金融危機ではないという意味で信用収縮のリスクが限定的ということである。銀行はむしろ欧米の金融機関に対して資本供給をする状況にあり、海外市場における日本の金融機関のプレゼンスもやや上昇している。アジアと日本市場との相関が回復し、日本以外のアジアの成長が持続することになれば、そこはプラス要因ともいえない。為替は、ドルはインデックス上昇しており、それに対し、欧州通貨は一段と下落の余地があるのではないかと、対円では日先はドル安が進行すると思われている。安い円を借りて海外で活用するといった円キャリートレードの巻き直しがかかり起こってきた。したがって、ドルを売って円に戻ってくるということでも円が強くなるが、それはいよいよ最終局面にきているのではないだろうか。さらに円高に突っ込むような場合には介入があるかもしれない。対円では円が潤沢に供給され、通常供給された円は日本銀行が資金を吸収するのだが、吸収せずそのまま放置する(非不活化介入)政策を仮に政策当局がとれば、その分さらに金融緩和効果がある。

1 単位GDPを算出するために消費するエネルギー消費量は、日本の100に対して中国は650〜700である。したがって、財政拡大が行われる場合、こうしたエネルギー効率性をさらに高める方向で資金が使われるのであれば将来の日本の経済の構造強化につながるのだが、ただばらばらまで資金を提供するのは、当面の社会的な不安を静める意味では効果はあるが、長い目で見た効果はない。その両者のバランスとすることが政治的に非常に難しい課題であろう。

編集後記

2009年新しい年が始まった。今年をどう乗り切ることが国も企業もそして個人も非常に大切だと感じる。当会も今まで以上に皆様の協力にご支援を得ながら、35年目の節目をしっかりと後々高く評価されるよう頑張っていくつもりである。(一励ます会事務局)

CONTENTS

- P1 第28回 千葉支部総会開催される!
- P2 Member's Lounge
「金融危機と日本経済」 伊藤 薫氏
- P4 平成20年度全国優秀機動隊員表彰式及び海外研修目録贈呈式
平成21年警視庁警備部武道始式

発行所 機動隊員等を励ます会
 社団法人 機動隊員等を励ます会
 〒144-0056 東京都大田区中六郎4-32-6
 発行人 小山 聡
 TEL 03(3739)0590
 購読料 年間1,200円
 (但し会費の中には購読料を含む)

Feb.2009 No.409

はげまし

For the Riot Policemen & Members

第28回 千葉支部総会開催される!



会場いっぱいには輪が広がった「この世を花にするために」

若いメンバーが演じた「エール交換」

心からのエールを力に変えて

去る1月30日、第28回千葉支部総会が千葉市の「ヴェルシ
 オーネ若潮」にて開催された。当日は小雨の降りしきる寒い
 日であったが、公務も多忙中の折からご参席いただいた白戸
 千葉県副知事、五十嵐千葉県警察本部長をはじめとする
 警察幹部及び機動隊員の皆様、励ます会会員の皆様、総勢
 250名の方々にご列席をいただき大盛況の会となった。

拍手に迎えられて機動隊員が入場、国歌斉唱のち、当会
 菅千葉支部長が「世界が経済的政治的に混迷を深めて
 いる中、日本においても日本人の美徳であった『世のため人の
 ため』という意識が薄れてきている気がする。しかし機動隊
 員の皆さんがその志を変わず持ち続けていることは素晴らしい
 ことである。今後私共も健全な社会作りと会員拡大に
 努力して行きたい。皆様の役割も一層厳しくなるが、県民
 国民の感謝の気持ち、期待が高まっていることを正面から受
 け止め頑張ってください。本日この会を明日からの更なる活躍
 の糧にしてください。」と歓迎の挨拶を述べた。続いて海外
 出張のため欠席の小山理事長の挨拶を齋藤常任理事が代読
 「昨年は北海道洞爺湖サミットが開催され、隊員の皆様の
 活躍により国の表玄関である成田空港の警備が完遂された。
 今回のサミット警備の成功により、全世界にわが国警察の真
 価を示すことができ、国民の一人として心から感謝している。
 今年はサミットほど大イベントはないものの、衆議院選挙や
 APECの警備準備が始まるということで、警察の皆様は休む
 間もなく多忙な日々になると思う。我々機動隊員等を励ま
 す会は35年間続けてきた支援をこれからも続けていく所存
 である。」と述べた。

引き続き白戸副知事より長年の支援活動に対する千葉
 支部へのお礼の挨拶と、自分の身を省みず県の守りに徹して
 いる機動隊員への感謝の言葉が述べられた。また五十嵐本
 部長からは「世のため人のため」というポリスマインドの発揮、
 集団警備力の発揮を以って安全で安心できる県民生活を
 守る決意が伝えられた。

樺山千葉副支部長の乾杯の音頭で懇親会が始まると、
 会場は転じて賑やかな雰囲気になりました。空港警備隊音楽
 隊スカイウィングの演奏が列席者の耳を楽ませ、隊員によ
 る演奏披露では日頃のチームワークの良さが遺憾なく発揮さ
 れた。全員が広い会場いっぱいに輪になり肩を組み「この世を
 花にするために」を合唱した後、千葉支部 布施世話人、空港
 警備隊隊員4名によるユーモア溢れるエール交換、志田世話人
 による万歳三唱が行なわれ、最後に曾根千葉副支部長による
 中締め挨拶で千葉支部総会は盛會裏に終了した。

世界経済が激動し社会不安が増す中、励ます会会員と
 機動隊員の信頼の絆がしっかりと結ばれた総会となった。

~千葉総会会場で励ます会会員・機動隊員に聞く~

◆励ます会 会員の声

田村 哲子さま(千葉支部世話人)
 Q 「励ます会」との関わりを教えてください。
 A 「この世に命ある限り、私は機動隊を応援します」と
 20年以上前から、支援活動を続けてきました。この場
 に集う若い隊員たちが、時が流れ入前の幹部として、またプロの警察官と
 して育っていくことを最高の楽しみにしています。「この道」が私の生きる
 道です。

Q 今後取り組んでいきたいことは？
 A 若手会員の育成ですね。幸いにも私の娘や孫も私の意思を継いでくれる
 と言ってくれています。彼女たちのような会員を増やし、世代を越えて活
 動を盛り上げていきたいと考えています。

Q 今後取り組んでいきたいことは？
 A 陰ながら継続して応援していくことが、会員としての貢献と考えてい
 ます。また年一回の支部総会で彼らに精一杯の「エール」を送ることで、少
 しでも励みになればと思います。

Q 今後取り組んでいきたいことは？
 A 陰ながら継続して応援していくことが、会員としての貢献と考えてい
 ます。また年一回の支部総会で彼らに精一杯の「エール」を送ることで、少
 しでも励みになればと思います。

Q 今後取り組んでいきたいことは？
 A 陰ながら継続して応援していくことが、会員としての貢献と考えてい
 ます。また年一回の支部総会で彼らに精一杯の「エール」を送ることで、少
 しでも励みになればと思います。

Q 今後取り組んでいきたいことは？
 A 陰ながら継続して応援していくことが、会員としての貢献と考えてい
 ます。また年一回の支部総会で彼らに精一杯の「エール」を送ることで、少
 しでも励みになればと思います。

Q 今後取り組んでいきたいことは？
 A 陰ながら継続して応援していくことが、会員としての貢献と考えてい
 ます。また年一回の支部総会で彼らに精一杯の「エール」を送ることで、少
 しでも励みになればと思います。

Q 今後取り組んでいきたいことは？
 A 陰ながら継続して応援していくことが、会員としての貢献と考えてい
 ます。また年一回の支部総会で彼らに精一杯の「エール」を送ることで、少
 しでも励みになればと思います。

Q 今後取り組んでいきたいことは？
 A 陰ながら継続して応援していくことが、会員としての貢献と考えてい
 ます。また年一回の支部総会で彼らに精一杯の「エール」を送ることで、少
 しでも励みになればと思います。

Q 今後取り組んでいきたいことは？
 A 陰ながら継続して応援していくことが、会員としての貢献と考えてい
 ます。また年一回の支部総会で彼らに精一杯の「エール」を送ることで、少
 しでも励みになればと思います。

Q 今後取り組んでいきたいことは？
 A 陰ながら継続して応援していくことが、会員としての貢献と考えてい
 ます。また年一回の支部総会で彼らに精一杯の「エール」を送ることで、少
 しでも励みになればと思います。

Q 今後取り組んでいきたいことは？
 A 陰ながら継続して応援していくことが、会員としての貢献と考えてい
 ます。また年一回の支部総会で彼らに精一杯の「エール」を送ることで、少
 しでも励みになればと思います。

Q 今後取り組んでいきたいことは？
 A 陰ながら継続して応援していくことが、会員としての貢献と考えてい
 ます。また年一回の支部総会で彼らに精一杯の「エール」を送ることで、少
 しでも励みになればと思います。

Q 今後取り組んでいきたいことは？
 A 陰ながら継続して応援していくことが、会員としての貢献と考えてい
 ます。また年一回の支部総会で彼らに精一杯の「エール」を送ることで、少
 しでも励みになればと思います。

Q 今後取り組んでいきたいことは？
 A 陰ながら継続して応援していくことが、会員としての貢献と考えてい
 ます。また年一回の支部総会で彼らに精一杯の「エール」を送ることで、少
 しでも励みになればと思います。

Q 今後取り組んでいきたいことは？
 A 陰ながら継続して応援していくことが、会員としての貢献と考えてい
 ます。また年一回の支部総会で彼らに精一杯の「エール」を送ることで、少
 しでも励みになればと思います。

Q 今後取り組んでいきたいことは？
 A 陰ながら継続して応援していくことが、会員としての貢献と考えてい
 ます。また年一回の支部総会で彼らに精一杯の「エール」を送ることで、少
 しでも励みになればと思います。

Q 今後取り組んでいきたいことは？
 A 陰ながら継続して応援していくことが、会員としての貢献と考えてい
 ます。また年一回の支部総会で彼らに精一杯の「エール」を送ることで、少
 しでも励みになればと思います。

Q 今後取り組んでいきたいことは？
 A 陰ながら継続して応援していくことが、会員としての貢献と考えてい
 ます。また年一回の支部総会で彼らに精一杯の「エール」を送ることで、少
 しでも励みになればと思います。

Q 今後取り組んでいきたいことは？
 A 陰ながら継続して応援していくことが、会員としての貢献と考えてい
 ます。また年一回の支部総会で彼らに精一杯の「エール」を送ることで、少
 しでも励みになればと思います。

Q 今後取り組んでいきたいことは？
 A 陰ながら継続して応援していくことが、会員としての貢献と考えてい
 ます。また年一回の支部総会で彼らに精一杯の「エール」を送ることで、少
 しでも励みになればと思います。

Q 今後取り組んでいきたいことは？
 A 陰ながら継続して応援していくことが、会員としての貢献と考えてい
 ます。また年一回の支部総会で彼らに精一杯の「エール」を送ることで、少
 しでも励みになればと思います。

Q 今後取り組んでいきたいことは？
 A 陰ながら継続して応援していくことが、会員としての貢献と考えてい
 ます。また年一回の支部総会で彼らに精一杯の「エール」を送ることで、少
 しでも励みになればと思います。

Q 今後取り組んでいきたいことは？
 A 陰ながら継続して応援していくことが、会員としての貢献と考えてい
 ます。また年一回の支部総会で彼らに精一杯の「エール」を送ることで、少
 しでも励みになればと思います。

Q 今後取り組んでいきたいことは？
 A 陰ながら継続して応援していくことが、会員としての貢献と考えてい
 ます。また年一回の支部総会で彼らに精一杯の「エール」を送ることで、少
 しでも励みになればと思います。

Q 今後取り組んでいきたいことは？
 A 陰ながら継続して応援していくことが、会員としての貢献と考えてい
 ます。また年一回の支部総会で彼らに精一杯の「エール」を送ることで、少
 しでも励みになればと思います。



Member's Lounge

講演会録

昨年後半よりの世界金融不況は、まさに全世界規模の経済的ショックをもたらし、いまだ先の見えない不透明な状況が続いております。このような状況の中、次の一手を意思決定していくために、まずは現状を冷静に見極め判断する経営者の目が求められています。今回は世界経済に起こっている事象について、そして今後の展望について、みずほ総合研究所(株)代表取締役社長の伊藤 薫氏にお話を伺いました。

「金融危機と日本経済」

<1月15日のゲスト>

いとう 薫氏
みずほ総合研究所(株)
代表取締役社長



プロフィール

昭和28年4月9日生
兵庫県出身

学歴

昭和51年 3月 慶応義塾大学経済学部 卒業

職歴

昭和51年 4月 株式会社日本興業銀行入行
平成 3年 3月 同 ロンドン支店副参事役
平成 11年 2月 同 業務部副部長
平成 12年 4月 同 産業調査部長
平成 14年 4月 株式会社みずほコーポレート銀行産業調査部長
平成 16年 4月 同 執行役員名古屋営業部長
平成 17年 4月 株式会社みずほ銀行常務執行役員
平成 20年 3月 みずほ総合研究所株式会社代表取締役社長(現職)

トしたというのが同時不況の波及のもうひとつの側面である。2.5%で来た先進国の平均成長率、直近の四半期では0.5%に、8%台だった新興国29カ国では6.5%になった。音に下がった先行指標は、世界経済の冷え込みが今後も続くことを示唆している。

変動費負担が減速要因、後半は一気に下がった資源価格の戻し要因を過たに上回る生産調整・輸出価格の暴落で減速という非常に激しい動きである。家計消費は日本も10月以降大きく減少に転じた。

4 日本経済の展望(図6)
ポイント:輸出の下落、円高、株価の3つでGDPの実質ベースでの過去最大の輸出の下落は7%、7%下落した時はGDPは0.8%押し下げられるという試算をしている。

はじめに
百年に一度、あるいは1000年以來と言われる現在の状況は、サブプライム問題という聞き慣れない言葉から始まって徐々に世界金融不況に広がり、「世界金融恐慌」と後世の人が言うであろうことはほぼ確定とされている。その後実体経済に広がって、現在では確実に「世界同時不況」とも言える事態となっている。これが百年に一度の世界恐慌、今風に言えば世界同時デフレスパイラルになるかどうかは今の各国の財政支出の規模とそのタイミング次第で、更にひどいデフレスパイラルへの瀬戸際に私たちは今立っているという時代認識だ。

最初に大暴落した。CDSスプレッド(※1)が拡大し、市場の不安心理を示すVIX指数(※2)も急上昇した。金融不安が国際的な金融危機へと深まり、アメリカでは70兆円規模の金融安定化法ができたが、最初の金融安定化法が下院で突然否決されたために大混乱となった。10月8日には足並みの悪い欧州が協調利下げをし、欧州主導で世界的な公的資金の注入と流動性確保に踏み出し、それにアメリカが乗って破綻をこれ以上広げないという体制だけができてきた。

3 信用収縮のレジスト・クランチは取まらぬのか? (図1)
図の①のインターバンクの銀行間のクレジットクランチは、米ドルLIBOR(※3)はほとんど機能できずに金利が跳ね上がったが、その後の安定化策によりLIBORは応非常に低い水準まで下落している。まだ民間銀行は信用力がなく、危機前の水準には戻っていない。世界の金融機関の不良債権や資本注入の額がさきりしないから不安心理は依然残っている。②、③は対企業の市場が縮小しているクレジットクランチだがアメリカとユーロのBIB格社債や投機的な格付けの社債が信用されず、まだ安定化していない。アメリカの大企業は短期的CP(マージナル)を大量に使って運転資金を繰り回し、銀行からの借入を使わずにCPが発行できない時には銀行から金を引くというコンソリメントラインが発動されるので、それだけでなく貸し出しが苦しい銀行がこれではとんぼ返りしてしまおう。これすらスムーズに出せない事態にアメリカでもなっている。④の家計向け貸し出しの与信判断も非常に厳格化して高止まりとなり、⑤の企業間も企業間信用の縮小が今後大きく生じるリスクも残っている。

II 金融危機の伝播と実体経済への波及
グローバル不況の実相
1 信用劣化と信用収縮の悪循環、新興国に飛び火した金融危機(図2・図3)
クレジットクランチが金融機関・企業家計の各市場で起り、景気悪化を通じて信用不安が金融機関自身の損失の拡大、借りてより更に企業の返済遅延、家計の延滞を通じて更に金融機関が萎縮するというループを辿ってきている。金融情報機関のアルムバークの推定では累積損失の予想推計値は1月1日時点で1兆ドル100兆円、それに対して安定化策や資本調達で9,000億ドル(約1兆円)はカバーしたことになる。この10兆円はバブル崩壊で日本の金融機関が償却した損失である。日本の金融機関は10数年かかったが、その間最初は20兆円と言っていた。それがその後には10兆円に強くなり、うち100兆円は実質的に金融機関の損失になった。既に世界はこの10兆円に達している。これ以上はもうない人はいない。

II 米国内にも及んだ金融危機
4 日本国内にも及んだ金融危機
世界経済減速の影響
日本は2.4%半期連続マイナス成長で、輸出と輸出関連産業の設備投資だけがもたせてきたので、11月に輸出が22%も落ちると当然今はかぬきか抜けたようにもなっている。企業生産活動は11月の生産は8%の大幅減産、10・12月の予測指数は11%の大幅減産、過去最大の減産幅になっている。ITを活用したサプライチェーンマネージメント発達により今在庫はあまり増えなくても、生産調整がこれまで経験のないほど速い。これは新しい時代のパターンのひとつといえる。企業業績は急速に悪化して7・9月の22%マイナスになった。昨年1・8月までは資源価格アップによる

2 米国内にも及んだ金融危機
3 欧州・アジアでは
欧州においては景気は一段と冷え込みを見せている。ドイツを中心に夏まではまだユーロにはインフレ警戒感があり金利も高止まりさせていた。これは違うというところで転換して金利低下等がやや遅れたことでマイナス成長が7月9月期から始まり現在アジアでも減速基調が鮮明になっている。中進国のNIESで韓国がおかしくなり、秋以降は台湾、またシンガポールも輸出を下げている。景気が悪くなっている。ASEAN 4カ国も実質GDPが急速に低下する格好になっている。

1 内外金融市場の展開
金融危機は正常化に向かっているのか?
1 グローバル金融危機に至るまで
2007年2月サブプライム向け住宅ローン会社のサブプライムが破綻、ベア・スターンズの経営危機が昨年3月でこの辺りまではサブプライム問題と言われている。これが金融機関全般の問題を起すという雰囲気になり、9月のリーマン・ブラザーズの倒産に至った。その後世界各々の金融機関の間の機能がすべて麻痺する事態に陥って「グローバル金融危機」と言われ、それが更に実体経済に波及した。

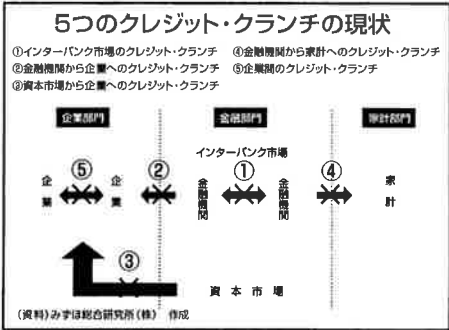
2 リーマン・ブラザーズ以降の金融市場の混乱
リーマン以降の金融市場の動向はまだ完全には終わっていない。1つは投資先から起こった資金の回収で、特に新興国の株価が

2 米国内にも及んだ金融危機
3 欧州及びアジア経済の展望
欧州もユーロ圏は2009年マイナスで、マイナス1%前後は輸出低迷と金融の目詰まりで確定である。

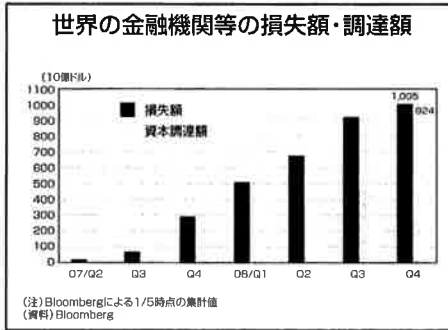
3 欧州及びアジア経済の展望
アジアにおいては、もともとサブプライム大丈夫ではないが、特に台湾・香港・シンガポールは資本輸出で経済黒字なので、根幹で問題になることはない。韓国・ベトナム等においても、今の金融危機の資本引き揚げの潮流が落ち着けば問題がなくなると思われる。

3 欧州及びアジア経済の展望
アジアにおいては、もともとサブプライム大丈夫ではないが、特に台湾・香港・シンガポールは資本輸出で経済黒字なので、根幹で問題になることはない。韓国・ベトナム等においても、今の金融危機の資本引き揚げの潮流が落ち着けば問題がなくなると思われる。

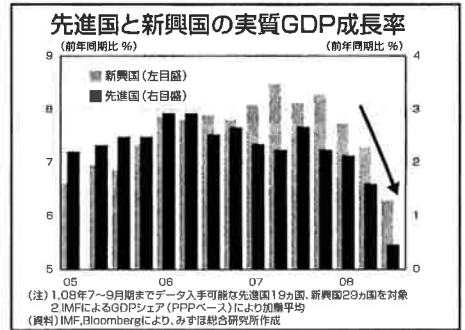
3 欧州及びアジア経済の展望
アジアにおいては、もともとサブプライム大丈夫ではないが、特に台湾・香港・シンガポールは資本輸出で経済黒字なので、根幹で問題になることはない。韓国・ベトナム等においても、今の金融危機の資本引き揚げの潮流が落ち着けば問題がなくなると思われる。



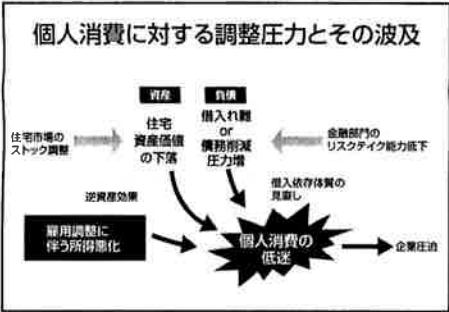
<図1>



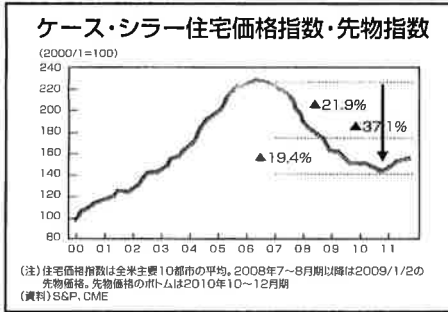
<図2>



<図3>



<図4>



<図5>



<図6>

講演後質疑応答

Q1 もしリーマンを救済するとなつていたら、状況はもう少し変わつていたでしょうか。

1社たりとも倒産させないということをやつていたら、恐らくシノクの大きさは半分以下だった。しかし、モラルハザードで金融機関が勝手に儲けまくつたあかげの損失を、何故国民の血税でもたさなければいけないのかというのをはつたり前の議論としてある。特にアメリカのインバースティメントバンクは日本の銀行員の100倍ぐらい儲けているので、その恨みはものすごい。日本でも93年の住商国会の時に国家資金を3兆円から5兆円か入れていたが、あの時点では2千億入れるのももなかつただろうが、あの時点では2千億入れるのももを得なかつた。人身御供を出してシノクが広がらないと「これは大変だ」とはならなかつたという意味ではリーマンは不可避だったと私は思っている。

Q2 アメリカの家計のバランス調整は自然体で2013年までかかるというが、同じことを繰り返さずに家や車を持つて、短期に済ませる新しい策はないのか。

従来70兆円も貿易赤字をばらまき、それを世界から借金して穴埋めしてきたアメリカの経済構造そのものを1回縮めないし、という話もあるが、私どもはそこまで極端な説は採らずに、明らかにこの数年の過剰消費だけを縮めよう、しかしそれでもアメリカの貿易赤字は続くという構図を描いている。即効性のある対策は今オバマ政権のスタッフが一生懸命考えているが、基本的にはより効率的な高い即効性のある雇用として道路や橋の修復を中心に100万人ぐらい雇う。クリントン・ブッシュの時代に「家と自動車を持つて」を表面に掲げたがためにメキシコからの移民が3年目で住宅ローンもホームエイクイティローンも借りられ、年収300万でも家も自動車もそろふという夢のような社会が実現した。ブッシュはこれを誇つたが、実はそういう手品が後ろに入つた。だからこれを1回調整せざるを得ない。ただ、アメリカの一般消費者は基本的には消費オリエンテッドで、少しでも余裕ができると間違いなく消費行動に出る。早く調整を終わらせれば住宅価格の底打ちが見えてくれば恐らく消費が復活するため、申し上げた3~4年より早い消費回復の可能性もある。

Q3 1929年の恐慌では1933年辺り失業率25%まで上がり、その辺り

「相当暗い」と言われるを得ない。97~99年にビッグアップトラックのブームが来て石油価格も下がり、アメリカはコストの安いトラック型の車の大量生産でポロ儲けした。エクソローラーを4万ドルで売つて1万ドルが純益だったというから如何に儲けたかわかるが、それがい

からユーティリティが動き出した。いくらユーティリティ的なものを出しても、これだけ個人家計や失業率が上がつていけば個人消費が持ち上がらない限り迂遠な道ではないか。もう一つは、世界の各国から資金が回収されたというところで、どうして日本の株価の下落率が欧米よりも高く、一方で円がこんなに高いのがよく分らない。

あの時代と今とは経済政策の理論もやり方もソフイステイクアウトされていて規模も成熟度も全然違うので、私はあんまりは起らないと思つていい。あの時は特に不足での金融引き締めが決定的な失敗となりデフレスパイラルに入った。「デフレスパイラルに入るとどう簡単に止められないので絶対起さないと」いう意識が今はあるから、前回のようにはならない。でも、本年のアメリカ経済と世界経済のポトムラインとしてマイナス5%が財政支出策等が早く出ないと危険だと考えている。案外は許されませんが、やらねばならないことが分かつている点が前回と違う。

日本の株価がこれほど売られる1つの説明としては、日本の株主を主導してきたのは海外投資家6割で、向こう側から円高と併せて見ると日本の株価下落はピークから32~33%アメリカのインバースティメントバンクやヘッジファンドがドルベースで見ると、世界のポトフォリオバランサーから言つて「日本は底力があるから3割ぐらいで済んだ」と見えておかしな目で見ようという考えもある。国家の強さは円高で反映、株価は名目値で下落という考えだが、少し理屈に走つていける感があり、やはり円キャリートとアメリカの巻き戻しが同時に起こるバランサーでそうなつていこう。特にアメリカ中心の金融資本が日本の株主を買ひ、日本の1,400兆の個人資産の運用は日本株ではなく世界の新興国のファンドや外貨預金に行つたという構図が一斉に巻き戻されている。日本に投下した人は帰つてしまつて売られ、世界から帰つてきた日本人のお金は株に行かないでみんな定期預金というのが現状、個人は最近買ひに出ているが、企業年金や国家年金が全然買つてくれない。従つて買ひ手不在のままだからと行つている。

Q4 アメリカのビッグスリーの将来性や今後について

用語解説

(1) CDSスプレッド
CDSはクレジット・デフォルト・スワップの略で、企業の信用リスクを対象とした金融商品で、保険のような性格を持つ商品。そのプレミアム(保険料)のレートをCDSスプレッドという。

(2) VIX指数
ボラティリティ(気まぐれ移り気)インデックス。シカゴオプション取引所が取引の値動きを元に作り出した指数で、投資家心理を示す指標として利用されている。

(3) LIBOR
ロンドン・インターバンク(銀行間)・オフアード(出し手)・レートの略。
資金調達コストの基準として用いられる。

(4) エマージング市場
アジア・中南米・東欧など経済が発展途上段階の国の金融市場。

(5) 製造業ISM指数
全米供給管理協会(ISM)が毎月発表する企業の景況感を示す指数。
翌月第1営業日に発表されるので米国の景気先行指標として注目されている。

平成20年度

全国優秀機動隊員表彰式 及び目録贈呈式



一糸乱れず整列した優秀隊員の皆さん

去る1月16日、警察庁総合庁舎において平成20年度全国優秀機動隊員表彰式が行なわれた。開始前にこやかに談笑していた隊員達は、定刻になると緊張した面持ちで着席し式の開始を待った。さすがは優秀隊員として表彰される精鋭の方々、背筋を真っ直ぐに伸ばした姿勢が美しい。

警察庁・池田警備局長ほか警察庁幹部の方が入場し、厳肅な雰囲気の中表彰式が開始された。氏名を呼ばれると「ハイ！」と凛々しい声とともに起立、北海道警察から沖縄県警察まで100名の精鋭が整列し、隊員を代表して千葉県成田国際空港警備隊・小鶴豊巡查部長が表彰状を授与された。

引き続き局長より「昨年は洞爺湖サミットをはじめ数々の警備が実施され、機動隊員諸君には日夜献身的に職務を遂行され、その努力と成果に敬意を表する。来年はAPEC首脳会議の開催が予定されているが、皆さんには自らの責務を果たすべく訓練に精励し、国民の期待に応えてほしい。」と訓示があった。

その後、短い休憩を挟んで、励ます会より韓国研修旅行の目録贈呈式が行なわれ、小山理事長より代表の警視庁機動隊・市川宏幸巡查部長に目録が贈呈された。理事長からは「優秀隊員に表彰された皆さん、おめでとうございます。世界が注目する中、数々の警備においてテロを完全に封じた功績に対し、国民として改めて感謝します。残念ながら、国民の体感治安としては良くなつてきていないという実感がありません。その意味でこれからの皆さんの活躍には国民が期待を寄せているところであります。この研修旅行は違う国の異なる文化に触れ、今後の職務に生かしていただくことを目的としています。大いに楽しみ大いに勉強して帰ってきていただきたいと思っております。」と挨拶があった。

最後に警視庁機動隊・市川宏幸巡查部長より「この荣誉に報いるべく、治安の要として訓練に励み、国民の負託に応えていきます。」と力強い謝辞があり、贈呈式は終了した。



訓示する小山理事長

今回表彰された100名の優秀機動隊員は、2月17日から3泊4日の日程で韓国のソウル・プサンへ研修旅行に出発する。その様子は4月号の「はげまし」で詳しくお伝えする予定である。

平成21年 警視庁警備部武道始式 開催

日頃の鍛錬の成果を武道で競う

2月4日、警視庁武道館にて毎年恒例の警備部武道始式が行われ、機動隊員が隊毎に分かれて剣道・柔道の団体戦を行い、日頃の鍛錬の成果を競った。会場には米村警視総監をはじめとした警察幹部の他、機動隊員の家族らも訪れ、普段見ることのできない精鋭の様子を熱心に見学した。

剣道は19人、柔道は15人のリーグ戦で行われ、決勝には、剣道が八機と九機、柔道は三機と六機が勝ち残り、真剣勝負を繰り広げた。剣道は互いに7勝7敗4分けの接戦の末、大将戦も引き分け、勝負の行方は代表戦までもつれ込んだ。最後は息詰まるつばぜり合いで互角の戦いが続く中、八機の星原選手が体勢を崩した際に、九機の中島選手が引き面で念願の勝利を納めた。柔道は熱戦の末、三機が9勝3敗3分けで優勝の栄冠を手にした。なお、決勝戦には決勝に残れなかった他隊の選手も残り、隊を超えて応援をしながら勝負の行方を見守り、その姿に警視庁機動隊の清々しい一体感・連帯感を感じることができた。

閉会式では、優勝・準優勝の他、全勝賞、精励賞などの表彰が行われ、優勝した隊には賞状・優勝旗の他、トロフィーが手渡された。その後、米村警視総監が訓示を行い「本日は機動隊らしい皆の元気を安んずることができ、機動隊に対する信頼を厚くした。警視庁にとって機動隊は全てではないが、機動隊を失うと警視庁は全てを失うというのが私の持論である。平素の苦勞はあると思うが、治安の最後の砦としての存在意義を心

に秘め、しっかりと任務を遂行していただきたい。また隊員は機動隊勤務を通じて、成長を図ってほしい」と述べた。続いて当会からは鈴木相談役が「本日は隊員の闘志あふれる姿、元気の良い頑張る姿を見ることができ、また仲間の方々が熱心に応援する顔を拝見し、結束の強さを感じ、感銘を受けた。今年は、昨年のサミット警備のような大きな警備は予定されていないが、世界的な経済不況をはじめ、情勢は不安を増しており、隊員の皆様の責務は増すばかりである。ご苦勞をされている皆様にも少しでも支援ができるように、我々も取り組んでいきたい。皆様も怪我・事故のないようになり切つていただき、国民の期待に応えていただきたい」と述べた。当会からは鈴木相談役のほか、斎藤常任理事が見学に訪れた。



訓示を受ける米村警視総監(右)と当会鈴木相談役

息がつかまるようなつばぜり合いが続いた(剣道決勝)



息がつかまるようなつばぜり合いが続いた(剣道決勝)



仲間の応援を力に変えて(柔道決勝)

編集後記

講演会のテーマは現下の経済情勢を受けて2回連続して金融・経済問題となった。ふだん聞きなれない言葉も多く、未経験の進行中の事象なので、正しく把握するのは容易ではないが、少しでも読者のお役に立てれば幸いである。

あと2ヶ月で桜の時期を迎え、新年度。新たな気持ちで頑張ってください。

(「励ます会」事務局)

誇りと伝統 栄光の機動隊

- 新日本製鐵(株)
- 日鐵住金建材(株)
- 日鐵商事(株)
- 五十鈴(株)
- 岡田運輸(株)
- (株)エース電研
- 岡部(株)
- 草野産業(株)
- (株)スチールセンター
- 日鉄住金鋼板(株)
- (株)エイヴイ
- 大東港運(株)
- 浅田隆司
- 谷本鉄鋼(株)
- 新関西製鐵(株)
- 富士興業(株)
- 岡谷鋼機(株)
- 東海レベラー鋼業(株)
- 山陽鋼業(株)
- 堀口海運(株)
- 藤田金屬(株)
- 北越メタル(株)
- 豊鋼材工業(株)
- (社)機動隊員等を励ます会
- 北海道支部

CONTENTS

- P1 第64回 国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会」警衛警備を完遂!
- P2 “はげましの輪” 各地で支部総会開催
- P4 Member's Lounge 「オリンピックまでの道のり」 植田 辰哉 氏

発行所
社団法人 機動隊員等を励ます会
〒144-0065 東京都大田区中六郷4-32-5
発行人 小山 巖
TEL 03(3739)0590
購読料 年間1,200円
(但し会費の中には購読料を含む)

Mar.2009
No.410

はげまし

For the Riot Policemen
& Members

全員の強い使命感で所期の目的を達成

青森県警察

第64回 国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会」警衛警備を完遂!



観戦の中から手を振られる皇太子殿下、沿道は熱気ムードに包まれた

笑顔で観戦の市民に挨拶される

皇太子殿下は、本年1月27日から28日までの2日間、青森県八戸市において開催された「第64回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会」(以下「スケート国体」といいます。)開会式への御臨席及び地方事情御視察のため本県に行啓されました。

本県で開催されるスケート国体に皇太子殿下が御臨席されるのは、平成12年及び平成16年に続いて3回目でありましたが、今回のスケート国体は、わずか1年前に開催地が決定し、皇太子殿下の行啓についても半年前に県が打診するなど、準備期間が非常に短い異例の開催となりました。また、昨年は隣接北海道で北海道洞爺湖サミットが開催され、本県においては、6月に関連会議としてG8エネルギー大臣会議が開催されておりますので2つの大規模警備を実施することとなりました。

この様な状況下、本県警察では、スケート国体開催決定を受け、直ちに警衛準備業務を進めるとともに、昨年4月、国体警衛準備準備室を設置し、「皇太子殿下の御身辺の絶対安全確保」を最大の任務として、石川威一郎本部長の指揮の下、県警察の総合力を挙げて取り組みました。準備期間が短い中、集中的な教養訓練、実地踏査、検討会等を実施し、現場指揮官の想像力を働かせた対応能力の向上と警衛員個々の任務の周知を図る一方、管理者対策を重点とした各種事前対策を最重点に進めることとし、行啓担当の知事部局、スケート国体主催者の県教育庁及び開会式会場並びに各行啓先管理者の度重なる入念な打ち合わせを実施して、警備環境の整備を図るなどの警備諸対策を推進しました。

本県警察は、今回の警衛警備が成功したことに慢心することなく、得られた教訓、反省点を次の警衛警備に生かしていくこととしております。

本県警察は、今回の警衛警備が成功したことに慢心することなく、得られた教訓、反省点を次の警衛警備に生かしていくこととしております。



会場周辺や沿道の警備では市民の安全にも配慮

誇りと伝統

輝け機動隊

- 新日本製鐵(株)
- 日鐵住金建材(株)
- 日鐵商事(株)
- 五十鈴(株)
- 岡田運輸(株)
- 愛知産業(株)
- (株)エース電研
- 山陽特殊製鋼(株)
- スカイコート(株)
- 東京製鋼(株)
- 日鉄住金鋼板(株)
- (株)メタルワン
- 富士興業(株)
- (株)マスザキヤ
- 明鋼材(株)
- 日鉄東海鋼線(株)
- 東海鋼材工業(株)
- 豊田通商(株)
- (株)シーゲートコーポレーション
- 不動鋼板工業(株)
- (株)佐藤ホールディングス
- (社)機動隊員等を励ます会
- 東北支部
- ナイルレストラン
- G・M・ナイル

TEL 03-3554-1182 46

特集

“はげましの輪” 各地で支部総会開催

機動隊員と励ます会会員が一堂に会し交流を深める支部総会。2月は北海道・名古屋・九州の各支部総会が盛大に開催されました。それぞれの総会で、心のこもった挨拶や隊員によるチームワーク抜群の演芸、エールの交換などがなされ、会を大いに盛り上げました。今号では各総会での様子をお伝えいたします。

第29回 北海道支部総会

去る2月19日、第29回北海道支部総会が札幌パークホテルにおいて開催された。

今年の総会懇親会には、来賓として初めて参加された高橋はるみ北海道知事、鎌田聡北海道警察本部長以下道警幹部および機動隊員など20名の皆様に出席いただき、当会からは小山隆理理事長、加藤勝弘支部長、声川勝治顧問等会員180名、合わせて300名が出席した。

懇親会では、加藤支部長・小山理事長の開会の挨拶と来賓の「祝辞をいただいた後、升光法行理事より「安全の確保には綿密な計画性とマンパワーと予算そして安全を実行する現場の方々の日頃の鍛錬と実践が必要である。サミット警備の成功は観光を標榜する北海道にとっても大きな成果であり、機動隊員の皆さんに感謝と敬意を表したい」との挨拶とともに、乾杯し懇談に移った。会場では隊員と会員の交流が和気藹々とした雰囲気で大いに盛り上がり、昨年の北海道洞爺湖サミット警備を元聖に遂行したという隊員の充実感が強く感じられ、これからも続く厳しい任務に取り組みむ気意を養っていただけと思う。

最後に小西伸一機動隊長がお礼の言葉を述べた後、会場の全員が輪になって「この世を花にするために」を合唱し、今井國雄理事の万歳三唱の音頭で閉会した。

～サミット警備完遂の充実感～

■加藤支部長

昨年のサミット警備の成功は、日本の警察の力、とりわけ北海道警の底力を世界に示したもので、この快挙は道民の誇りである。他にも北海道は交通事故死の減少数が日本一であり、刑法犯の減少も非常に著しい。最近の犯罪は非常に多様化し凶悪化してきているが、それらに対して道警の皆さんは適切にきちんと対応し道民の治安や安全を維持しておられる。これからも道民の誇りとなる事柄を積み上げていただきたいと祈念しており、当会も引き続き機動隊員等の皆様に対し、精



一糸乱れず整列する精鋭の皆さん

杯の支援を続けることをお誓いする。

■高橋知事

本月初めてこの会に参加したが、機動隊員の精鋭の方々を見ても頼もしくまた有り難く、道民の入口として改めて感謝の気持ちを持った。治安の維持、災害対応など様々な面で、私共が日々安心して生活できるのは、皆さんが本当に命をかけて我々を守ってくれている活動のたまものであると思っている。励ます会はその活動に対して心からの感謝を表すためのボランティアな集まりであると聞いているが、そういう純粋な気持ちだからこそこれだけ長く続いてきているのだらうと思う。

今年5月に太平洋洋島サミットがあり、さらに来年日本で開催されるAPECの開催地として北海道も名乗りを挙げている。これからも北海道の更なる発展のために頑張っていくので、ぜひ皆さんの理解と応援をお願いしたい。

■鎌田本部長

昨年のG8サミット首脳会議の警備は、北海道というより日本の警察にとって「大イベント」であったが、皆さんへの支援もあり無事成功させることができ、厚くお礼申し上げる。昨年の道警機動隊の活動はサミット警備の他にも、要人警護や遭難救助あるいは柔道剣道の大会等でも成果を挙げており非常に士気が高い。今年も色々なイベントがあり、警備等で機動隊が活躍する場面は多々あると考えている。また振り込め詐欺警戒などの通常犯罪でも機動隊は活動している。今日は会員の皆さんからも隊員に積極的な声をかけていただき、交流の実をあげていただきたい。

■小西機動隊長

我々機動隊の仕事は昔前の集団武装闘争に対する警備から変化して、重要施設の警戒警備や災害救助など職域は広がっているが、いつまた集団警備力を求められる時代がくるかもしれないことも念頭において日々訓練に励んでいる。本日のような盛大な支援をいただくことは、我々にとって大きな励みになり、まことにありがたいと感謝している。



公務が多忙の中
ご出席いただいた高橋知事

第32回 名古屋支部総会

暖冬だと言われながらも寒波到来で幾分か冷え込んだ2月24日、第32回名古屋支部総会がメルパルク名古屋にて開催された。

総会には、愛知県警察本部長をはじめとする警察幹部、愛知・岐阜・三重各県機動隊員、及び管内機動隊員の皆様方にご出席いただき、また多数の励ます会会員を合わせ、総勢約260名にもなる出席者を迎え大盛況であった。

東海市の「青少年居場所づくり推進事業」として設立された和太鼓集団「SHO」の寒さを吹き飛ばす迫力ある演奏の中、凛々しく機動隊員が入場し開会となった。国歌斉唱のあと、岡谷篤一名古屋代表世話人が歓迎の言葉を述べ、続いて小山理事長が挨拶した。神山憲一愛知県警察本部長からは、励ます会に対する感謝の言葉と機動隊の昨年の活動報告があった。その後、全国優秀機動隊員が発表され、当地区該当の5名を代表して余員隊員が謝辞を述べた。引き続き勝山憲夫新日鐵執行役員が発声で乾杯し、隊員と会員があちこちで交流をしながら大いに歓談の時間を楽しんだ。

最後に、大スクリーンに機動隊員の活動写真と歌詞が映し出され、「この世を花にするために」に参加者全員が互いに肩を組み、声高らかに大合唱した。その興奮もさめやらぬうちに、戸鹿島政晴機動隊長から励ます会への心温まる感謝の言葉があり、名残は尽きない中、江川和宏世話人による万歳三唱で閉会した。

■岡谷代表世話人

日頃の厳しい訓練によって培われた強靱な団結力と、勇敢な行動力、その優秀さを日本国内のみならず世界に示していただきたい。励ます会の会員は、機動隊員の方々に応援すべく二層努力していく。本日は大いに歓談され明日への英気を養って頂きたい。

■神山本部長

昨年は北海道サミット警備に際し相当数の部隊が出動しました。岩手・宮城の地震災害の災害警備、西三河でおきた豪雨の際の災害警備等、まさに日本警察の真価が問われた年であった。励ます会会員の皆様におかれては、百年に一度といわれる非常に厳しい経済環境の中、それぞれの会社で頑張っておられることと思う。皆様のお力でこの情勢を乗り切っていただけ、我々治安を預かる者も自分の分野で力一杯頑張っていく。

■戸鹿島機動隊長

皆様方から授けていただいた激励の数々が、本当に心に沁み入り感激している。我々機動隊はこの世を花にするための精強な部隊として信頼される機動隊、頼りにされる機動隊を目指し、全力で治安維持に邁進する決意を再認識したところである。本日はこのような盛大かつ素晴らしい会を開催していただき、心から感謝申し上げます。



和太鼓集団「SHO」の勇壮な演奏



笑顔を交わしての万歳三唱

～「安全」で「安心」な愛知を目指して～

北海道・名古屋・九州各支部総会における小山理事長挨拶要旨

昨年は北海道洞爺湖サミットが行われ、全国機動隊員の皆様の一致団結した警備により無事に任務を完遂され、まさに世界が注視する中で日本の警察の実力、真価を世界に示すことができ、国民の一人として大変誇らしく思っております。何事もなく終わってしまふと簡単だったのかと思われがちですが、事前の用意周到な準備、厳しい訓練、本番に臨んで全神経を集中し肉体を酷使して職務を全うされた結果であり、心から敬意を表するものであります。

機動隊員等を励ます会は、昭和47年の浅間山荘事件の際に機動隊員の貴重な生命が失われ、機動隊の方が身を賭して国のため、社会の治安維持のために頑張っていることに、国民として応援したいという純粋な気持ちから昭和49年にスタートし、今年で35年間続いてまいりました。この間ずっと続けて来られたのは、警察の方のご理解によるところが大きく、改めて感謝申し上げます。時代は変わり、過激派の派手な動きこそ下火になっておりますが、国際テロなど目に見えない敵に対して万全の備えで治安維持を図っていくという面で、機動隊員の皆様にとっては当時以上にその役割、任務の重要性が増してきたのではないかと思います。当会はこれからはいかという思いがあります。当会はこれからも精一杯の応援を続けて行く所存でございます。

警察、機動隊のご努力で日本の治安は改善傾向にあります。理解に苦しむような通り魔的な犯罪や幼児が犠牲となる犯罪、振り込め詐欺に代表されるような知能犯罪など、国民の「体感治安」が改善されてないのが非常に気がかりであります。近年、地域社会の連帯や人間関係が希薄になってきているなど、社会の根本が大きく変わってきております。また、経済がグローバル化して、物が、金が国境を越えて自由に行き交う一方、IT技術が進歩して生身の人間に接することなく情報やお金だけが飛び交う時代ゆえに、マネー経済万能な思想が浸透し自分さえよければという人が出てくる。そんな事が治安回復に向けての大きな障害になっ

ているのではないかと考えられます。こういう日本人の自己中心的な考えこそ大きく改善すべく努力していかなくてはなりません。先日オーストラリアを訪問し現地の人と話をしたところ、彼等は英連邦の二員であることに誇りを持っており、自らのアイデンティティーを明確に認識している点が、現在の我が国とは大きく違っていると感じました。また、オーストラリアのような広大で資源豊かな国と我が国が対等に伍していくには、日本人はもともと皆で力を合わせ知恵を出し、汗水垂らして働いていかなければならないということを感じました。オバマ氏がアメリカ大統領に就任して以来、世界的なチンジブームとなっており、私は今の日本に一番大事なのは「原点回帰」ではないかと思っております。勤勉さ、連帯感、思いやり、努力などの、かつての日本の良さであったところを思い返して原点に立ち戻るためには、時間もかかるし何より教育が大事だと痛感しております。最近、この会の理解者であり応援者である新日鐵の三村会長が中央教育審議会の会長に就任されました。先日会長に、日本の社会の原点に立ち帰るような初等中等教育をどう改善していくかということ、是非経済界から声を大にして発信していただきたいと話をしました。

日本人の「原点回帰」がなされ、警察のご努力と相まった時には、はじめて日本は安全で安心な国を取り戻せるのではないのでしょうか。これからはいろいろな側面で我々経済人も頑張りたいです。励ます会としてもできる限りの応援をさせていただきますので、機動隊員の皆様方は自信と誇りをもって、今後もご自分の職務、任務の遂行に励んでいただきたいと願っております。



小山理事長

第34回 九州支部総会

～若さと元気が溢れる～

平成21年2月26日、博多サンヒルスホテルにおいて第34回九州支部総会懇親会が開催された。総会には荒木二郎九州管区警察局長、田中法昌福岡県警察本部長をはじめ多数の警察幹部、機動隊員の皆様にご出席いただき、会員を含め240名と盛会であった。

会には隊員が整列入場し国家斉唱が始まり、自見榮祐九州支部長と小山巖理事長による主催者挨拶のあと、荒木局長による来賓挨拶、常岡和明九州管区機動隊長のお礼の言葉があり、塚越満途中、全国優秀機動隊員として海外研修に参加した岩隈敏史・国友宏樹隊員から研修報告とお礼の挨拶があったが、いつものことながら若さと元気が溢れ、会員の方が逆に元気をもらう形となった。

最後に全員で「この世を花にするために」を合唱し、高橋利明世話人の首頭による万歳三唱で中締めとなった。

■自見支部長
昨年6月、小倉の第二機動隊グラウンドにて洞爺湖サミットに向けての総合訓練が行われた時に、最後の講評で「面構え」という日本語を思い出した。警察官と言うと市民に愛される優しいおまわりさんというイメージも大事だが、機動隊の方は強くなるという意味がない。多に激しく訓練されている様子を拝見し、たく感動した次第である。現在の日本の社会や日本人像は「マネタイズ」等によってかなり歪んで報道されているが、本来は健全でしっかりした日本人が大多数であり世の中で頑張っている。機動隊の皆様方には是非そういう人達に目を向けて、日本の国、日本人を守ってやるという気概を持って今後も頑張ってください。

■荒木局長
昨年の九州機動隊は、北海道のサミット警備、秋には大分で団体と障害者スポーツ大会の警備警備、年末は日中韓の首脳会談の警備に当たり、それぞれに成功裡に導く事が出来た。今年も長崎で警備が予定されている。災害についても、地震をはじめいつ何が起ころうと大丈夫なように訓練を重ねていくことが必要である。機動隊、警察の活動は、国民、県民の支援がなくては成り立つものではない。励ます会の活動は非常に貴重でありありがたい。国民、県民の期待に充分に応えられるように、層の精進を重ねてまいりたい。

常岡機動隊長

機動隊は今まさに変わりつつあるが、やる気は昔と一緒で変わらず、警察の最後の砦としてその士気は旺盛である。幹部の隊員へ「指揮することは心を移すこと。そのためには、人間的魅力を持つこと。」と呼びかけ、日頃からの思いやり、気配り、将来の警察を背負う人作りも改めて頑張っている。今後とも、色々な場でのご支援とご理解を賜りたい。



全員で肩を組んでの大合唱



挨拶する自見会長

昨今の国内状況を鑑みるに、深刻な経済不況や犯罪の多様化など国民の不安が増す中で、機動隊員の方々が身を賭して治安維持に努めてくださっていることは、私たちにとても心強いと思えます。機動隊の活動を理解するための交流の場として、また隊員の皆さんに少しでも激励の気持ちを伝え、楽しんでいただける時間を提供する機会として、今後も支部総会の充実に力を入れていく所存です。

Member's Lounge

講演会録

昨年8月に開催された北京オリンピックでは、数々の熱戦が繰り広げられ、私たちに多くの興奮と感動をもたらしました。その中でバレーボール全日本男子チームは、実に16年ぶりに五輪出場を果たし、日本男子バレーボール復活の兆しを見せてくれました。今回の講演は、五輪出場の命題を担いチーム改革に取り組んだ、全日本男子代表監督の植田辰哉氏をお招きし、北京オリンピック出場に至るまでの様々な施策についてお話しいただきました。

<2月19日のゲスト>

うえた たつや
植田 辰哉氏

バレーボール全日本男子代表監督
(北京オリンピック監督)



プロフィール

昭和39年7月25日生

職歴

昭和62年 新日本製鐵 入社(堺製鐵所 総務部)

主な競技歴

選手

昭和62年 新日本製鐵(現 堺プレイザーズ)所属
 平成元年 アジア選手権大会優勝、ワールドカップ6位
 平成3年 アジア選手権大会優勝、ワールドカップ4位
 平成4年 パルセロナオリンピック(日本代表主将)6位

監督

平成11~14年 新日鐵(現 堺プレイザーズ)
 平成15~16年 全日本ジュニア男子
 平成17~現在 全日本男子

●日本代表監督としての主な戦績
 平成20年 アジア選手権優勝・世界選手権ベスト8・アジア選手権優勝・ワールドカップ9位・北京オリンピック世界最終予選兼アジア大陸予選2位・北京オリンピック(16年ぶりのオリンピック出場)

「オリンピックまでの道のり」

はじめに

私の長いバレーボール人生の中で、一つのオリンピックのサイクルということでは、2004年11月から2008年のオリンピックまでの間のお話をさせていただきます。

昔と今では価値観が非常に変化してきており、オリンピックの世界でもグローバル社会、国際標準が謳われる時代になってきました。しかし、私が選手時代に強調しているのは「そうではない」ということです。周りは国際的な基準を標準として捉えろと言いますが、私たちのスポーツの世界では、日本を基準にして物事を考えていかねばなりません。

ポーターレス社会とも言われます。境界線がない社会です。しかし私は、それは絶対に許されないと考えます。選手たちには「一つでも先輩であれば下の者から先に挨拶をしろ。一番下の選手は全員に対して挨拶をしろ。そういう目配りや気配りができない選手はコートの中でいざいざと代表は勝つことができない」と口が酸っぱくなるほど言い続けました。新日本製鐵で教わったことをそのままスルーして選手たちに伝えていく気がしています。

改革の第一歩として

私は2004年11月に正式に監督に就任しました。当時びっくりしたのは茶髪でタバコを吸いながら渋谷や六本木を歩いている代表選手がいたことでした。プレミリアードを観察に行つて更に驚きました。ある選手が監督と絡むたばを吸っ

ていたのです。「代表選手がここまで落ちているのか」という思いでした。

私は2004年の改革を「維新元年」とし「今年(五輪)から落ちてきたチームをそこで度切り、「V改革」をしよう」と徹底的に改革を進めていきました。

まず「当たり前」の事をきちんとやろう」と基本を決めました。プレミリアードの監督に対しても基本のチェックを伝えました。茶髪、喫煙が目立つ選手は当然、食事、態度などを含め代表選手はどうあるべきか、各監督に持ち帰ってもらって指導を求めました。しかし最近のプレミリアードを見ると、まだだらしのない選手がいます。これでは自分で「全日本にいたくない」と意思表示しているようなものですが、バレーボールのチームは紳士であつて常に美しくなければいけないということを、高い意識を持ち、選手たちに話をしていくことで、再度指導を求めています。

目標達成のためのマイルストーン

2004年12月の強化委員会議で発表した中長期目標についてご説明します(図参照)。4年間のプランニングはこの3つの柱を掲げました。北京までの3年間の「アジア選手権」は「北京オリンピック」に出ることで、そこにたどり着くまでに05年のアジア選手権があり、しかし、前回のアジア選手権の時はいろいろな問題があつてうまく勝てず、8位止まりの結果でした。そのチームが05年のアジア選

04年12月強化委員会 植田JAPANの07年までの中長期目標



手権で優勝することができなかつたら、「2年半でオリンピックというの無理だろう」と思いました。230国地域で行われているバレーボール、そのなかから12チームしか出場できないバレーボール競技は非常に狭き門なのです。

そこで中長期的な目標として、常に「アジア・ナンバワン」の確立を強くコミットしました。「食べることから徹底的に改革しなければ勝てない」と、最も基本的なことを選手たちにまで下ろして納得させました。徹底的に改革した結果、この目標は達成し、北京オリンピックに出場することができました。しかし、残念ながらここまでは、目標を「08年五輪出場獲得」までしか掲げていなかったからです。ロンドン五輪に向けてやるならば、「ロンドン五輪でメダル獲得」としなければいけません。「目標」というのはやはり、4年前はそれがただのプランしか立てていなかった」ということが分かります。

私が言葉にした「マイルストーン(プロジェクト管理において遅延が許されない節目となる工程)」は以下の通りです。「君たちに残された時間はあと3年半しかない。3年半後には、北京オリンピックの出場権を取るためのすいプレッシャーがかかる最終予選が5月にある。3年後の五輪予選に勝つために、今年(2005年)1年間のマクロ的なサイクルはどういうことをしなければ

ならないか」ということです。つまり11月、12月に「今年1年間に素晴らしい成果を上げた」と言うためにこの数カ月間のメソサイクルはどういうことをしなければいけないか。その数カ月間を成功させるためには、ミクロ的な数週間をどうやって生活しなければいけないのか。と逆算する話をして、そうすると直近の3日間、4日間が重要で、その中でも1日の練習が非常に重要だということになります。その中でも1本、1分の強化をきちんと細かくやっていくという約束と確認をして進めてきました。

茶髪の問題では、「アペレージを上げていく」「数を残しているからいいではないか」という選手がいました。それに対して私が言ったのはこうです。「残念ながら、代表チームとしてこの成果を上げていけない。そういうことを言うこと自体がチームの士気を乱しているのではないか。チームスポーツは、全員が勝つて初めていいものになります。会社も同じです。1人の営業成績が良くても、チームは勝てません。自分だけが良くても、負けたら何の評価もしてくれないのが代表チームなのです。」

常軌を超えることで得られる結果

新日鐵から監督が出たのかについて少しお話しします。新日鐵現 堺プレイザーズの歴代監督である、柳本晶氏(前全日本女子監督、眞鍋政義氏(現全日本女子監督、植田)というのは全く同じ進路を歩いてきています。柳本さんは大商大高校の先輩、眞鍋さんも1つ上の先輩です。田中幹保氏(前全日本男子監督は姫路の高校ですが、やはり新日鐵の監督経験者です。私が選手だった当時の監督は柳本さんでした。彼の練習指導は普通ではありませんでした。レシーブの練習が終わっていません。1時間でも2時間でもずつと転がされて、記憶が飛ぶまで練習を続けていました。常識の範囲を超えた練習をやってきたわけです。「常識の延長線上には、常識の結果しか残らない」と言われますが、常識の範囲を超えたところに初めて、とてつもないものが残っていくのです。

新日鐵の監督から全日本の監督が輩出された背景には、このようなことがあるのかもしれない。モチベーションを上げる方法とは、ほめ方にも正誤があります。例えば母親が子どもにテニスを片づけさせた時に、人格をほめてしまうと、母親がいなくなった時に何もなくなる確率が高くなるそうです。バレーボールではどうでしょう。いいプレーをして「お前、すごいな」「大したものだ」と選手をほめてしまうと、監督がいなくなったところではさぼつてしま

うのです。私はいつも別の言い方を使い分けています。ある選手が24対23でいいサーブを決めたとするところ、「お前があの時に打ったサーブが素晴らしいからチームが勝つた」と言うのです。テールに例えると、「テールを片づけてくれたから、テールがきれいになった。お母さんの手間が省けた」とほめ方を変えることです。テールを片づけた「スパイクを決めた」と具体的にほめてあげます。そうすると、「あの場面が来たらまた頑張ろう」という気持ちになるそうです。非常に重要なほめ方の正誤です。

こうした言語教育の必要性は、世界を見て非常に勉強になりました。ブラジル、イタリア、アメリカの強豪チームの選手たちは臆することなくさきと挨拶をします。相手から目をそらすず握手します。そういうことを日本の選手にもきちんと教育していかないといいか、と思います。これだけは世界標準にしていかなければいけません。

おわりに

先日、世界遺産である白川郷(富山県)に行ってきました。平高校バレー部の12人しかいない選手たちが、三味線で「こきりこ節」を弾きながら踊りを見せられました。息がピッタリ合っています。バレーの練習を見ると素晴らしいものでした。コンビネーションが合って、時間差もうまいし、声も出ます。文化を守ることを通じて息が合っているのです。チームは先春の高校バレーの予選に勝つて全国大会に出場します。みんなで何かをやり遂げるといことは、バレーボールにも人生にも通じる素晴らしいことだと思えます。追求することに対する全員「想い」「確信」「志」が重要で、今日お話しした内容のまとめとして、「Players First」——現場を知ることが非常に重要ではないでしょうか。私も監督として、これからロンドンオリンピックに向けていろいろの方とお会いし、助言をいただきながら頑張っていきたいと思

編集後記

間もなく4月、激動の20年度から新しい年度になる。21年度も相当な困難があるだろうが、理事長の言うとおり原点をしっかりと見据えて事に当たれば、必ず明るい未来が開けてくるはずと思う。新年度も会員の皆さんの変わらぬ理解・協力をお願いします。(励ます(云)事務局)